



令和5年度（2023年度）

第6回定例庁議

令和5年6月16日（金）午前8時30分～
第一応接室（担当：総合戦略室 内線1111）

2 報告事項

- (1) 部活動の地域クラブ活動への移行に係るアンケート調査の結果について・（教育委員会）

庁議日程について

第7回定例庁議	6月27日（火）	8時30分～
第8回定例庁議	7月19日（水）	8時30分～

庁議資料
5. 6. 16
教育委員会

(報告事項)

部活動の地域クラブ活動への移行に係るアンケート調査の結果について

1 趣旨

部活動の地域クラブ活動への移行を進めるに当たって、子どもを主人公にした多様なニーズに応えられる制度とするため、児童生徒及びその保護者並びに教員を対象としたアンケート調査を実施しましたので、その結果等について報告するものです。

2 調査の概要

(1) 対象及び回答状況

区分	調査対象者(名)	分析対象者(名)	有効回答率(%)
小学5・6年生	3,746	3,031	80.9
中学1・2年生	3,894	2,922	75.0
中学3年生	2,003	1,361	67.9
小学5・6年生保護者	3,746	1,274	34.0
中学生保護者	5,897	1,518	25.7
中学校教員	545	204	37.4

(注) 保護者へは、対象となる児童・生徒1名につき1回の回答を依頼しました。

(2) 期間

令和4年12月2日から12月31日まで

(3) 方法

QRコード又はURLからリンクされた調査表にインターネット上で回答

(4) 回答状況

3 調査結果

(1) 概要版 別冊1のとおり

(2) 詳細版 別冊2のとおり

4 主な回答内容

(1) 小学5・6年生

ア 中学校の部活動が地域クラブ活動に移行した後のスポーツや文化活動を「やりたい」と回答した児童は、「平日」で81.2パーセント、「休日」で55.6パーセントでした。

イ 平日にやってみたいスポーツや文化活動の上位5つは、バドミントン、バスケットボール、サッカー、美術、卓球、休日では上位からバドミントン、バスケットボール、サッカー、キャンプ、バレーボールでした。

ウ 地域クラブ活動に望むこととして、「楽しむことを大切にしてほしい」、「いじめなどが無いようなサポートをしてほしい」、「自分のレベルに合った指導が受けられるようにしてほしい」と回答した割合が高くなりました。

(2) 中学1・2年生

ア 休日のスポーツや文化活動へ「参加したい」「どちらかといえば参加したい」と回答した生徒の割合は56.2パーセントでした。

イ 休日にやってみたいスポーツや文化活動の上位5つは、バドミントン、卓球、バスケットボール、バレーボール、ソフトテニスでした。

ウ 地域クラブ活動への加入に伴う心配として、「指導者の適切ではない指導方法」、「月謝負担」、「平日と休日で指導者が変わる」と回答した割合が高くなりました。

(3) 中学3年生

部活動に取り組んで良かったこととして、「自分の技能を高めることができた」、「友人関係が広がった」、「努力した経験を生かすことができた」と回答した割合が高くなりました。

(4) 小学5・6年生の保護者及び中学生の保護者

ア 地域クラブ活動への加入に伴う心配として、両保護者ともに、「月謝負担」、「指導者の適切ではない指導方法」と回答した割合が高くなりました。

イ 地域クラブ活動移行に伴って月謝が必要となる場合の許容できる金額は、小学5・6年生の保護者では平均約4,700円（中央値5,000円）、中学生の保護者では平均約3,600円（中央値3,000円）でした。

(5) 中学校教員

ア 部活動の顧問をしている教員の割合は78.5パーセントで、このうち指導経験のない種目を担当している教員の割合は54.4パーセントでした。

イ 平日及び休日の部活動指導について、70パーセント以上の教員が「負担である」、「どちらかといえば負担である」と回答しました。

ウ 移行後の平日及び休日の地域クラブ活動の指導希望について、70パーセント以上の教員が「希望しない」、「どちらかといえば希望しない」と回答しました。

5 今後の進め方

(1) 本調査結果については、現在開催している「松本市学校部活動の地域クラブ活動への移行検討協議会」の基礎資料として活用するとともに、本市における制度設計に反映させます。

(2) 次期開催の市議会経済文教委員協議会に報告します。

【担当】

学校教育課 課長 清沢 卓子
学校支援室 室長 坂口 俊樹
電話 33-4397

令和4年度

部活動の地域クラブ活動への 移行に係る調査

結果の概要



「やってみたい！」プロジェクト

子どもの

を応援する ガクトまつもと

令和5（2023）年4月

松本市教育委員会

1 調査目的

本調査は、部活動の地域クラブ活動への移行を受けて、スポーツや文化の活動を「やってみたい」と考えている子どもを応援するための制度を整えるためにニーズを把握することを目的とする。

2 調査時期

令和4（2022）年12月

3 調査対象者・分析対象者

所属	調査対象者（人）	分析対象者（人）	有効回答率（%）
小学5・6年生	3,746	3,031	80.9
中学1・2年生	3,894	2,922	75.0
中学3年生	2,003	1,361	67.9
小学5・6年生保護者	3,746	1,274	34.0
中学生保護者	5,897	1,518	25.7
中学校教員	545	204	37.4

4 調査方法

QRコード又はURLからリンクされた調査に、インターネット上で回答を求めた。

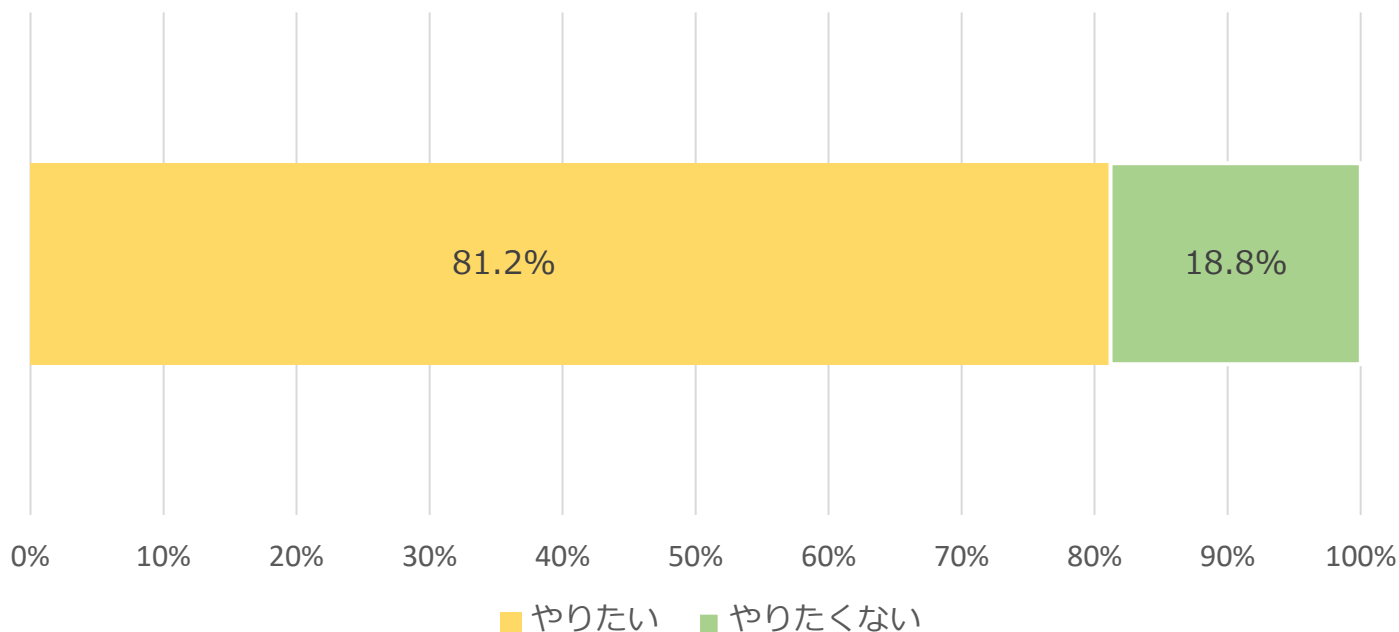
5 留意点

- （1）調査結果は小数点第1位までの表記となり、この合計は必ずしも100%ではない。
- （2）調査項目は、見やすさの観点から簡略化して表記している箇所がある。
- （3）項目の上位を表示する場合、4件法の場合は、項目文を肯定する回答の割合の和の上位を記している。
たとえば、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合の和を上位としている。

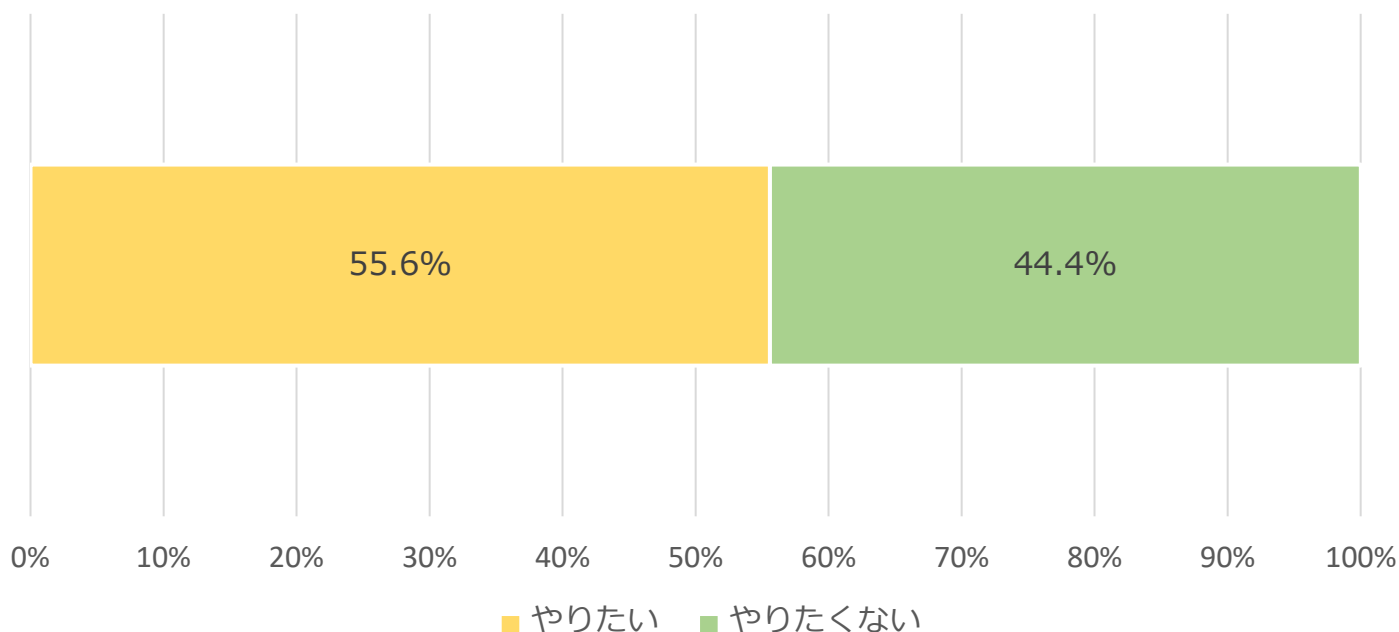
小学5·6年生

小学5・6年生

中学校の部活動が地域クラブ活動に移行した後の
「平日」のスポーツや文化活動の実施希望

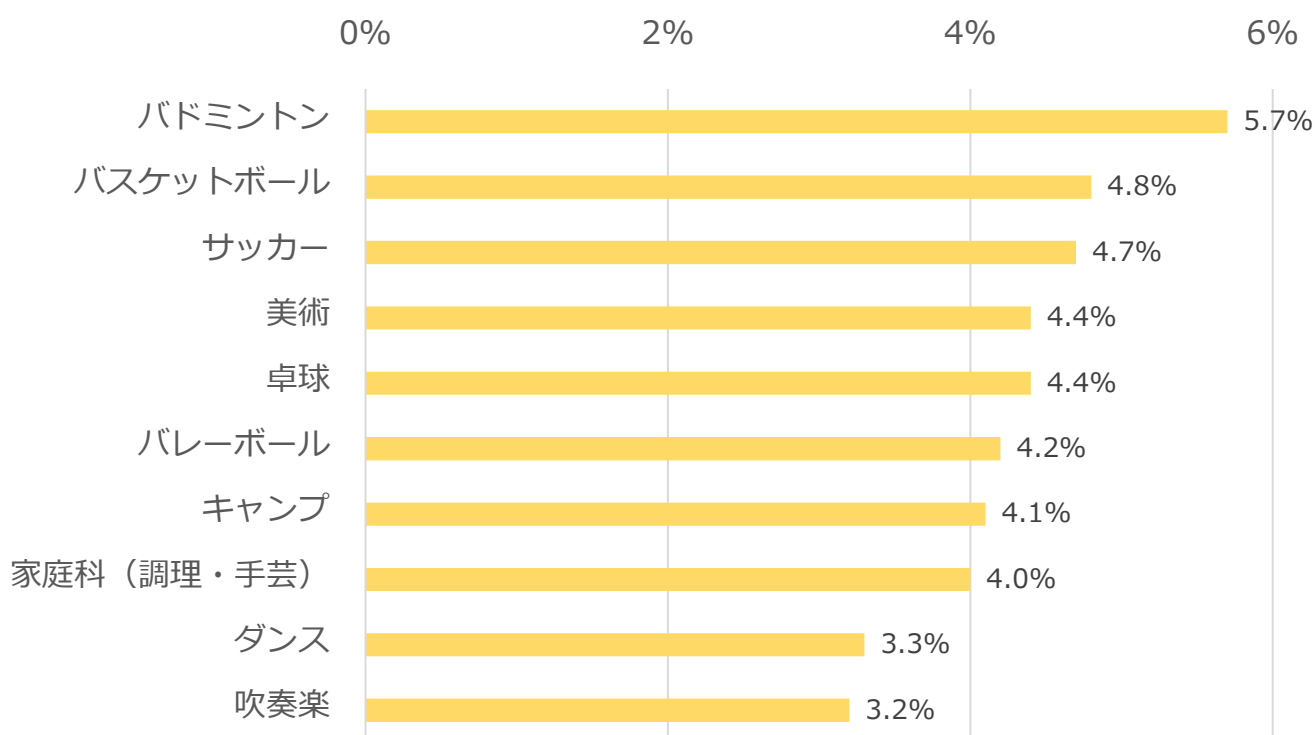


中学校の部活動が地域クラブ活動に移行した後の
「休日」のスポーツや文化活動の実施希望

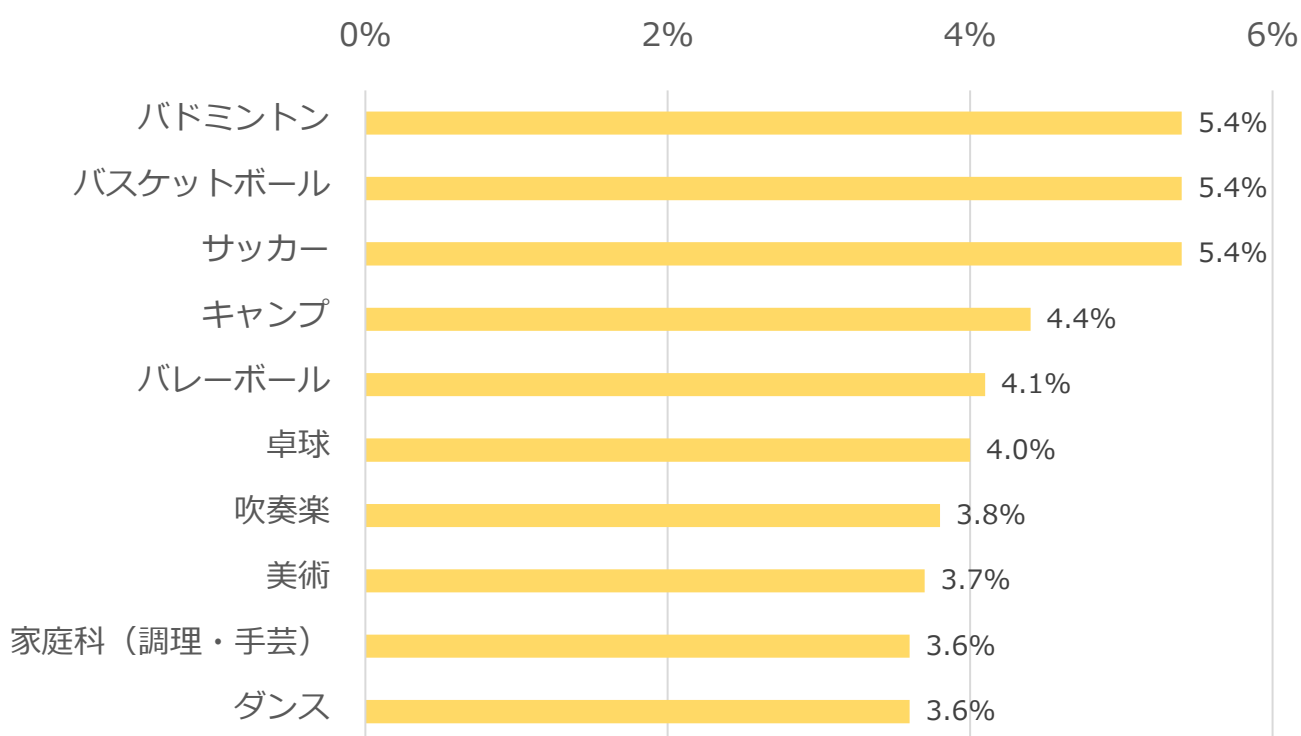


小学5・6年生

「平日」にやってみたいスポーツや文化活動 トップ10

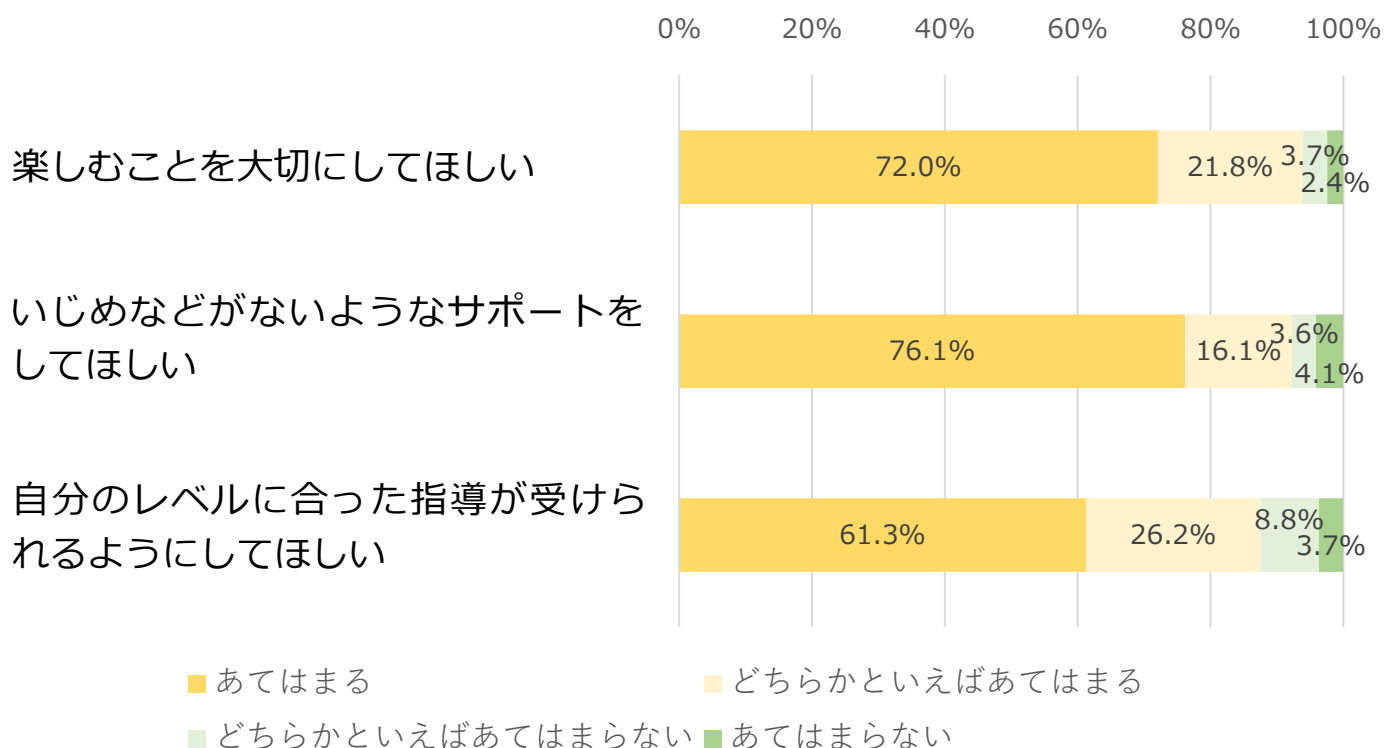


「休日」にやってみたいスポーツや文化活動 トップ10

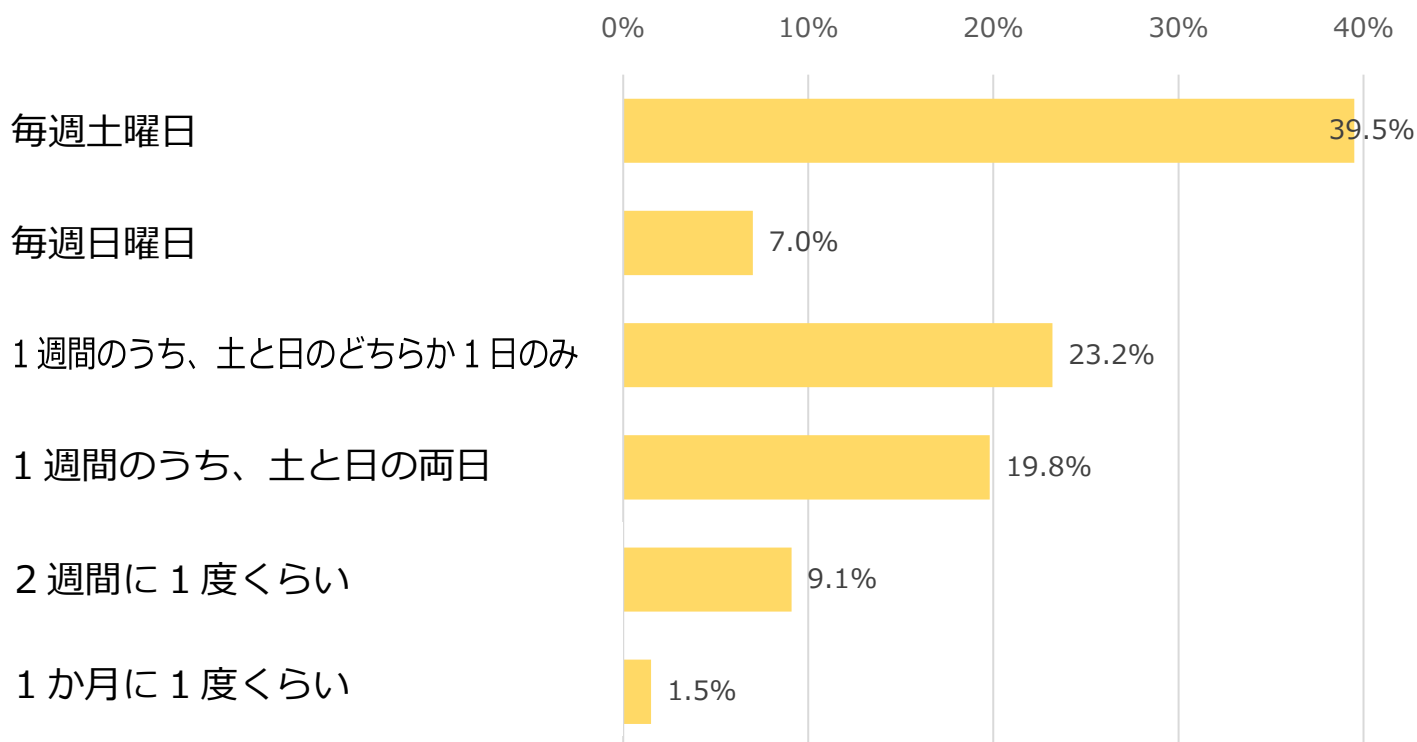


小学5・6年生

地域クラブ活動に望むこと トップ3



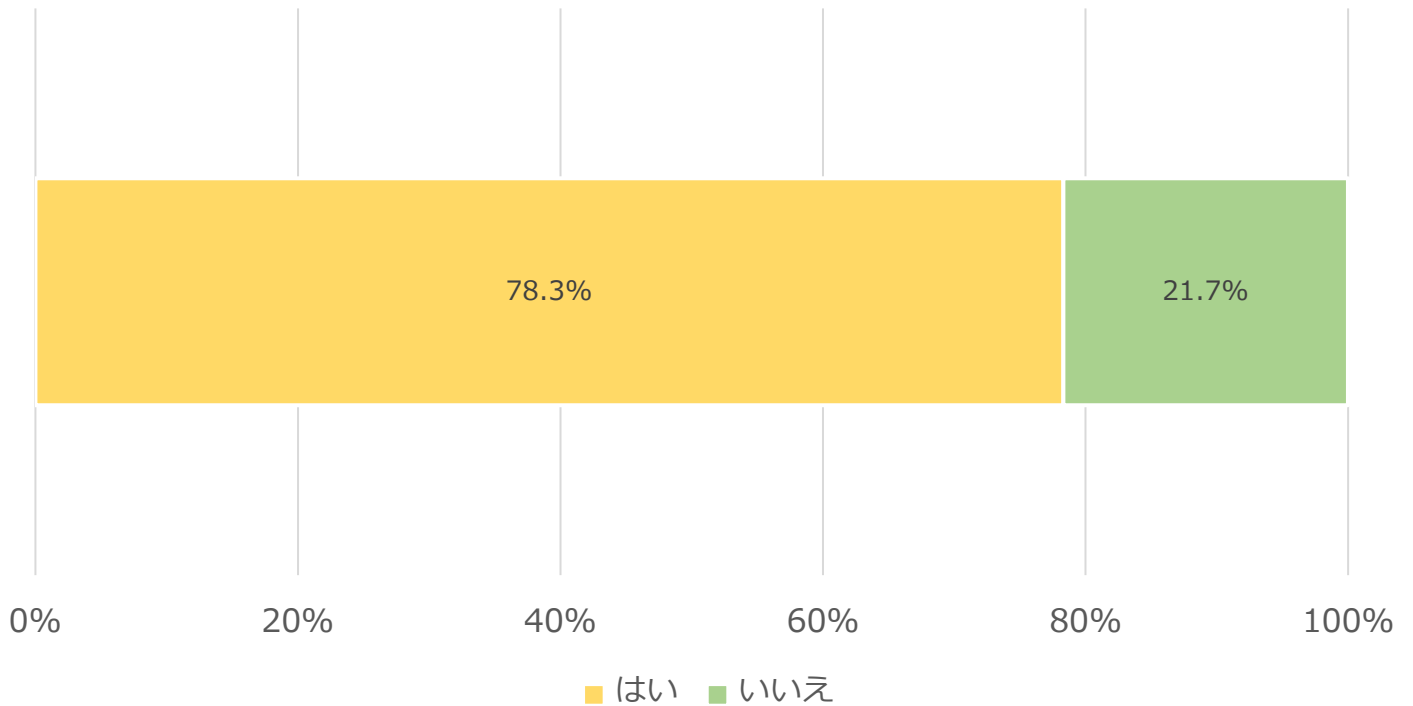
休日の地域クラブ活動の希望実施頻度



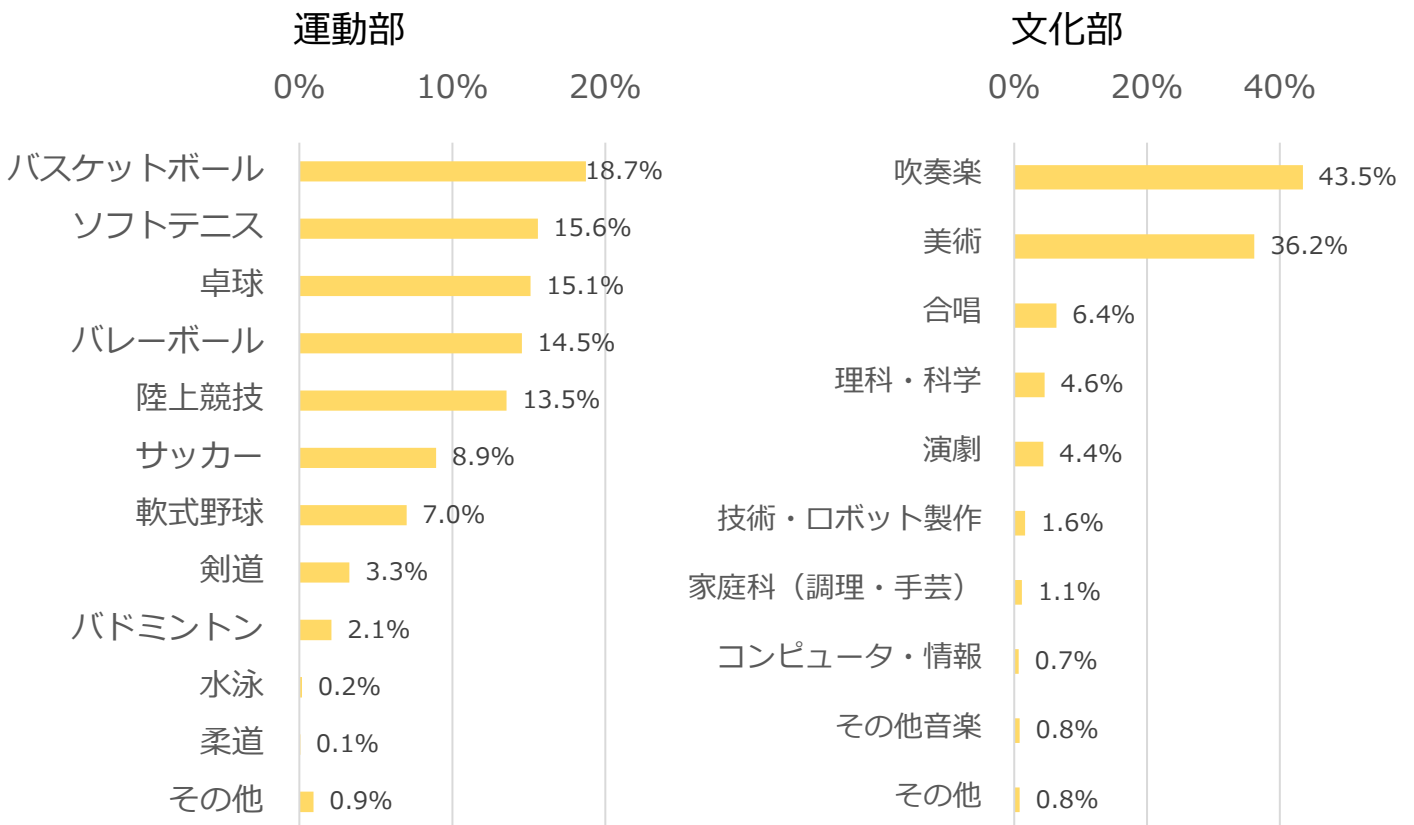
中学1・2年生

中学 1・2 年生

中学でやってみたい部活動はあった？

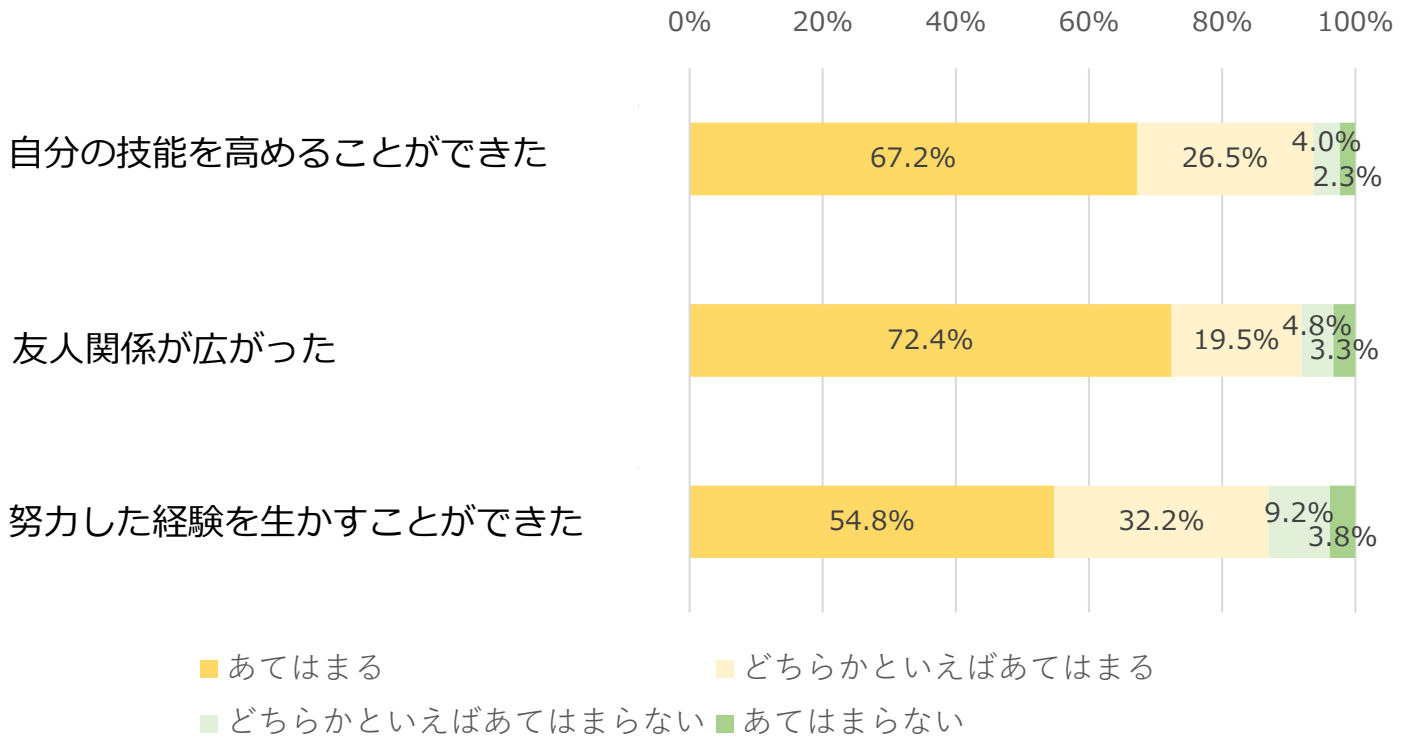


所属部活動

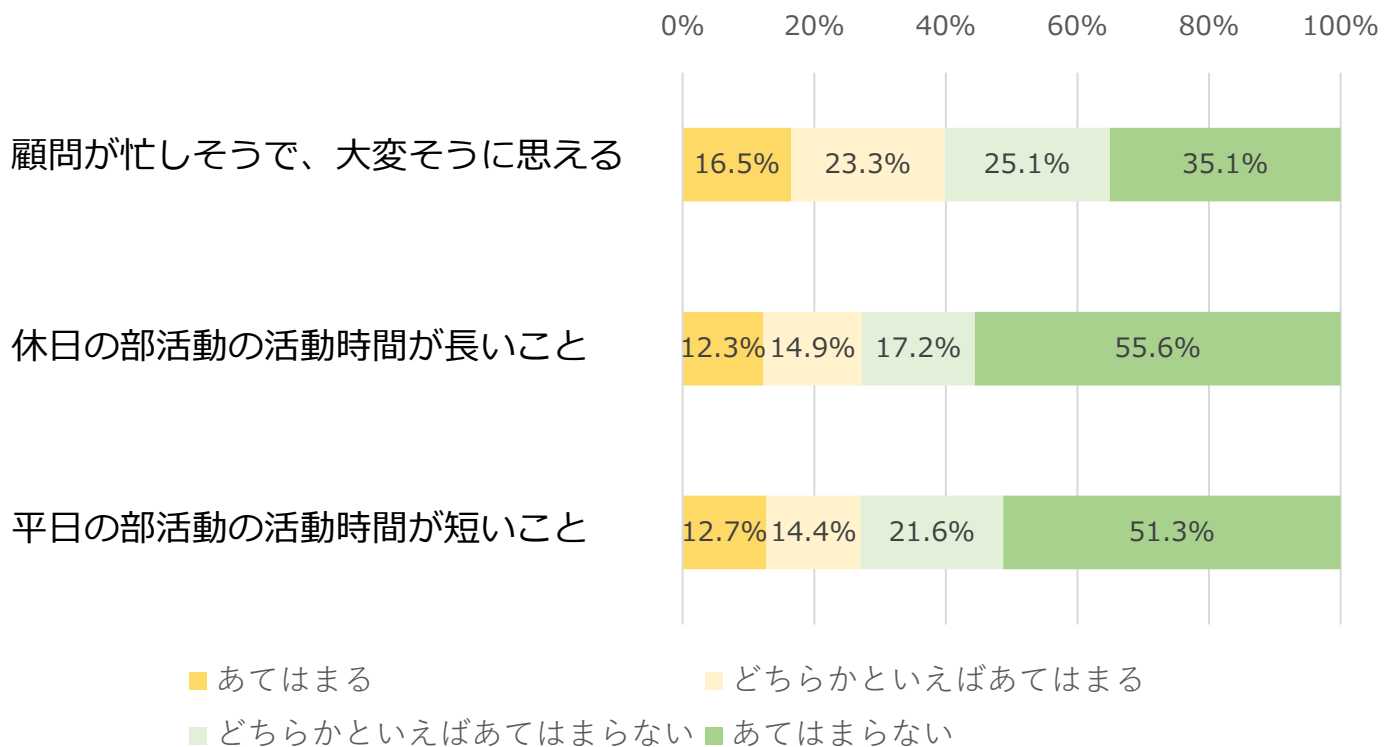


中学 1・2 年生

部活動に取り組んで「良かった」こと トップ3

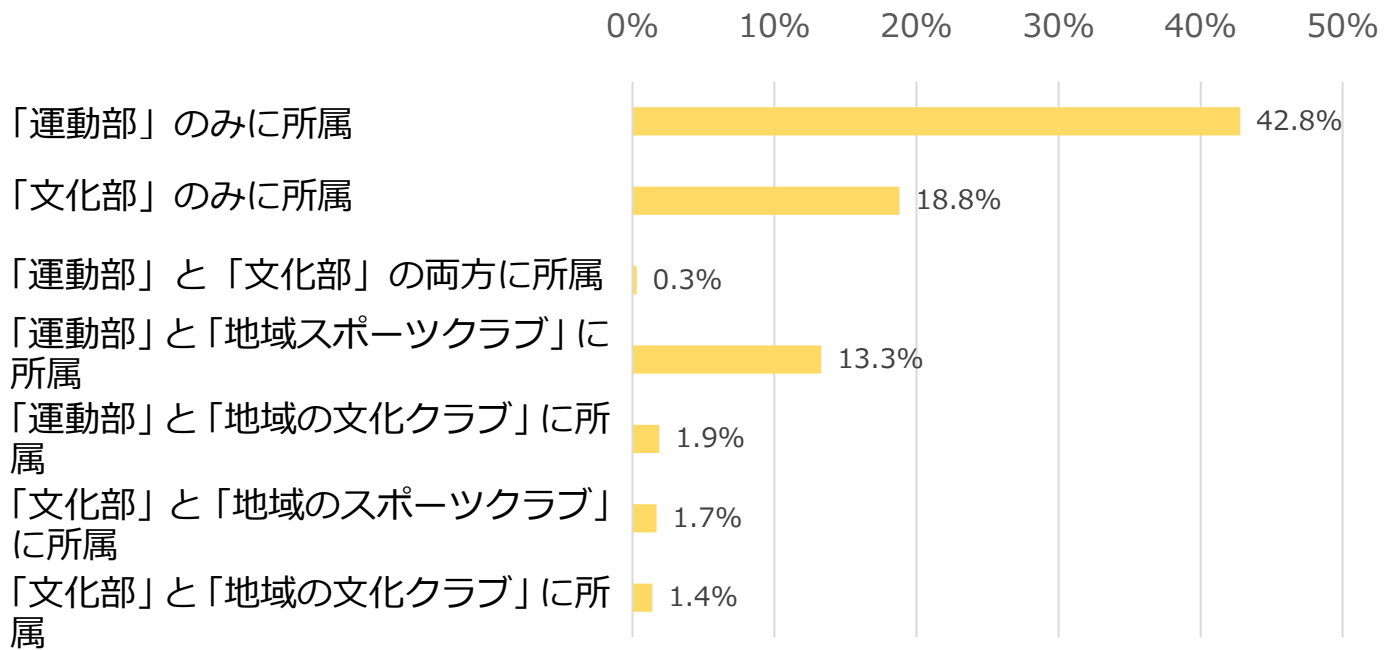


部活動で改善が必要と感じること トップ3



中学 1・2 年生

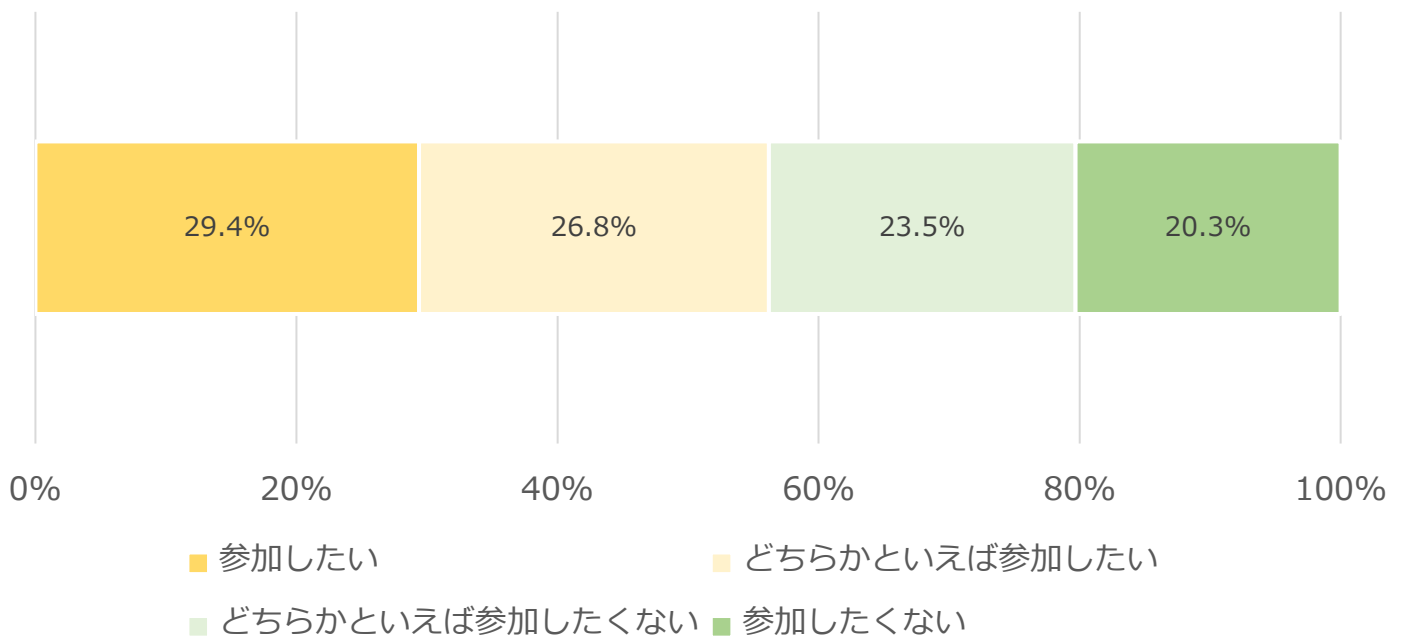
部活動への加入率



注) 地域スポーツクラブ又は地域の文化クラブのみに所属している者及びどこにも所属していない者を含めた割合を 100%としている。

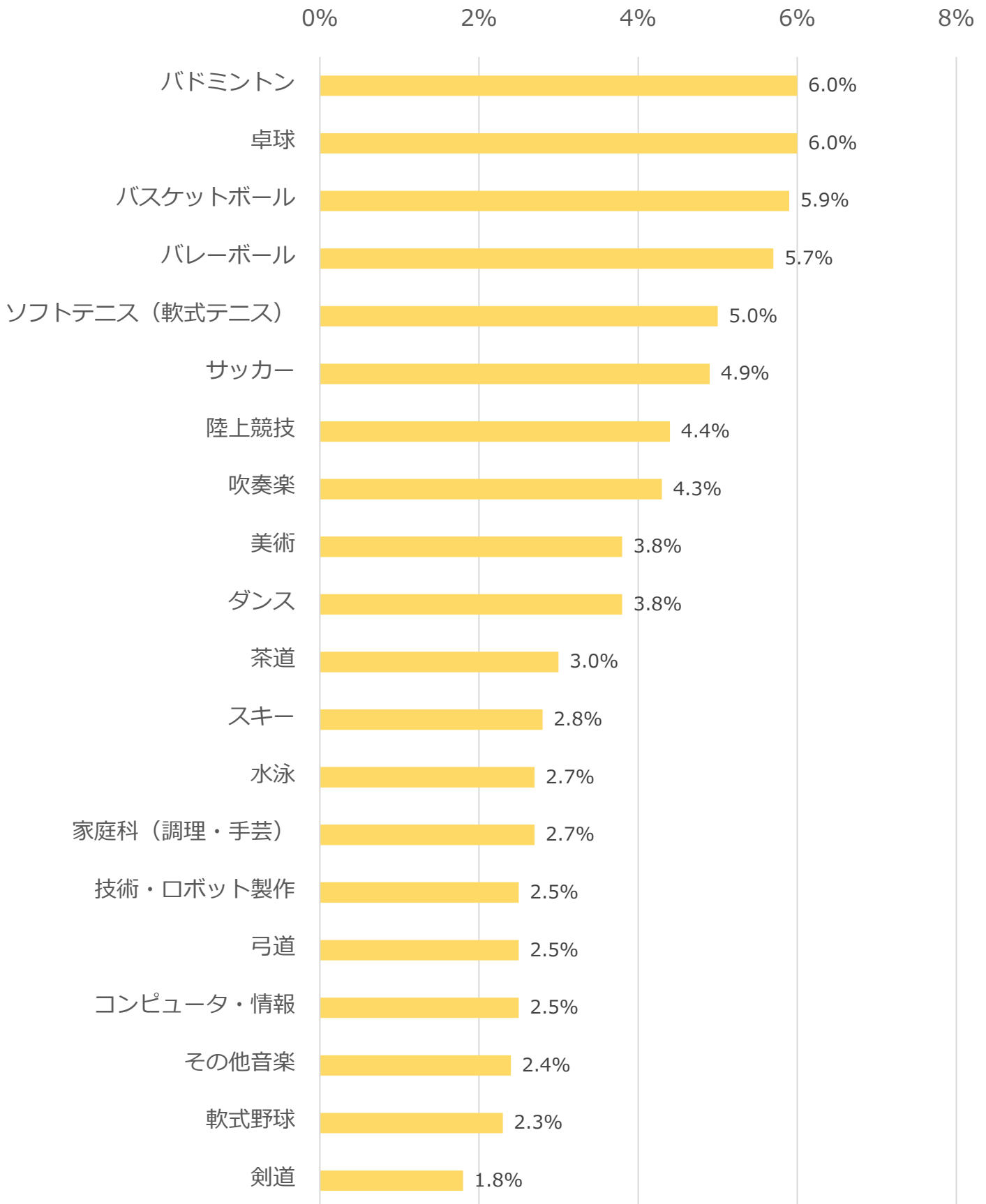
中学校の部活動が地域クラブ活動に移行した後の

「休日」のスポーツや文化活動の実施希望



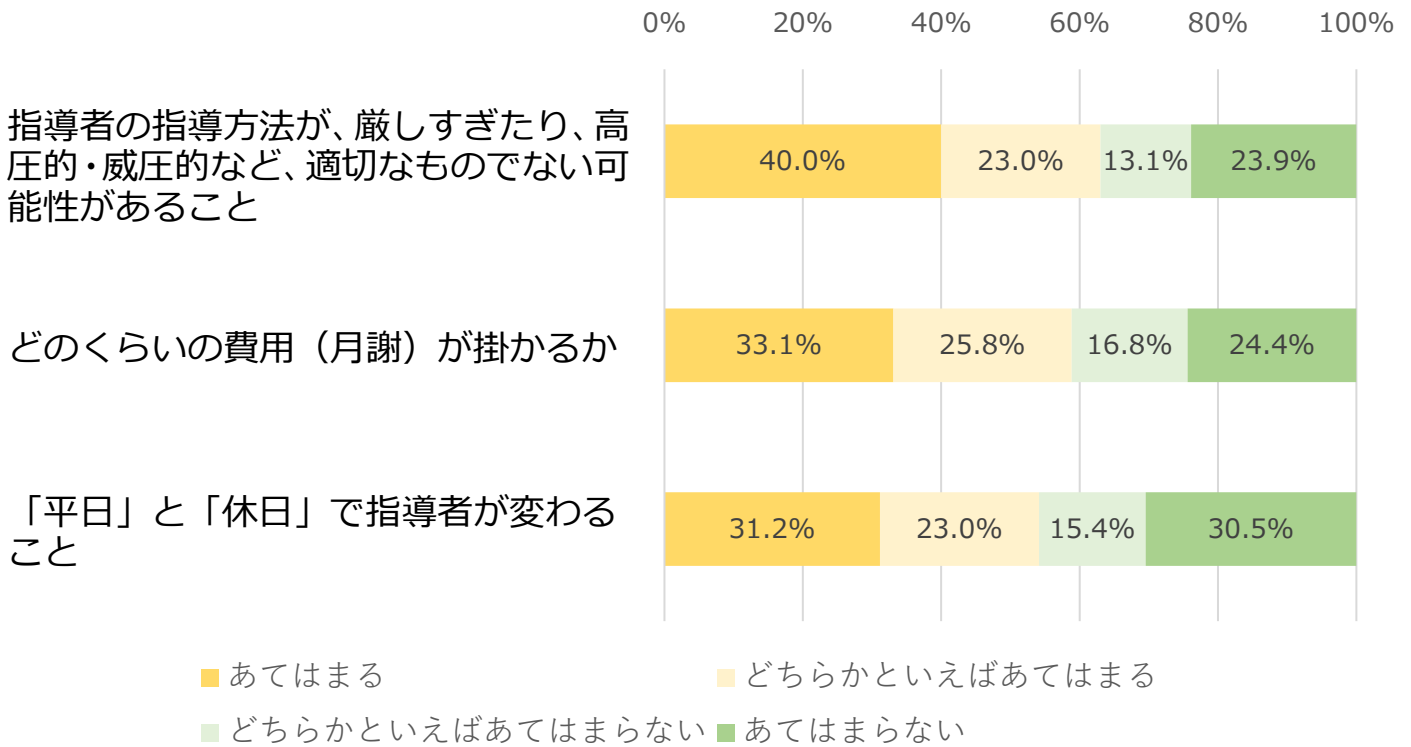
中学 1・2 年生

「休日」にやってみたいスポーツや文化活動 トップ 20

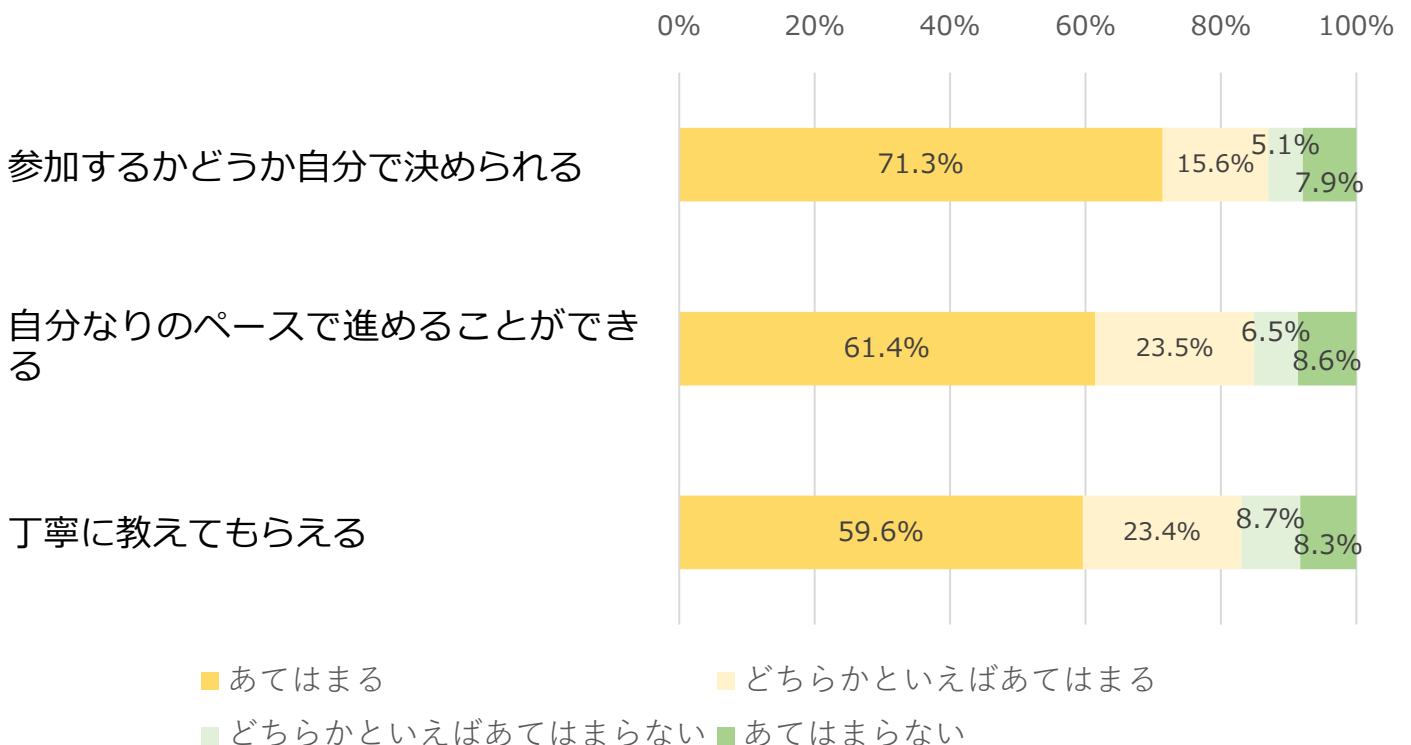


中学 1・2 年生

地域クラブ活動への加入に伴う心配 トップ3



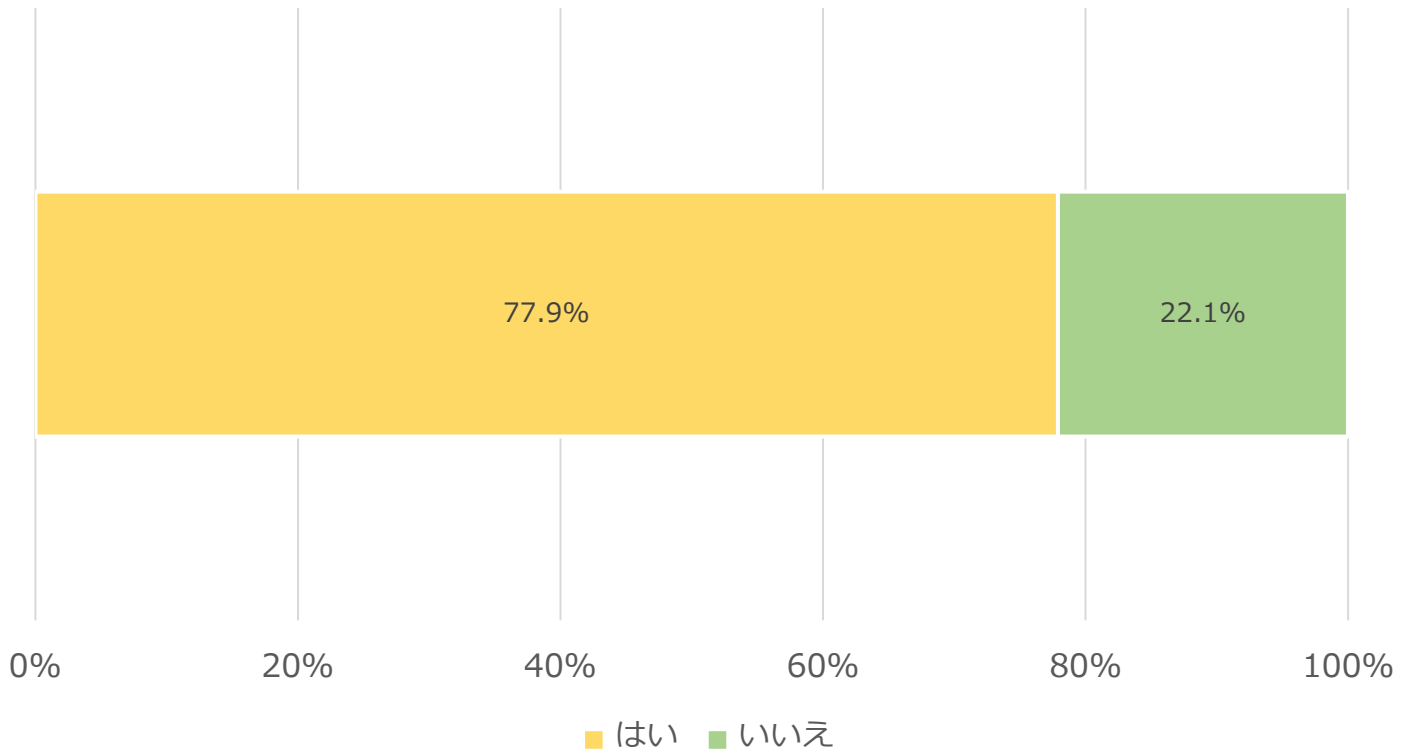
こんな地域クラブ活動であれば参加したい トップ3



中学3年生

中学3年生

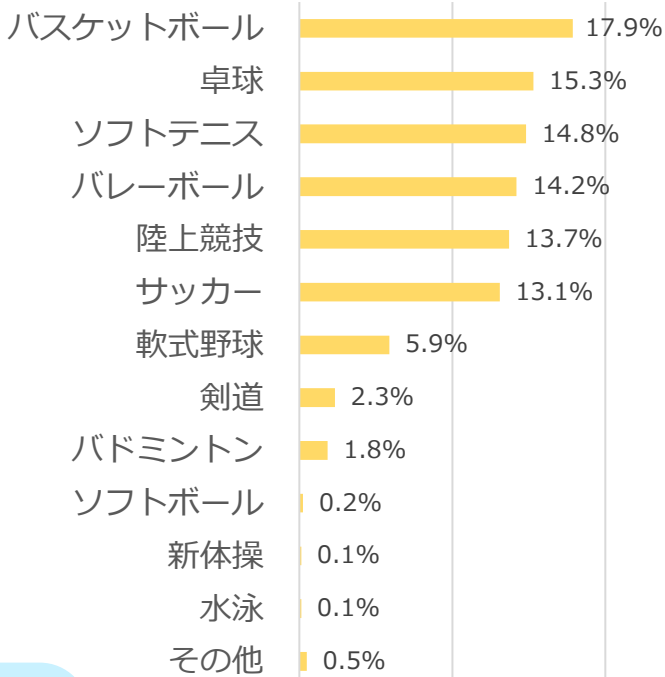
中学でやってみたい部活動はあった？



所属部活動

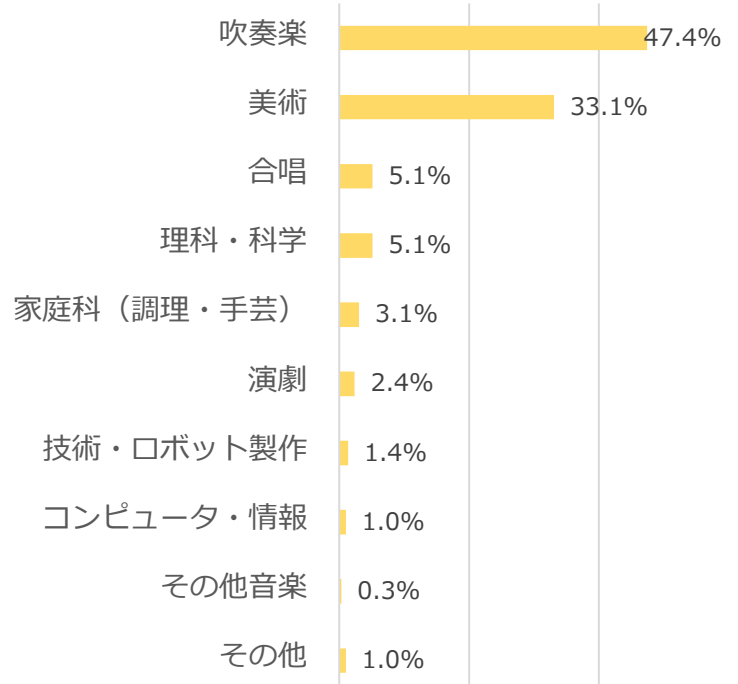
運動部

0% 10% 20%



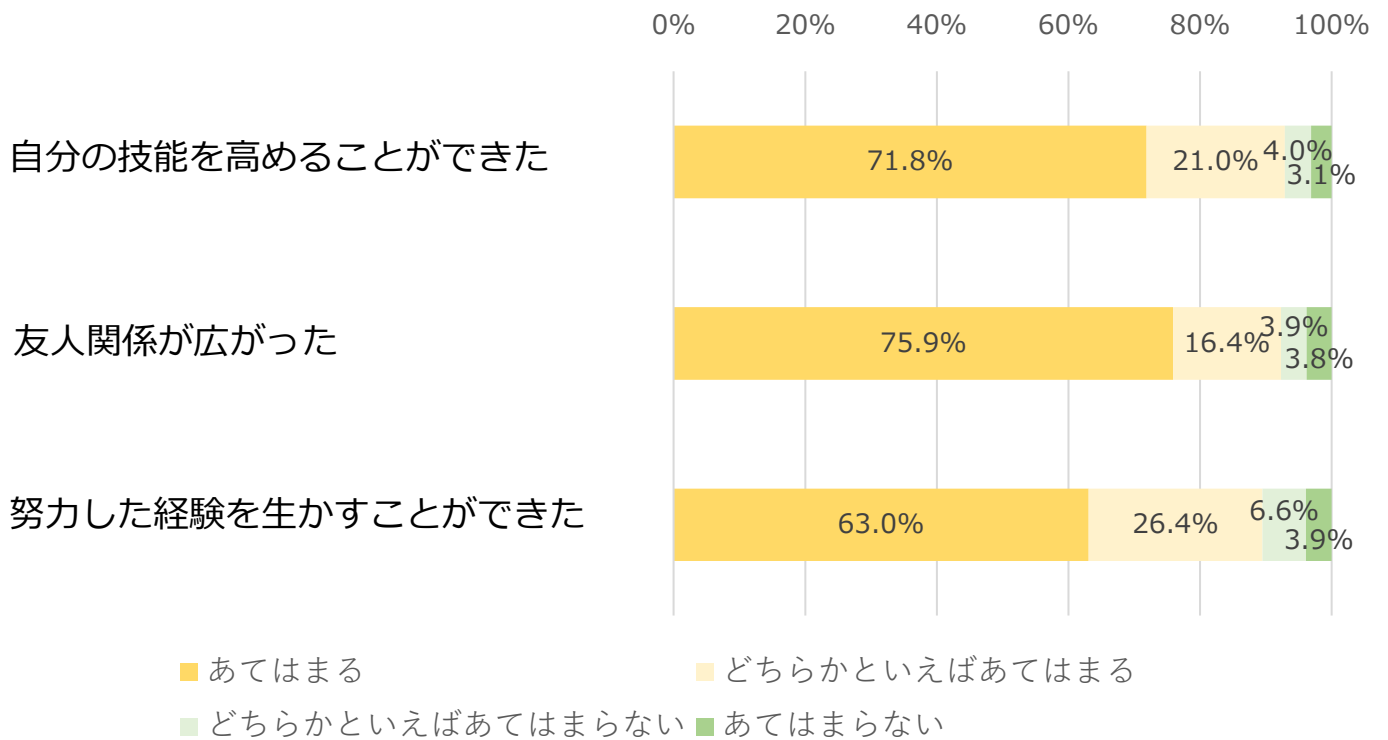
文化部

0% 20% 40%

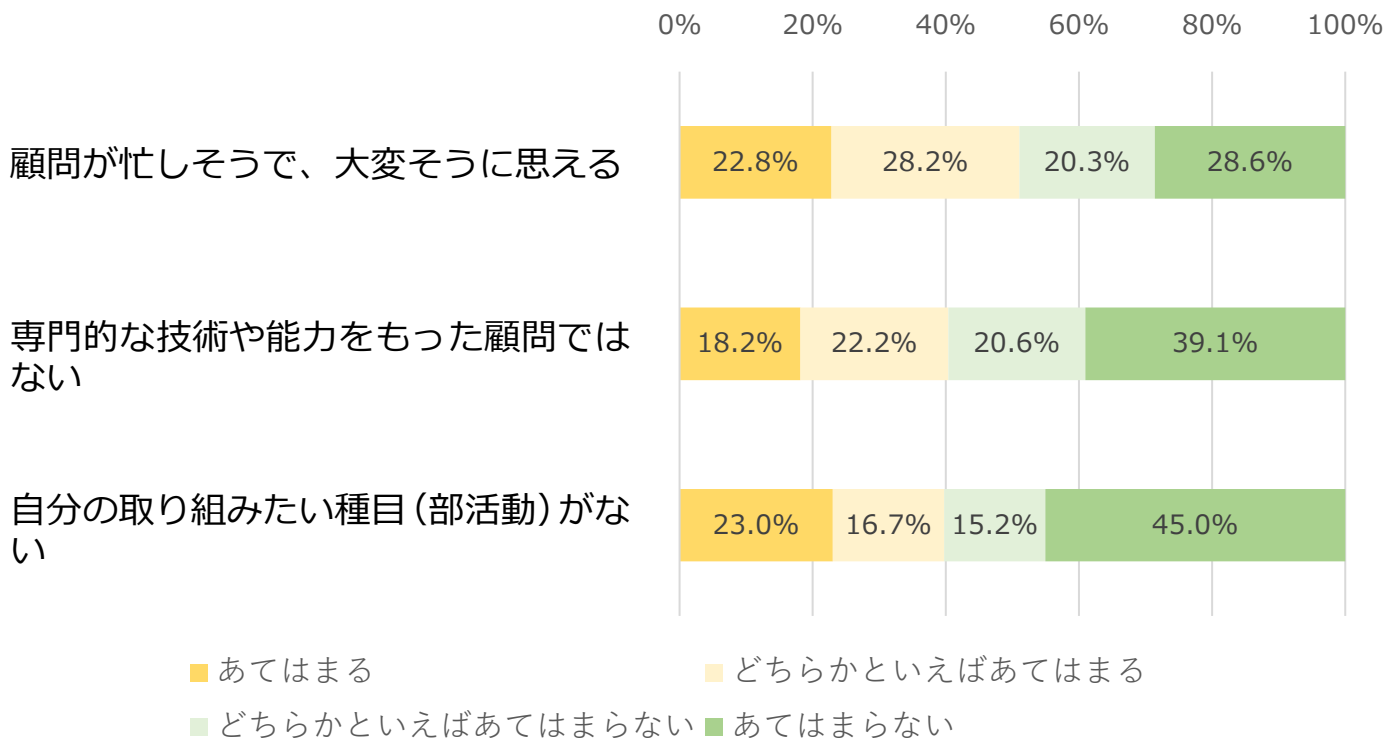


中学3年生

部活動に取り組んで「良かった」こと トップ3

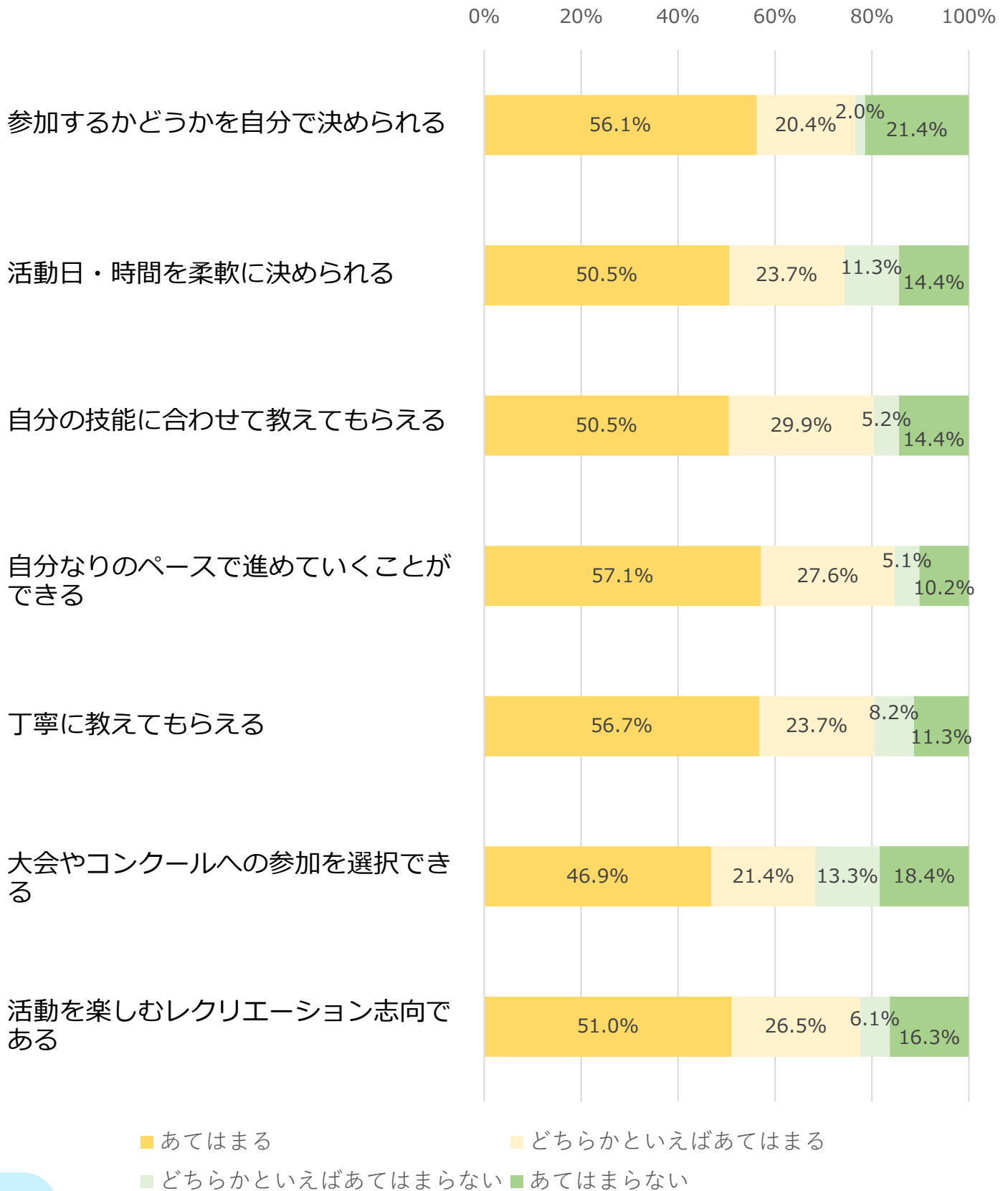


部活動で改善が必要と感じること トップ3



中学3年生

現在スポーツや文化活動をやっていない生徒が 新たな地域クラブ活動に望むこと



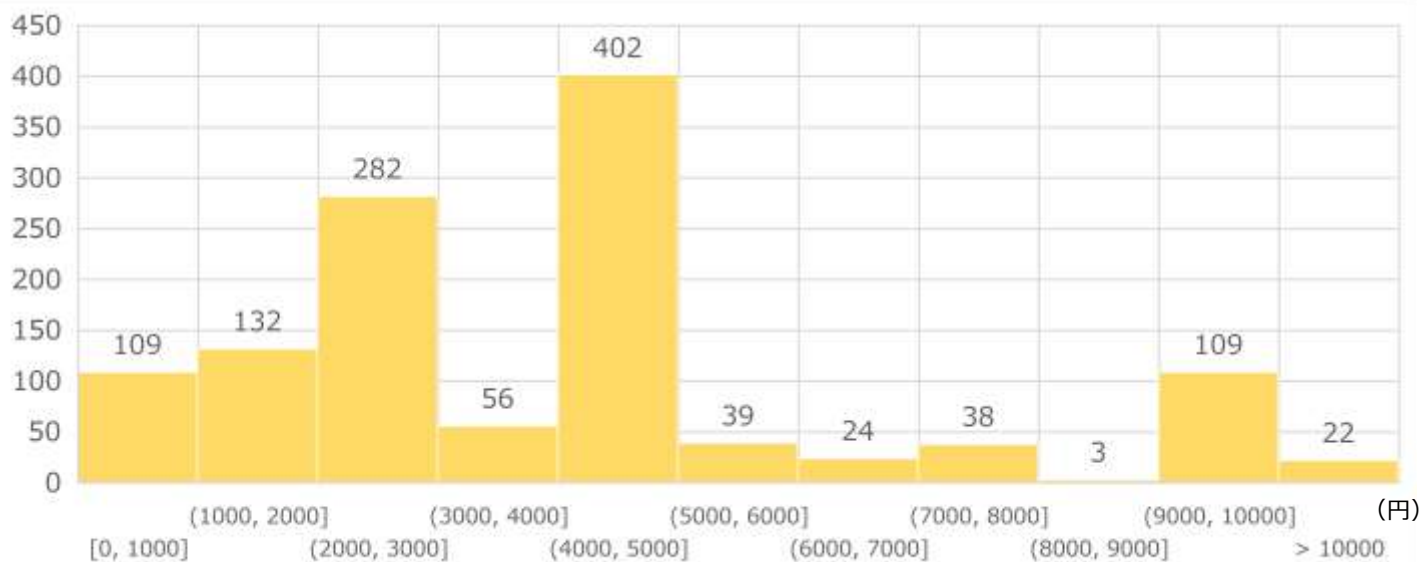
小学5・6年生保護者
中学生保護者

小学5・6年生保護者

地域クラブ活動移行に伴って月謝が必要となる場合の

許容できる金額

(人)



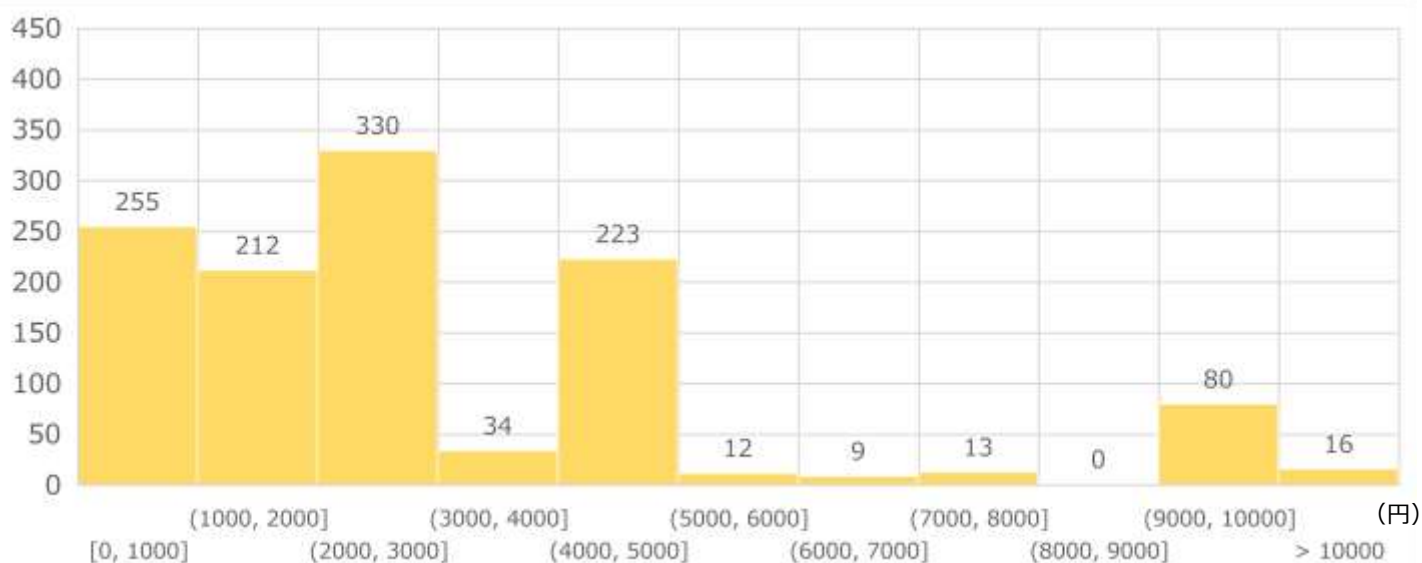
平均値	4,715.3 円	標準偏差	3,829.2 円	中央値	5,000 円
-----	-----------	------	-----------	-----	---------

中学生保護者

地域クラブ活動移行に伴って月謝が必要となる場合の

許容できる金額

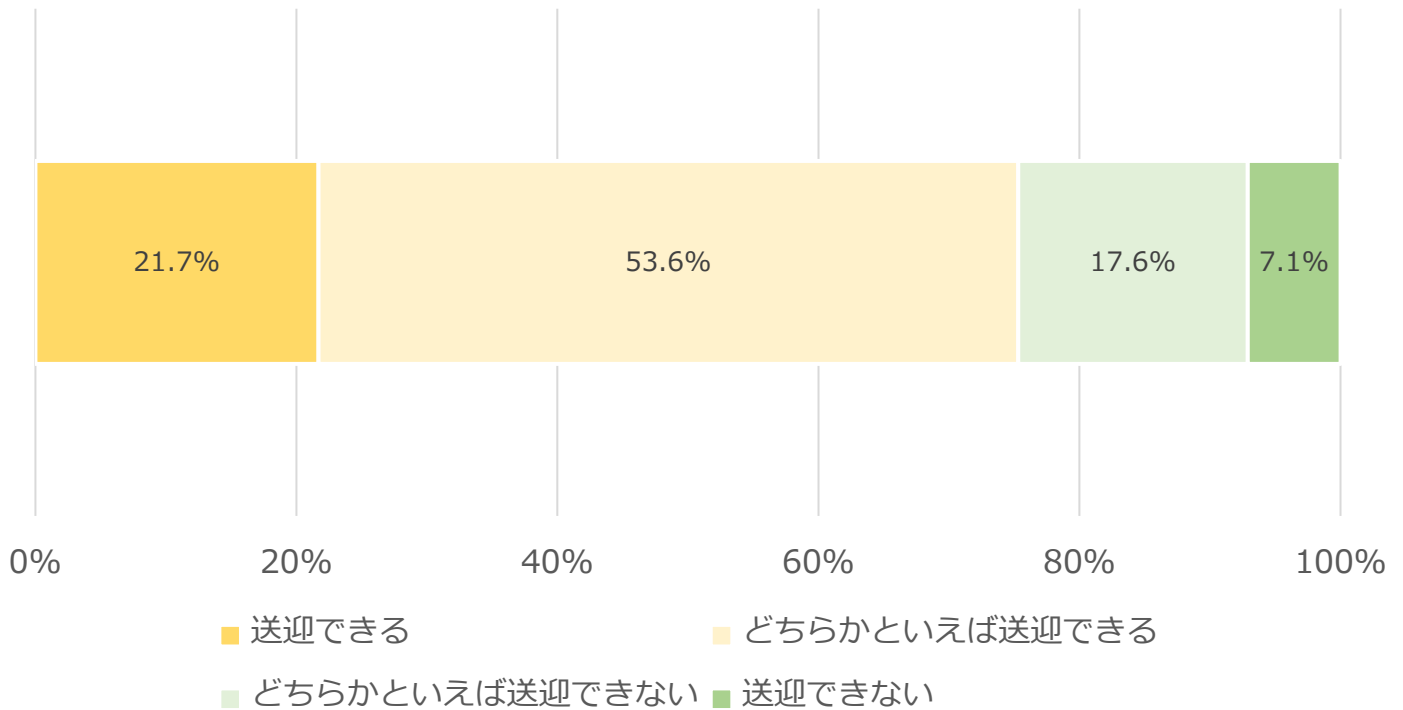
(人)



平均値	3,605.6 円	標準偏差	3,507.8 円	中央値	3,000 円
-----	-----------	------	-----------	-----	---------

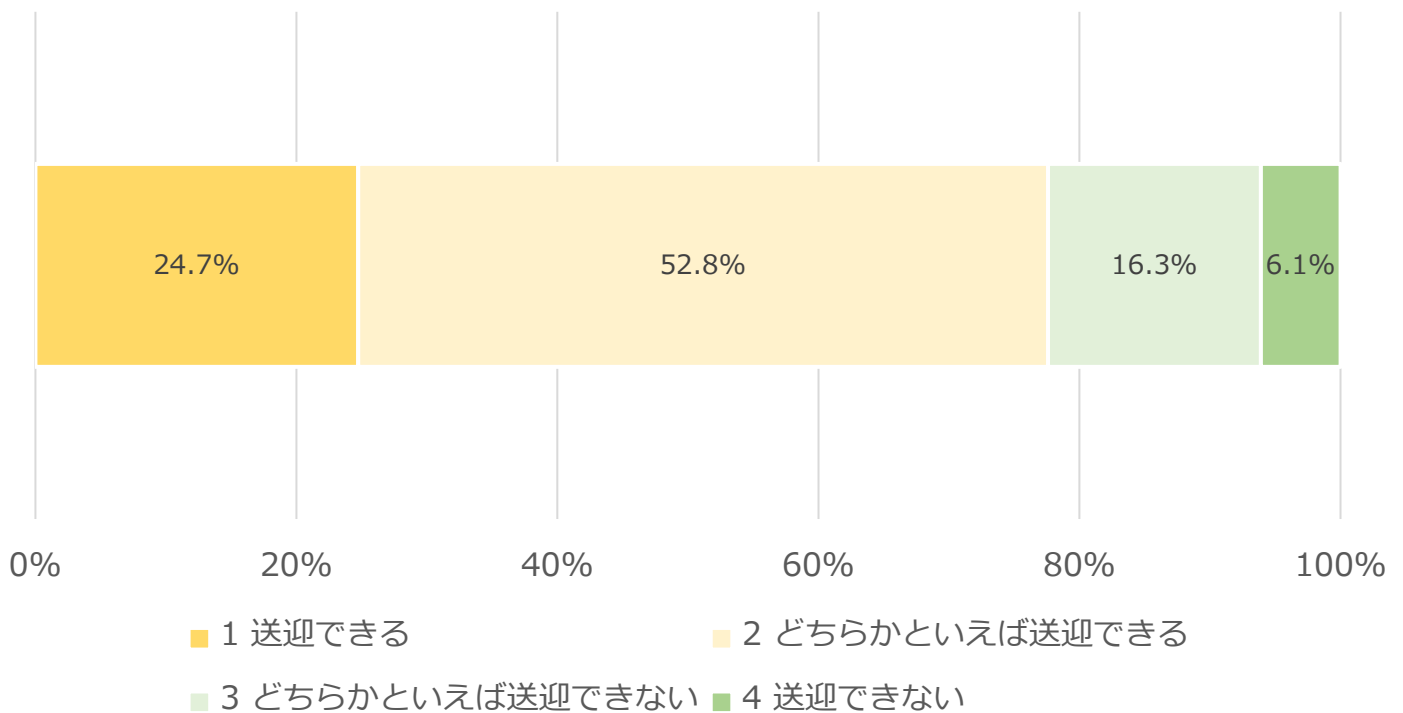
小学5・6年生保護者

地域クラブ活動への送迎の可否



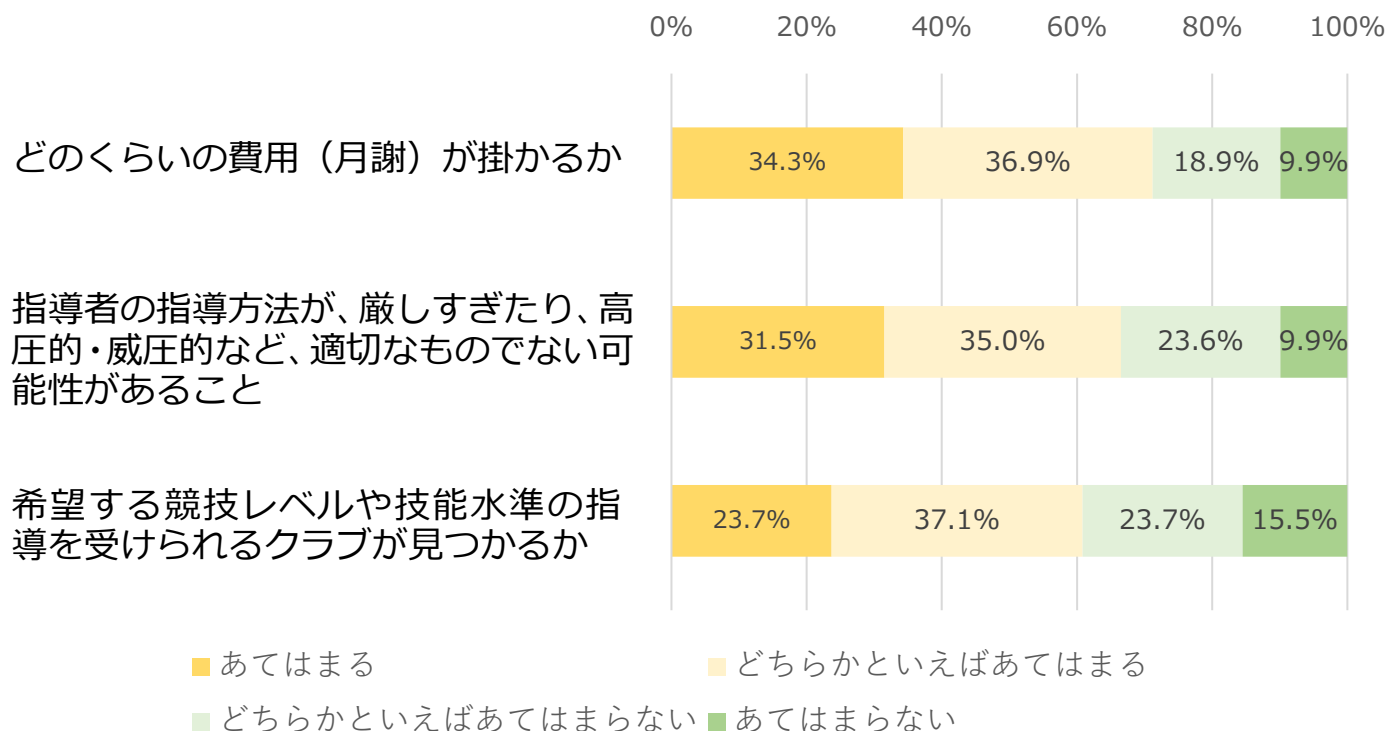
中学生保護者

地域クラブ活動への送迎の可否



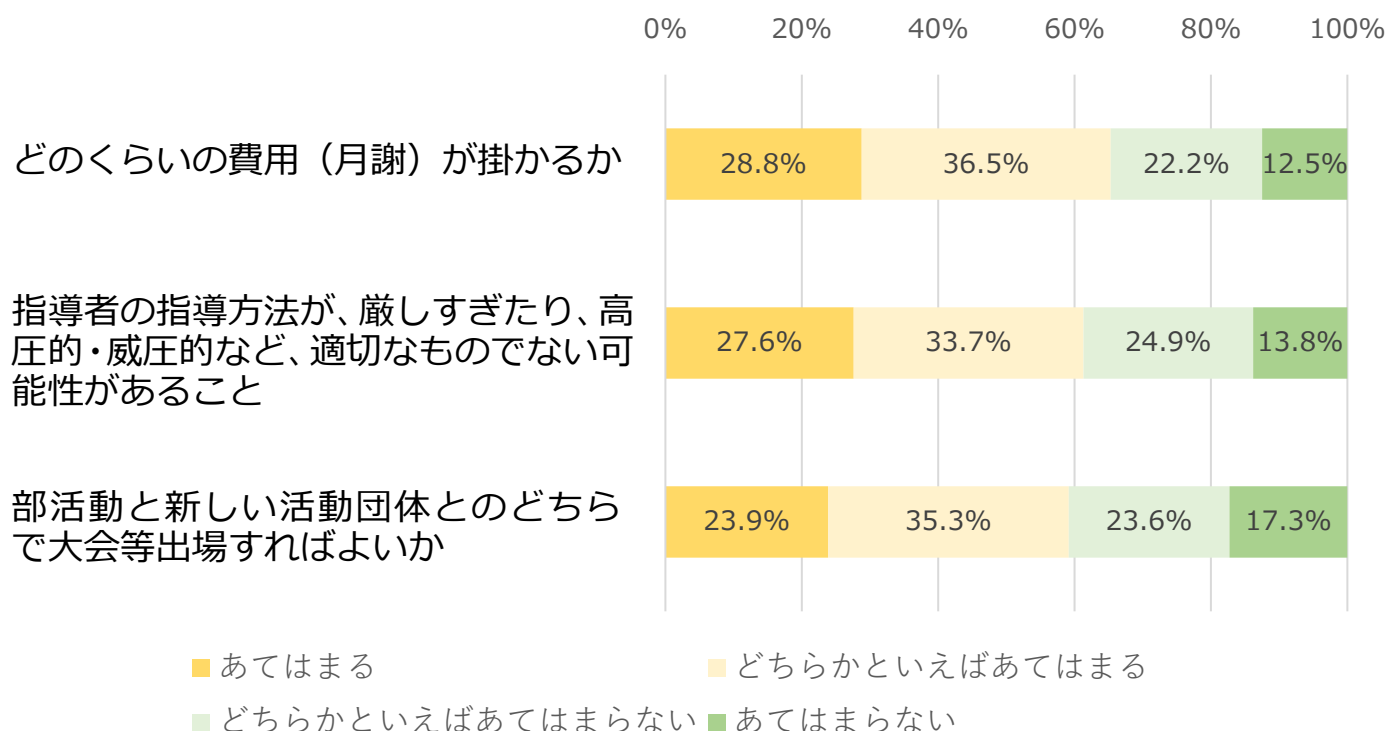
小学5・6年生保護者

地域クラブ活動への加入に伴う心配 トップ3



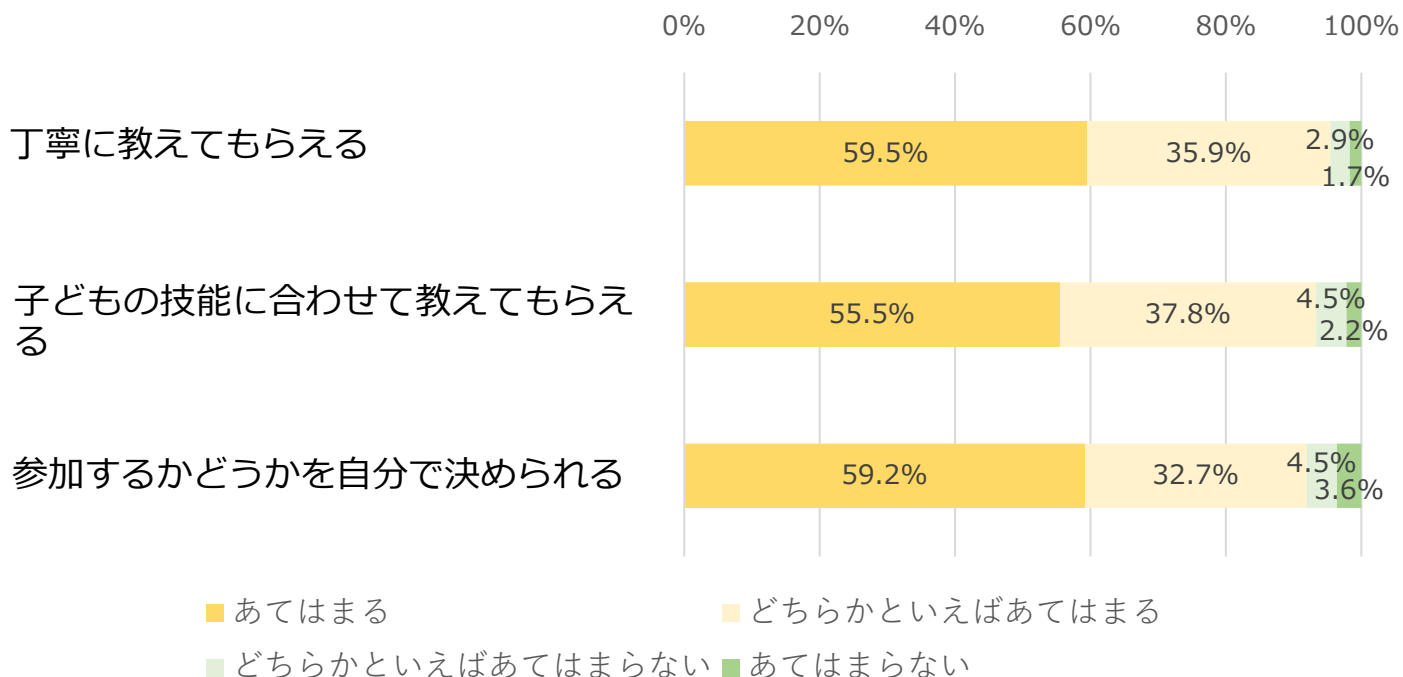
中学生保護者

地域クラブ活動への加入に伴う心配 トップ3



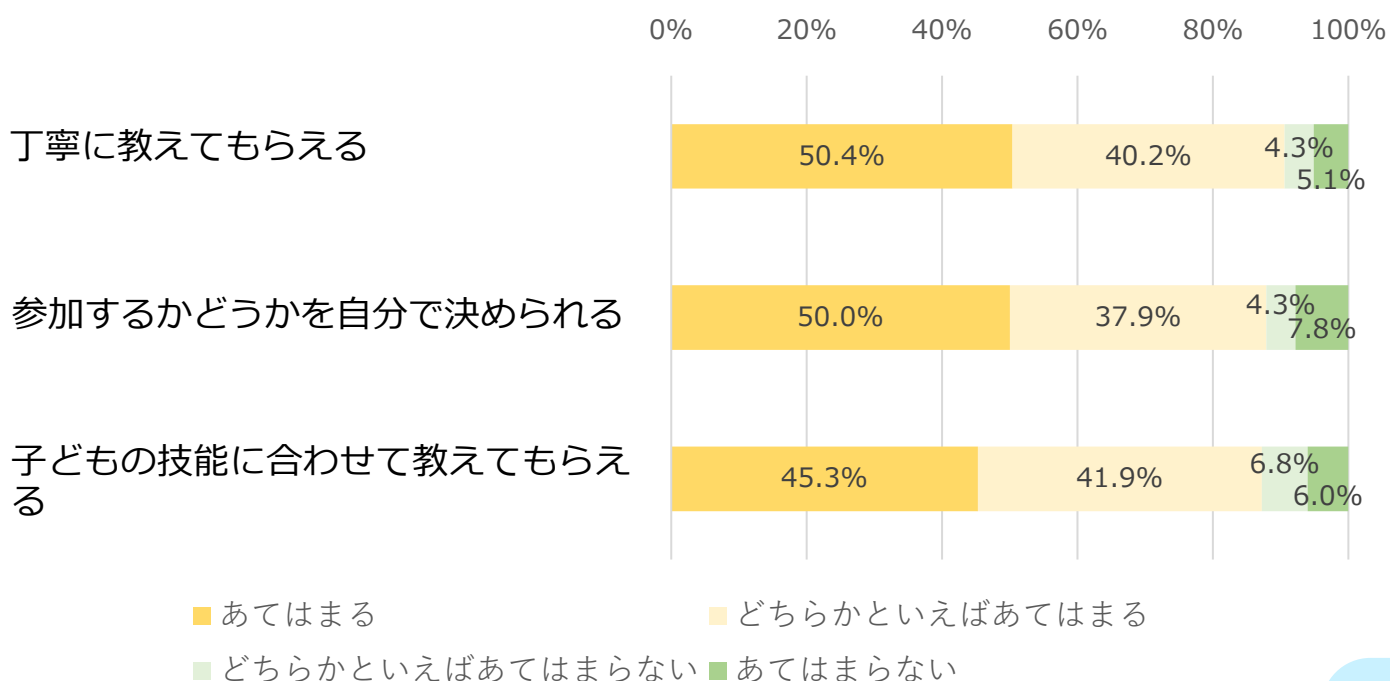
小学5・6年生保護者

現在スポーツや文化活動をやっていない子どもが 新たな地域クラブ活動に望むこと トップ3



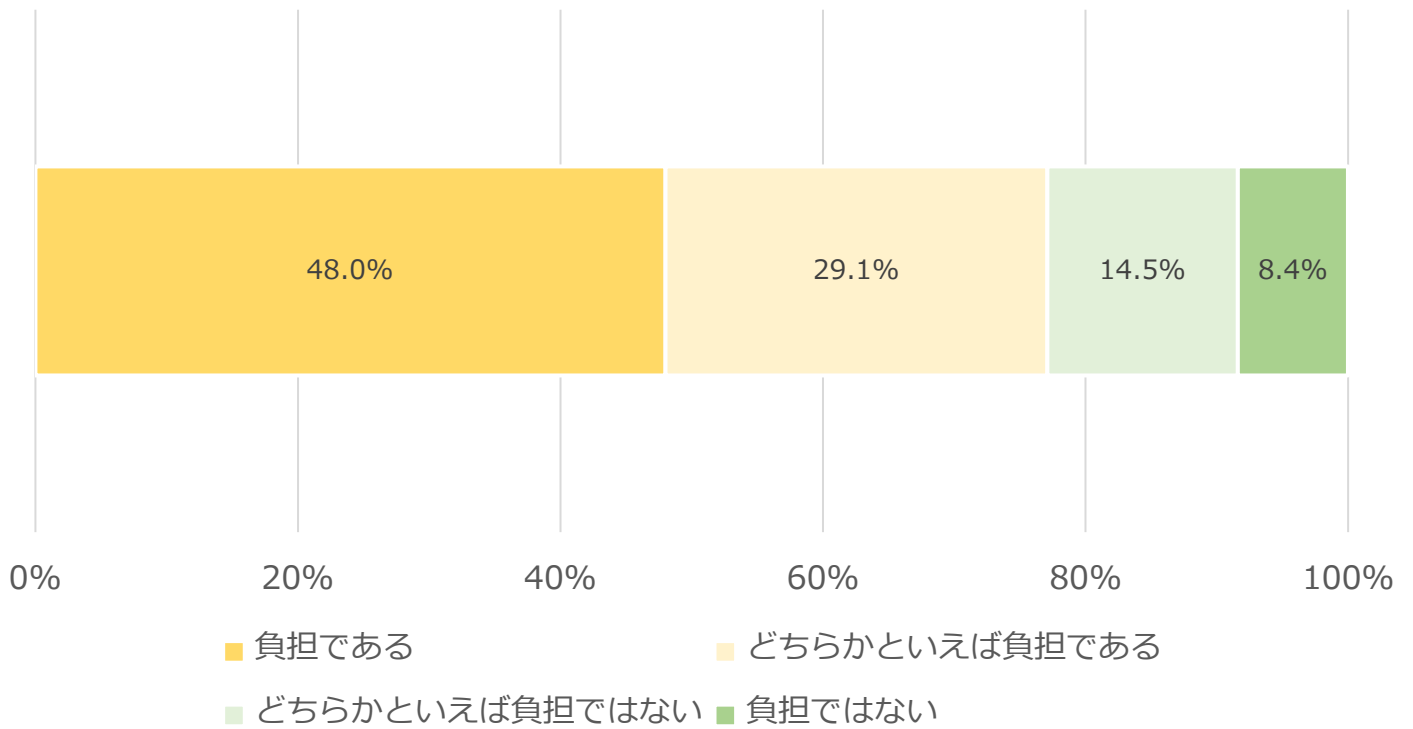
中学生保護者

現在スポーツや文化活動をやっていない子どもが 新たな地域クラブ活動に望むこと トップ3

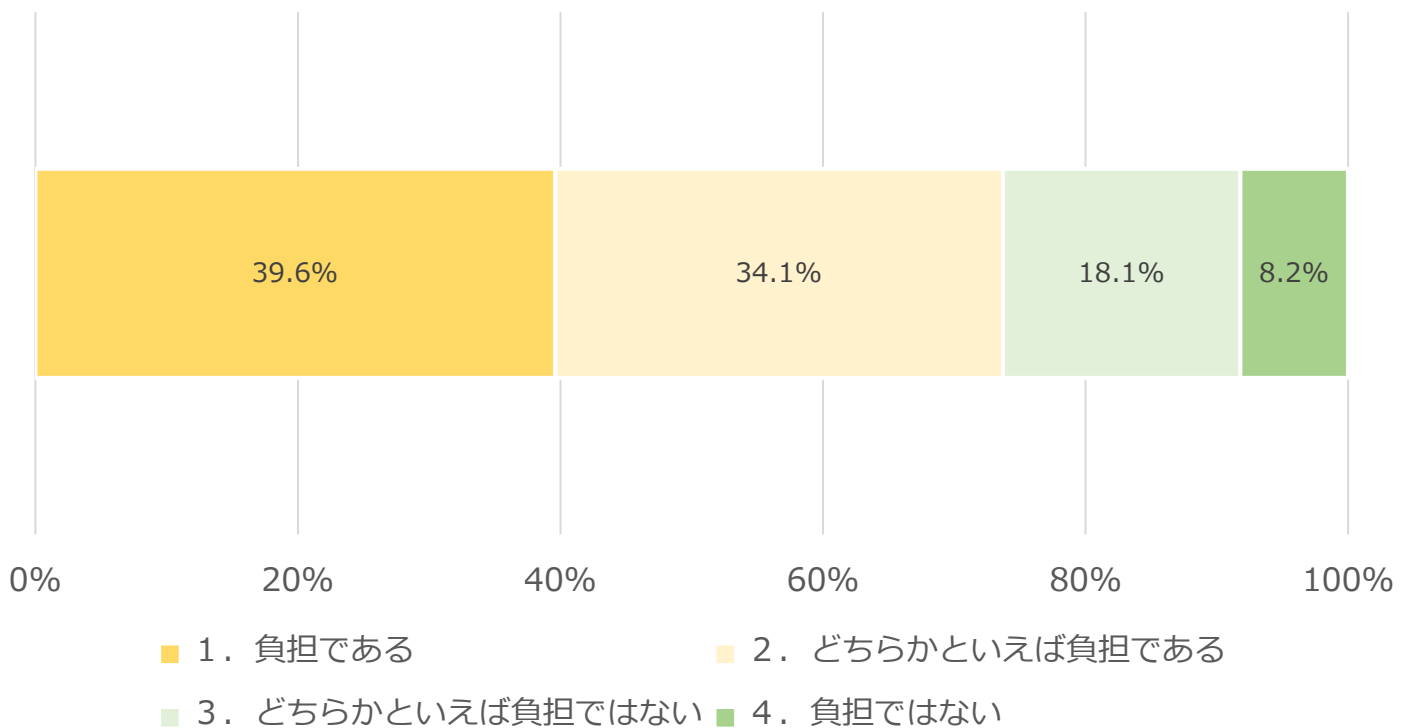


中学校教員

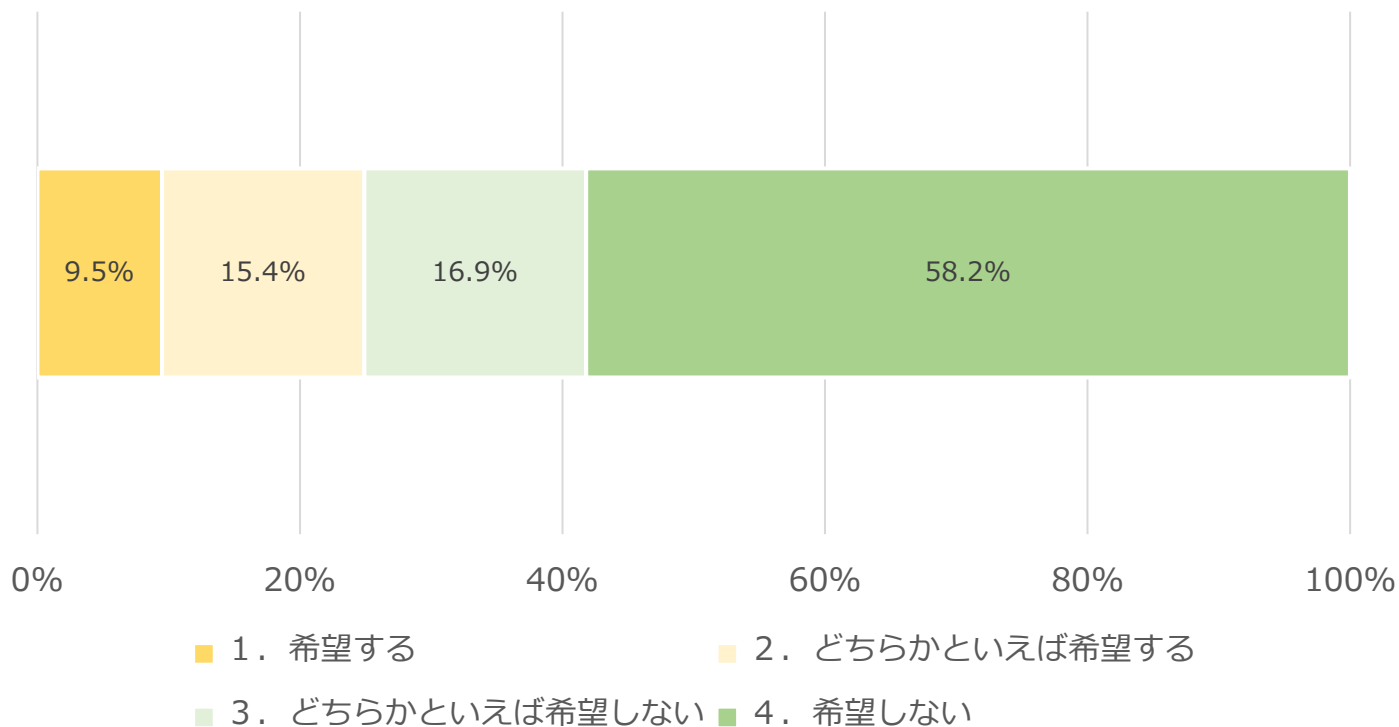
休日の部活動指導への負担感



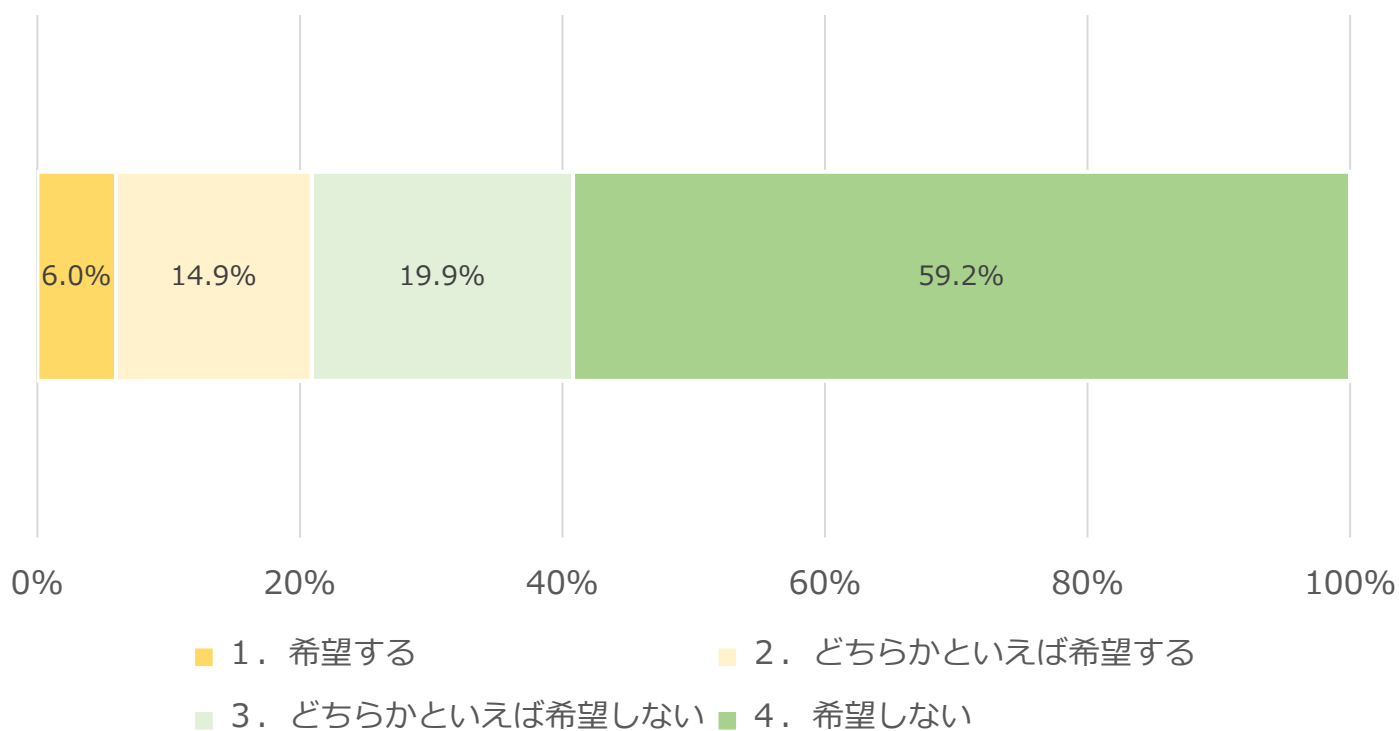
平日の部活動指導への負担感



移行後の休日の地域クラブ活動の指導希望

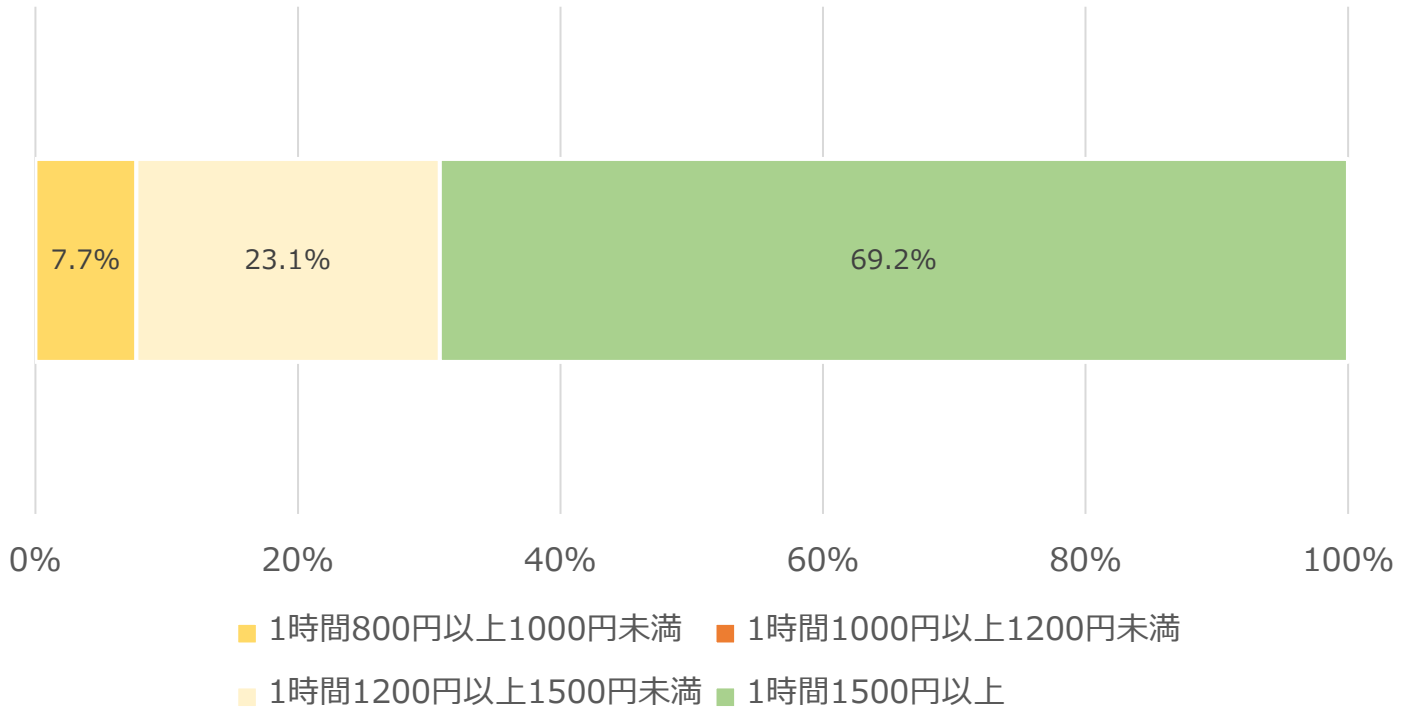


移行後の平日の地域クラブ活動の指導希望

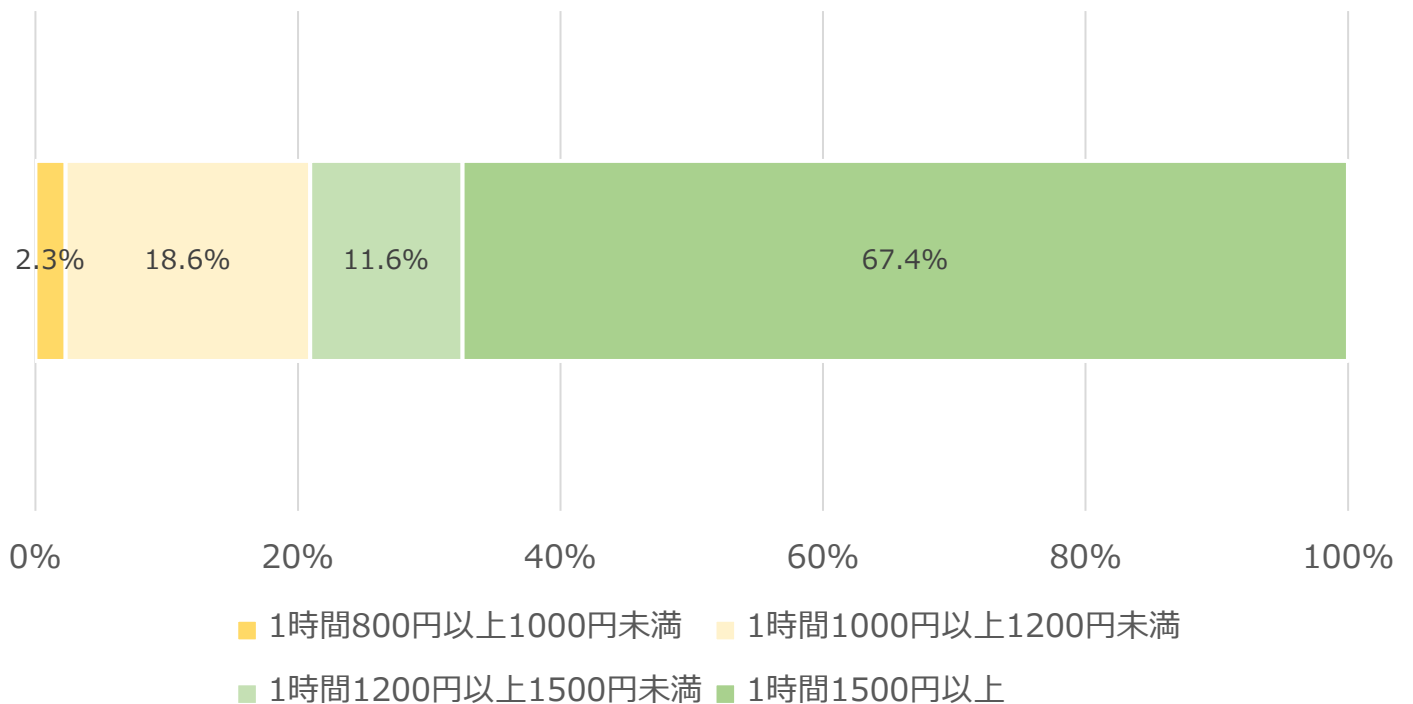


中学校教員

休日の地域クラブ活動の指導実施の際の希望報酬



平日の地域クラブ活動の指導実施の際の希望報酬



注1) 休日又は平日の地域クラブ活動の指導希望について「希望しない」「どちらかといえば希望しない」と回答した者のうち、希望しない理由として「労働に対する対価が見合わないから」と回答した者への質問

注2) 休日においては「1時間 1000 円以上 1200 円未満」は0%であった。

令和4年度

部活動の地域クラブ活動への 移行に係る調査

結果の詳細



「やってみたい！」プロジェクト

子どもの

を応援する ガクトまつもと

令和5（2023）年4月

松本市教育委員会

目次

目的	1
方法	1
結果と考察	
小学5・6年生を対象とした調査の結果	2
1 運動・スポーツ、文化の活動に対する思いと中学校部活動への加入希望	3
2 平日に「やってみたい」種目や活動	5
3 休日のスポーツや文化活動の実施希望	8
4 休日に「やってみたい」種目や活動	9
5 「やってみたい」と思う種目・活動を選んだ理由	12
6 地域クラブ活動に望むこと	14
7 休日の地域クラブ活動の希望実施頻度と時間	17
中学1・2年生を対象とした調査の結果	19
1 運動やスポーツ、文化の活動に対する思い	20
2 部活動および地域クラブ活動への所属率	22
3 所属する部活動や地域クラブ活動の種目や活動	24
4 部活動に取り組んで「良かった」こと	29
5 部活動で改善が必要と感ずること	31
6 スポーツ・文化活動に所属していない者が活動に望むこと	33
7 休日の地域クラブ活動への参加希望や活動に望むこと	34
8 地域クラブ活動への加入に伴う心配	39
中学3年生を対象とした調査の結果	41
1 運動やスポーツ、文化の活動に対する思い	42
2 部活動および地域クラブ活動への所属率	44
3 所属する部活動や地域クラブ活動の種目や活動	46
4 部活動に取り組んで「良かった」こと	51
5 部活動で改善が必要と感ずること	53
6 スポーツ・文化活動に所属していない者が活動に望むこと	55
小学5・6年生保護者を対象とした調査の結果	56
1 地域クラブ活動への所属率と月謝及び年間の費用負担	57
2 スポーツ・文化活動に所属していない者が活動に望むこと	60
3 地域クラブ活動に移行した場合の月謝の許容額	62
4 地域クラブ活動への送迎	63
5 地域クラブ活動への加入に伴う心配	65
中学生保護者を対象とした調査の結果	67
1 地域クラブ活動への所属率と月謝及び年間の費用負担	68
2 スポーツ・文化活動に所属していない者が活動に望むこと	72
3 地域クラブ活動に移行した場合の月謝の許容額	74
4 地域クラブ活動への送迎	75
5 地域クラブ活動への加入に伴う心配	77
中学校教員を対象とした調査の結果	79
1 部活動顧問の割合、指導者資格や指導経験の有無、休日部活動の負担感	80
2 休日の地域クラブ活動の指導希望	83

3 休日の大会運営への従事希望	89
4 平日部活動に対する負担感	90
5 平日の地域クラブ活動の指導希望	92
6 指導者研修の希望	97

目 的

本調査は、部活動の地域クラブ活動への移行を進めるに当たって、子どもが「やってみたい」と思うスポーツや文化の活動をできる限り支える制度とするため、児童・生徒及びその保護者並びに教員のニーズを把握することを目的とした。

方 法

調査時期

本調査は、令和4（2022）年12月2日から12月31日までの期間で実施された。

調査対象者および分析対象者

調査対象者は、松本市内の小学5・6年生とその保護者、組合立中学校を含む松本市内中学1・2・3年生とその保護者、及び組合立中学校を含む松本市内中学校教員とした。中学生への調査は、中学1・2年生と中学3年生とで別々に実施した。中学校教員は、校長、教頭、教諭、講師、養護教諭を調査対象とした。調査対象者及び調査対象者のうち記入漏れや記入ミスがあったものを除く分析対象者の数を表1に示した。

表1 調査対象者および分析対象者

所属	調査対象者（人）	分析対象者（人）	有効回答率（%）
小学5・6年生	3,746	3,031	80.9
中学1・2年生	3,894	2,922	75.0
中学3年生	2,003	1,361	67.9
小学5・6年生保護者	3,746	1,274	34.0
中学生保護者	5,897	1,518	25.7
中学校教員	545	204	37.4

注) 保護者へは、お子さん1名につき1回の回答を依頼した。

手続き

QRコード又はURLからリンクされた調査に、インターネット上で回答を求めた。

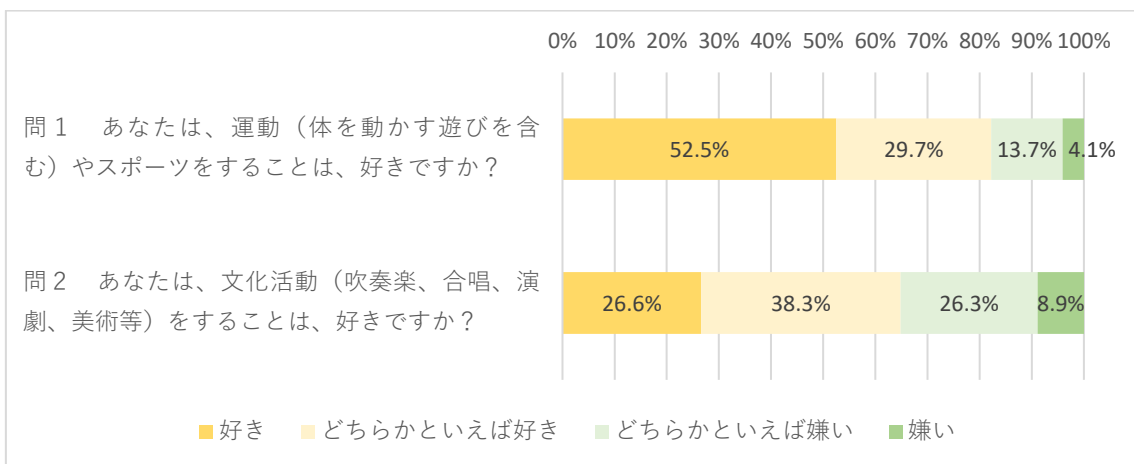
留意事項

- (1) 各対象者の結果の図表には、小数点第1位までの数値を記載した。そのため割合の合計は、必ずしも100%とならない。
- (2) 図においては質問項目を省略して表記している箇所がある。
- (3) 類似の質問項目であっても、小中学校間で異なる選択肢から構成されている項目がある。たとえば、「やってみたい」種目や活動を問う項目においては、小学生にはキャンプを選択肢に設け、中学生には設けていない。この理由は、中学生においては、自由記述を設定することで回答の自由度を増やしたことによる。

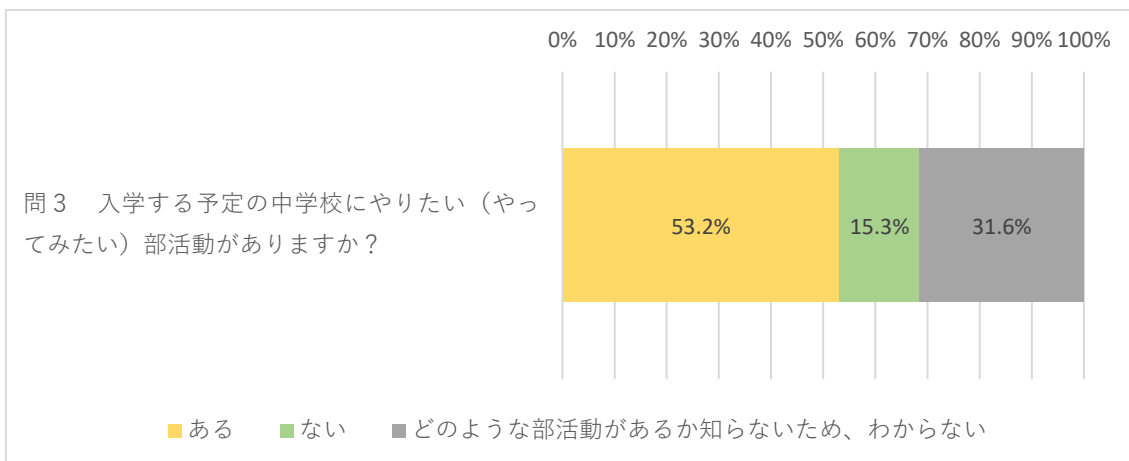
小学5・6年生を対象とした調査の結果

1 運動・スポーツ、文化の活動に対する思いと中学校部活動への加入希望

主な結果	
✓	運動やスポーツが「好き」「どちらかといえば好き」と回答した者は全体の82.2%、文化活動に対して同様に回答した者は64.9%であった。
✓	小学5・6年生の81.2%は、「平日」にスポーツや文化活動を「やってみたい」と回答した。このことからスポーツや文化活動への高い期待がうかがえる。
✓	小学5・6年生の18.8%は、「平日」にスポーツや文化活動を「やりたくない」と回答した。学校においては、スポーツや文化活動の意義に配慮しつつ、部活動が任意の活動であることから、部活動への加入が強要されないよう配慮する必要があると考えられる。

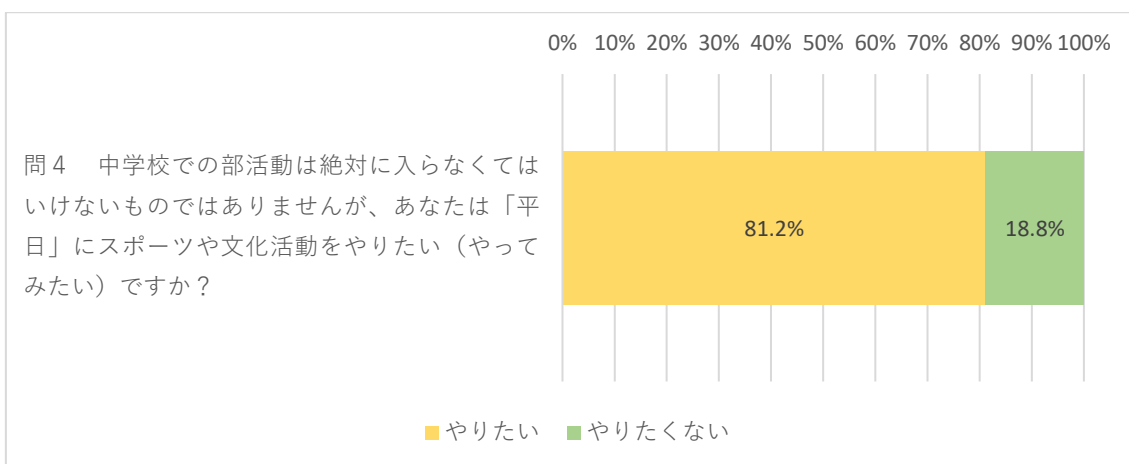


項目	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば嫌い	嫌い	合計
問1 あなたは、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは、好きですか？	1581 52.5%	894 29.7%	411 13.7%	124 4.1%	3010 100.0%
問2 あなたは、文化活動（吹奏楽、合唱、演劇、美術等）をすることは、好きですか？	803 26.6%	1154 38.3%	792 26.3%	267 8.9%	3016 100.0%



項目	ある	ない	わからない	合計
問3 入学する予定の中学校にやりたい（やってみたい）部活動がありますか？	1596	458	948	3002
	53.2%	15.3%	31.6%	100.0%

注) 「わからない」は「どのような部活動があるか知らないため、わからない」と尋ねた。



項目	やりたい	やりたくない	合計
問4 中学校での部活動は絶対に入らなくてはいけないものではありませんが、あなたは「平日」にスポーツや文化活動をやりたい（やってみたい）ですか？	2443	567	3010
	81.2%	18.8%	100.0%

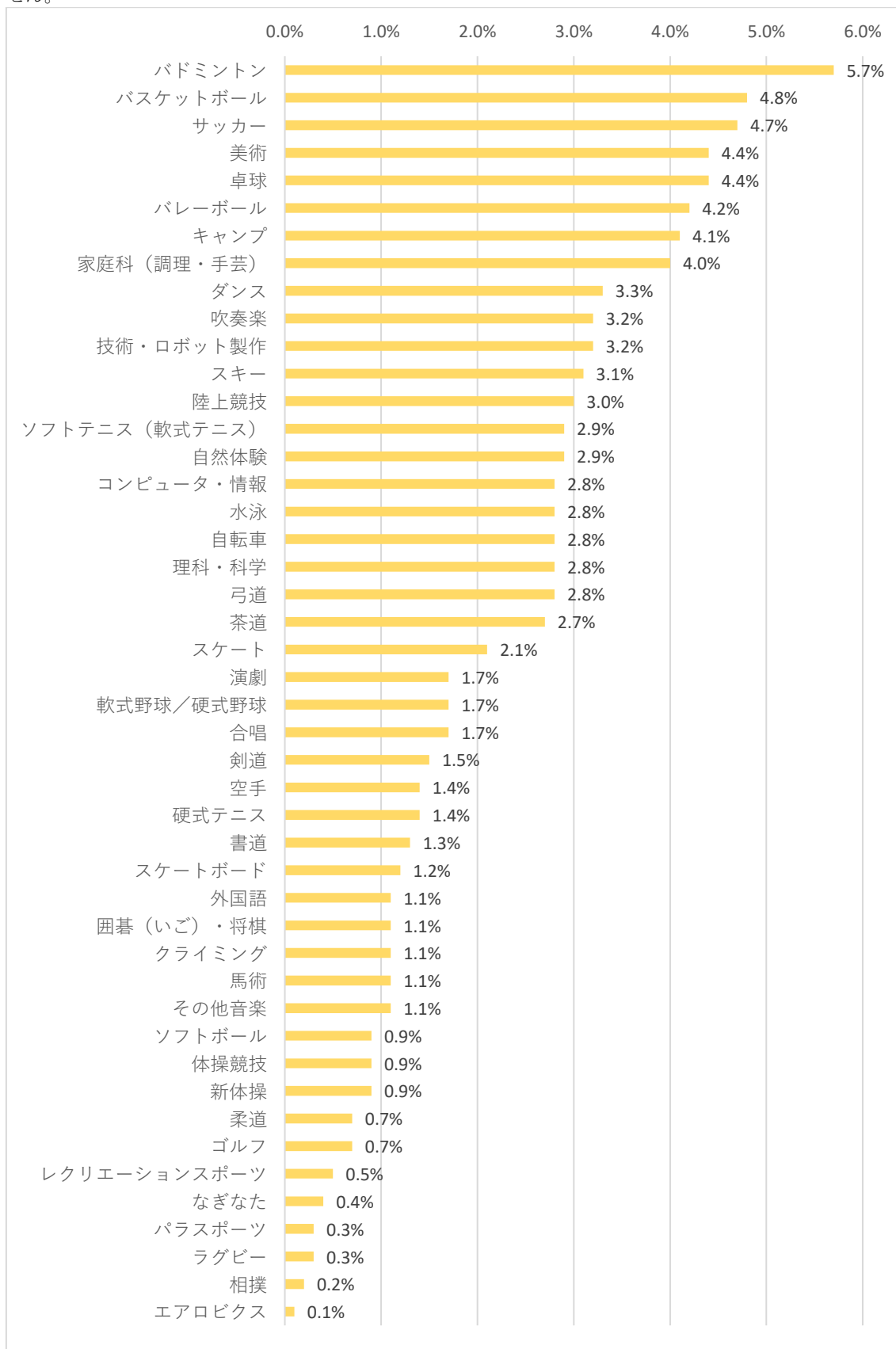
注) 問4で「やりたくない」と回答した方のアンケートは終了となる。

2 平日に「やってみたい」種目や活動

主な結果

- ✓ 「平日」に「やってみたい」と思う種目や活動は、バドミントン、バスケットボール、サッカー、美術などを上位として多岐にわたっていた。
- ✓ バドミントン部を設定している学校は松本市内 4 校と限定的である。キャンプ、家庭科（調理・手芸）、ダンスなど、中学校の部活動にはない種目・活動に取り組みたいと考えていた。
- ✓ 多様なニーズに応える環境の整備は今後の課題である。

問5 今、「平日」に「やりたい(やってみたい)」と思う種目・活動を選んでください。いくつでも構いません。



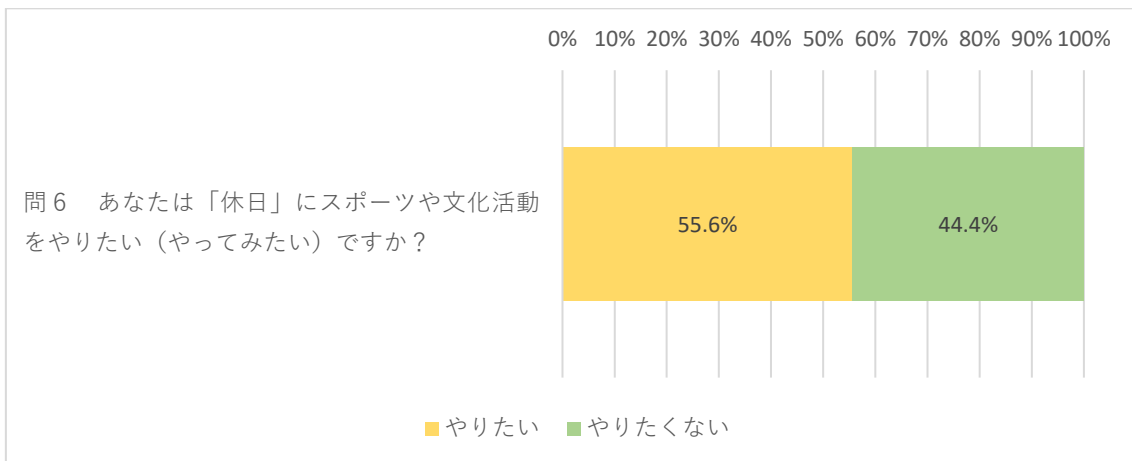
種目・活動	n	%
バドミントン	594	5.7%
バスケットボール	505	4.8%
サッカー	494	4.7%
美術	461	4.4%
卓球	459	4.4%
バレーボール	444	4.2%
キャンプ	428	4.1%
家庭科（調理・手芸）	416	4.0%
ダンス	343	3.3%
吹奏楽	339	3.2%
技術・ロボット製作	335	3.2%
スキー	327	3.1%
陸上競技	314	3.0%
ソフトテニス（軟式テニス）	307	2.9%
自然体験	299	2.9%
コンピュータ・情報	297	2.8%
水泳	294	2.8%
自転車	293	2.8%
理科・科学	292	2.8%
弓道	291	2.8%
茶道	284	2.7%
スケート	218	2.1%
演劇	176	1.7%
軟式野球／硬式野球	174	1.7%
合唱	173	1.7%
剣道	159	1.5%
空手	150	1.4%
硬式テニス	146	1.4%
書道	136	1.3%
スケートボード	128	1.2%
外国語	116	1.1%
囲碁（いご）・将棋	113	1.1%
クライミング	112	1.1%
馬術	111	1.1%
その他音楽	111	1.1%
ソフトボール	91	0.9%
体操競技	90	0.9%
新体操	89	0.9%
柔道	76	0.7%
ゴルフ	76	0.7%
レクリエーションスポーツ	51	0.5%
なぎなた	42	0.4%
パラスポーツ	36	0.3%
ラグビー	29	0.3%
相撲	19	0.2%
エアロビクス	10	0.1%
合計	10448	100.0%

注 1) 問 5 の分析対象者は 2451 名であった。

注 2) 「その他音楽」は吹奏楽及び合唱以外の音楽を指す。

3 休日のスポーツや文化活動の実施希望

主な結果	
✓	小学5・6年生の55.6%は、「休日」にスポーツや文化活動を「やってみたい」と回答した。この結果は、「平日」と比較して25.6%少ない割合であった。
✓	この結果から、「平日」にスポーツや文化活動を「やってみたい」児童が、必ずしも「休日」にやりたいと考えているとは限らないことがうかがえる。



項目	やりた い	やりた くない	合計
問6 あなたは「休日」にスポーツや文化活動をやりたい（やってみたい）ですか？	1675 55.6%	1338 44.4%	3013 100.0%

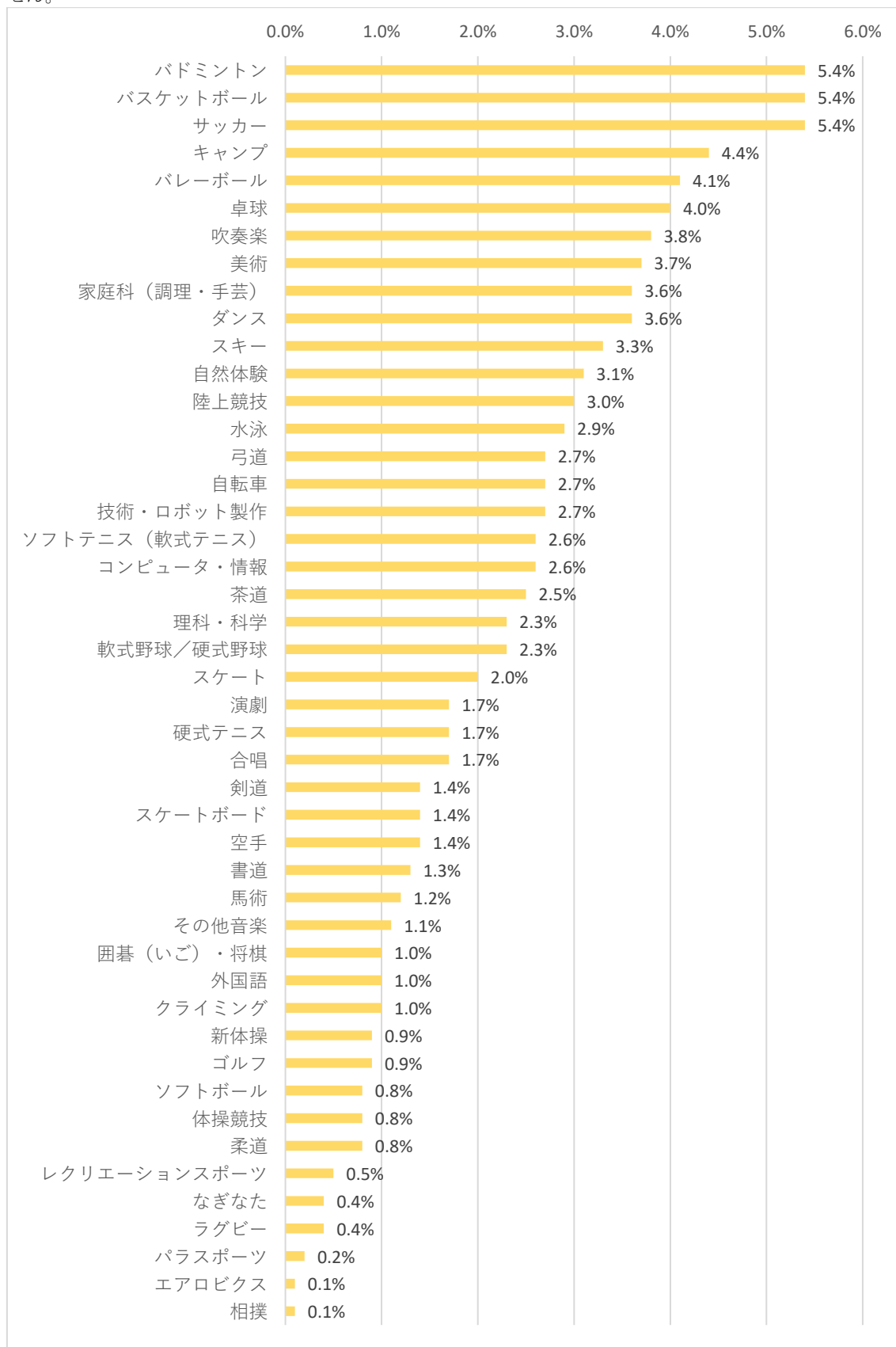
注) 問6で「やりたくない」と回答した方のアンケートは終了となる。

4 休日に「やってみたい」種目や活動

主な結果

- ✓ 「休日」に「やってみたい」と思う種目や活動は、バドミントン、バスケットボール、サッカー、キャンプなどを上位として多岐にわたっていた。
- ✓ 「休日」と「平日」とで順位の変動が少ない種目や活動があった。この結果は、小学5・6年生のなかには、平日および休日ともに同一の種目をより専門的に取り組みたいと考えている子どもが一定数いることを示していると思われる。

問7 今、「休日」に「やりたい（やってみたい）」と思う種目・活動を選んでください。いくつでも構いません。



種目・活動	n	%
バドミントン	353	5.4%
バスケットボール	352	5.4%
サッカー	350	5.4%
キャンプ	288	4.4%
バレーボール	265	4.1%
卓球	258	4.0%
吹奏楽	246	3.8%
美術	238	3.7%
家庭科（調理・手芸）	236	3.6%
ダンス	234	3.6%
スキー	213	3.3%
自然体験	198	3.1%
陸上競技	196	3.0%
水泳	187	2.9%
弓道	178	2.7%
自転車	178	2.7%
技術・ロボット製作	172	2.7%
ソフトテニス（軟式テニス）	168	2.6%
コンピュータ・情報	166	2.6%
茶道	163	2.5%
理科・科学	151	2.3%
軟式野球／硬式野球	149	2.3%
スケート	130	2.0%
演劇	109	1.7%
硬式テニス	108	1.7%
合唱	107	1.7%
剣道	93	1.4%
スケートボード	92	1.4%
空手	91	1.4%
書道	86	1.3%
馬術	78	1.2%
その他音楽	71	1.1%
囲碁（いご）・将棋	68	1.0%
外国語	68	1.0%
クライミング	64	1.0%
新体操	59	0.9%
ゴルフ	58	0.9%
ソフトボール	52	0.8%
体操競技	52	0.8%
柔道	50	0.8%
レクリエーションスポーツ	35	0.5%
なぎなた	28	0.4%
ラグビー	24	0.4%
パラスポーツ	10	0.2%
エアロビクス	7	0.1%
相撲	4	0.1%
合計	6483	100.0%

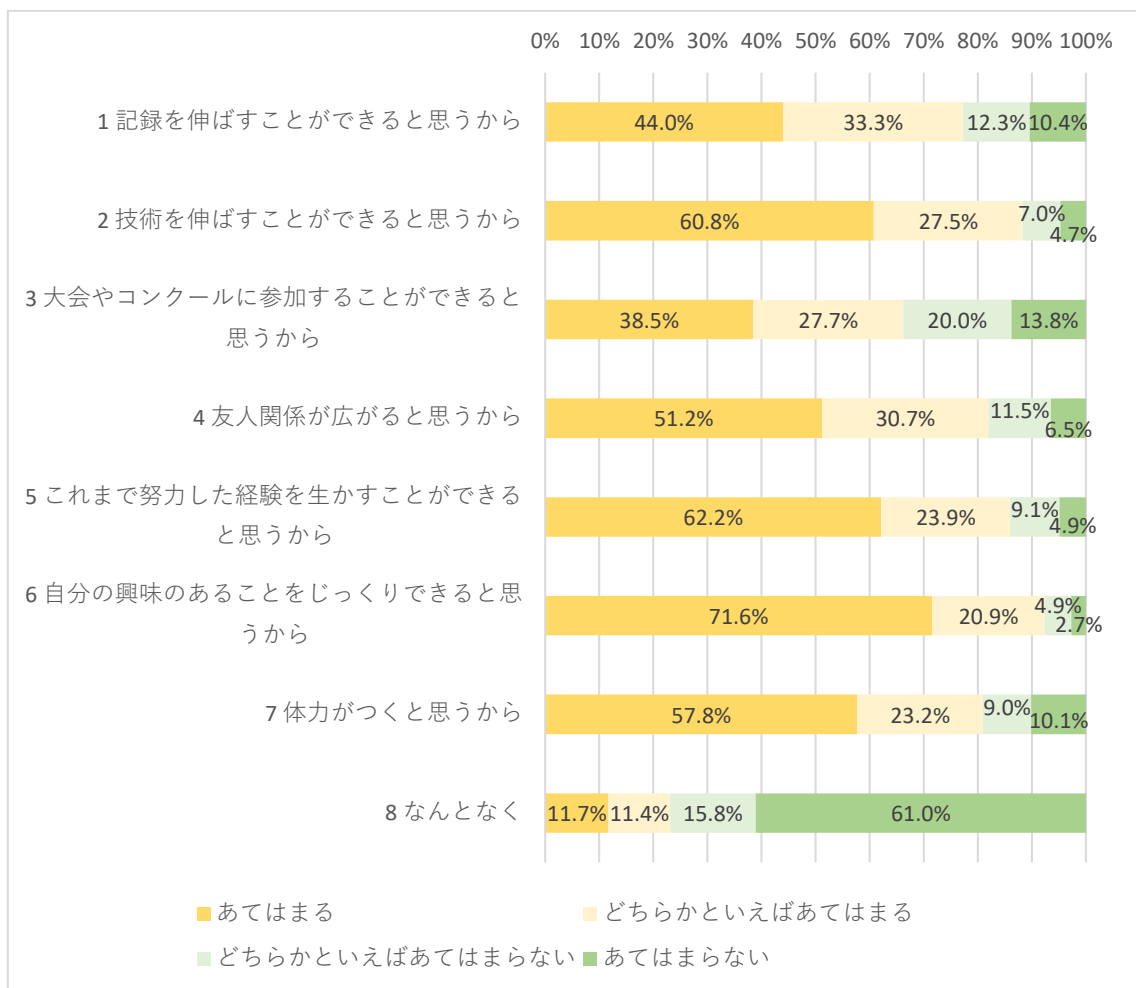
注 1) 問 7 の分析対象者 1664 名であった。

注 2) 「その他音楽」は吹奏楽及び合唱以外の音楽を指す。

5 「やってみたい」と思う種目・活動を選んだ理由

主な結果	
✓	「やってみたい」と思う種目や活動を選んだ理由としては、「自分の興味のあることをじっくりできると思う」「これまで努力した経験を生かすことができると思う」ことを挙げている。
✓	一方で、「大会やコンクールに参加することができると思う」ことを理由として挙げる者の割合は、他の項目よりも低かった。
✓	スポーツや文化活動を「やってみたい」と思う動機は様々であることから、たとえば勝ちにこだわるなど、一義的な活動の在り方には留意する必要があると考えられる。

問8 「やりたい(やってみたい)」と思う種目・活動を選んだ理由について教えてください。それぞれが、どの程度自分に当てはまるかを1つ選んでください。



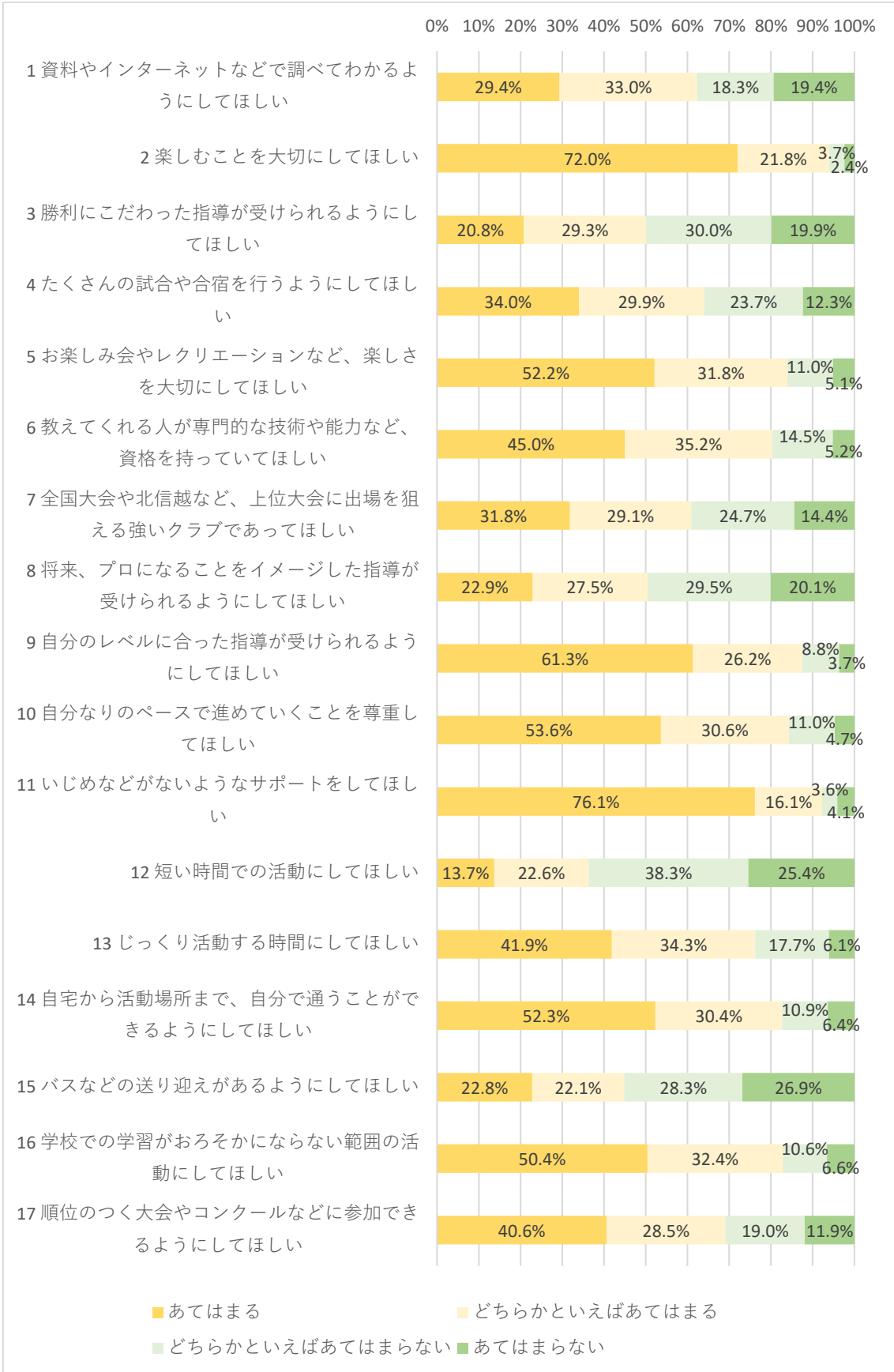
項目	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	合計
1 記録を伸ばすことができると思うから	704 44.0%	533 33.3%	196 12.3%	167 10.4%	1600 100.0%
2 技術を伸ばすことができると思うから	977 60.8%	441 27.5%	113 7.0%	75 4.7%	1606 100.0%
3 大会やコンクールに参加することができると思うから	615 38.5%	443 27.7%	320 20.0%	220 13.8%	1598 100.0%
4 友人関係が広がると思うから	816 51.2%	490 30.7%	184 11.5%	104 6.5%	1594 100.0%
5 これまで努力した経験を生かすことができると思うから	998 62.2%	383 23.9%	146 9.1%	78 4.9%	1605 100.0%
6 自分の興味のあることをじっくりできると思うから	1156 71.6%	337 20.9%	79 4.9%	43 2.7%	1615 100.0%
7 体力がつくと思うから	922 57.8%	370 23.2%	143 9.0%	161 10.1%	1596 100.0%
8 なんとなく	177 11.7%	173 11.4%	239 15.8%	922 61.0%	1511 100.0%

6 地域クラブ活動に望むこと

主な結果

- ✓ 「やってみたい」と思う種目や活動のできるクラブに希望することとして、「あてはまる」と回答した割合の高い項目は、「楽しむこと」「いじめがないこと」「自分のレベルに合った指導を受けられること」であった。
- ✓ 一方で「勝利にこだわった指導」については、他の項目と比較して「あてはまる」と回答した割合は 20.8%と低かった。

問9 「やりたい(やってみたい)」と思う種目・活動のできるクラブに、どのようなことを希望しますか。こうしてほしいと思うことを教えてください。以下の各項目をよく読み、それぞれが、どの程度自分に当てはまるかを1つ選んでください。

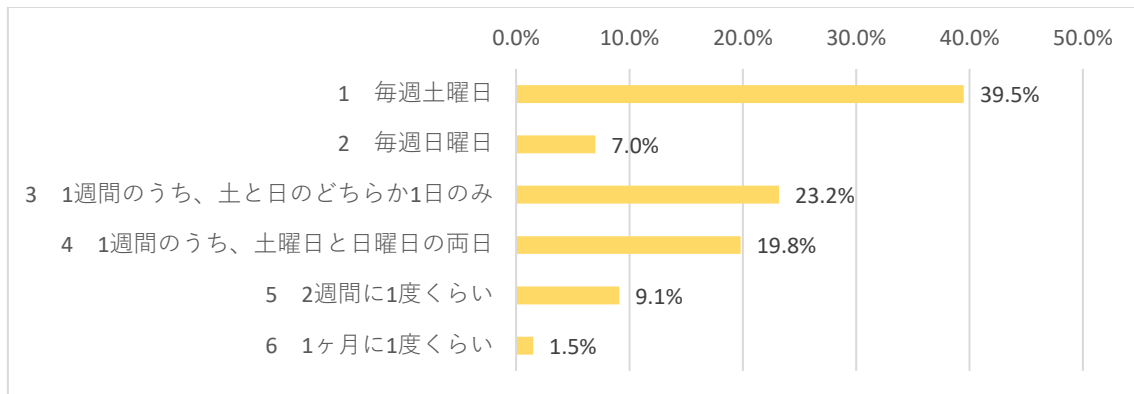


項目	あてはまる	どちらかといえはあてはまる	どちらかといえはあてはまらない	あてはまらない	合計
1 どのようなクラブであるのか、資料やインターネットなどで調べてわかるようにしてほしい	463 29.4%	519 33.0%	288 18.3%	305 19.4%	1575 100.0%
2 楽しむことを大切にしてほしい	1162 72.0%	352 21.8%	60 3.7%	39 2.4%	1613 100.0%
3 勝利にこだわった指導が受けられるようにしてほしい	330 20.8%	465 29.3%	476 30.0%	316 19.9%	1587 100.0%
4 たくさんの試合や合宿を行うようにしてほしい	543 34.0%	478 29.9%	379 23.7%	196 12.3%	1596 100.0%
5 お楽しみ会やレクリエーションなど、楽しさを大切にしてほしい	827 52.2%	503 31.8%	174 11.0%	80 5.1%	1584 100.0%
6 教えてくれる人が専門的な技術や能力など、きちんとした資格を持ってほしい	717 45.0%	561 35.2%	231 14.5%	83 5.2%	1592 100.0%
7 全国大会や北信越・東海大会など、上位の大会に出場を狙える強いクラブであってほしい	507 31.8%	464 29.1%	393 24.7%	229 14.4%	1593 100.0%
8 将来、プロになることをイメージした指導が受けられるようにしてほしい	363 22.9%	436 27.5%	467 29.5%	319 20.1%	1585 100.0%
9 自分のレベルに合った指導が受けられるようにしてほしい	975 61.3%	416 26.2%	140 8.8%	59 3.7%	1590 100.0%
10 自分なりのペースで進めていくことを尊重してほしい	856 53.6%	489 30.6%	176 11.0%	75 4.7%	1596 100.0%
11 いじめなどがないようなサポートをしてほしい	1213 76.1%	257 16.1%	57 3.6%	66 4.1%	1593 100.0%
12 短い時間での活動にしてほしい	216 13.7%	357 22.6%	604 38.3%	400 25.4%	1577 100.0%
13 じっくり活動する時間にしてほしい	667 41.9%	546 34.3%	281 17.7%	97 6.1%	1591 100.0%
14 自宅から活動場所まで、自分で通うことができるようにしてほしい	827 52.3%	480 30.4%	172 10.9%	101 6.4%	1580 100.0%
15 バスなどの送り迎えがあるようにしてほしい	359 22.8%	348 22.1%	446 28.3%	425 26.9%	1578 100.0%
16 学校での学習がおろそかにならない範囲の活動にしてほしい	797 50.4%	513 32.4%	167 10.6%	105 6.6%	1582 100.0%
17 順位をつく大会やコンクールなどに参加できるようにしてほしい	641 40.6%	451 28.5%	300 19.0%	188 11.9%	1580 100.0%

7 休日の地域クラブ活動の希望実施頻度と時間

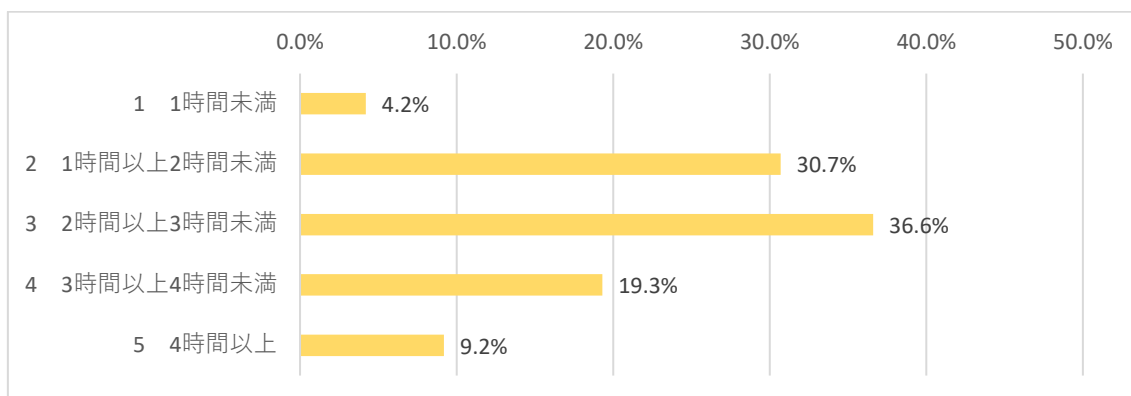
主な結果	
✓	「やってみたい」と思う地域クラブ活動の休日の実施頻度は、毎週土曜日が 39.5%と最も高い割合であった。
✓	また活動時間は、2 時間以上 3 時間未満が 36.6%と最も高い割合であった。

問 10 休日に「やりたい (やってみたい)」と思うクラブの活動は、どれくらいのペースであれば参加したいですか？ 今のあなたの希望を教えてください。



項目	<i>n</i>	%
1 毎週土曜日	650	39.5%
2 毎週日曜日	115	7.0%
3 1週間のうち、土曜日と日曜日のどちらか1日のみ	382	23.2%
4 1週間のうち、土曜日と日曜日の両日	326	19.8%
5 2週間に1度くらい	150	9.1%
6 1ヶ月に1度くらい	24	1.5%
合計	1647	100.0%

問 11 どのくらいの時間の活動であれば参加したいですか？ 活動希望時間を教えてください。

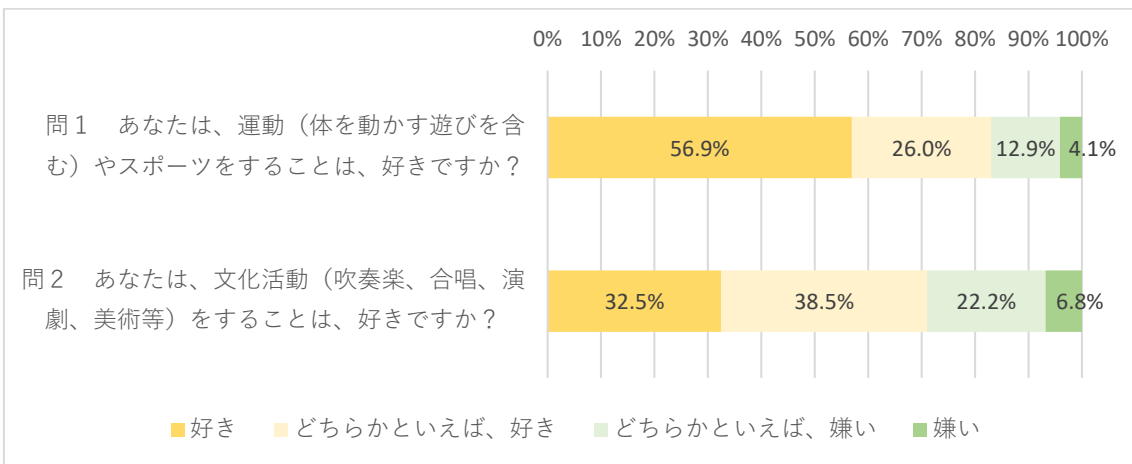


項目	<i>n</i>	%
1 1時間未満	70	4.2%
2 1時間以上 2時間未満	509	30.7%
3 2時間以上 3時間未満	608	36.6%
4 3時間以上 4時間未満	320	19.3%
5 4時間以上	152	9.2%
合計	1659	100.0%

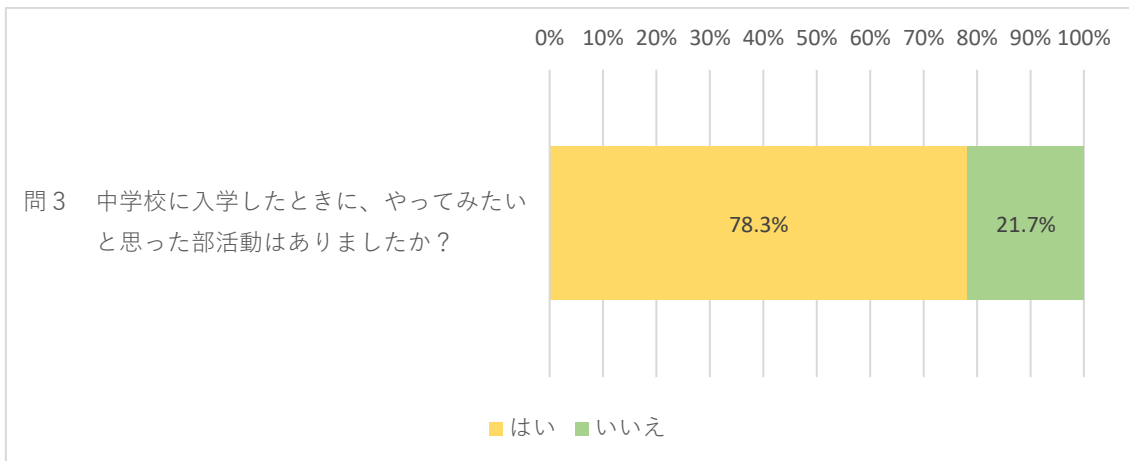
中学 1・2 年生を対象とした調査の結果

1 運動やスポーツ、文化の活動に対する思い

主な結果	
✓	運動やスポーツが「好き」「どちらかといえば好き」と回答した者は全体の 82.9%、文化活動に対して同様に回答した者は 71.0%であった。
✓	「中学校入学時に『やってみたい』と思った部活動はありましたか」という質問に対して「はい」と回答した生徒は 78.3%、「いいえ」と回答した生徒は 21.7%であった。



	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば嫌い	嫌い	合計
問1 あなたは、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは、好きですか？	1,661 56.9%	759 26.0%	377 12.9%	121 4.1%	2918 100.0%
問2 あなたは、文化活動（吹奏楽、合唱、演劇、美術等）をすることは、好きですか？	945 32.5%	1121 38.5%	646 22.2%	197 6.8%	2909 100.0%

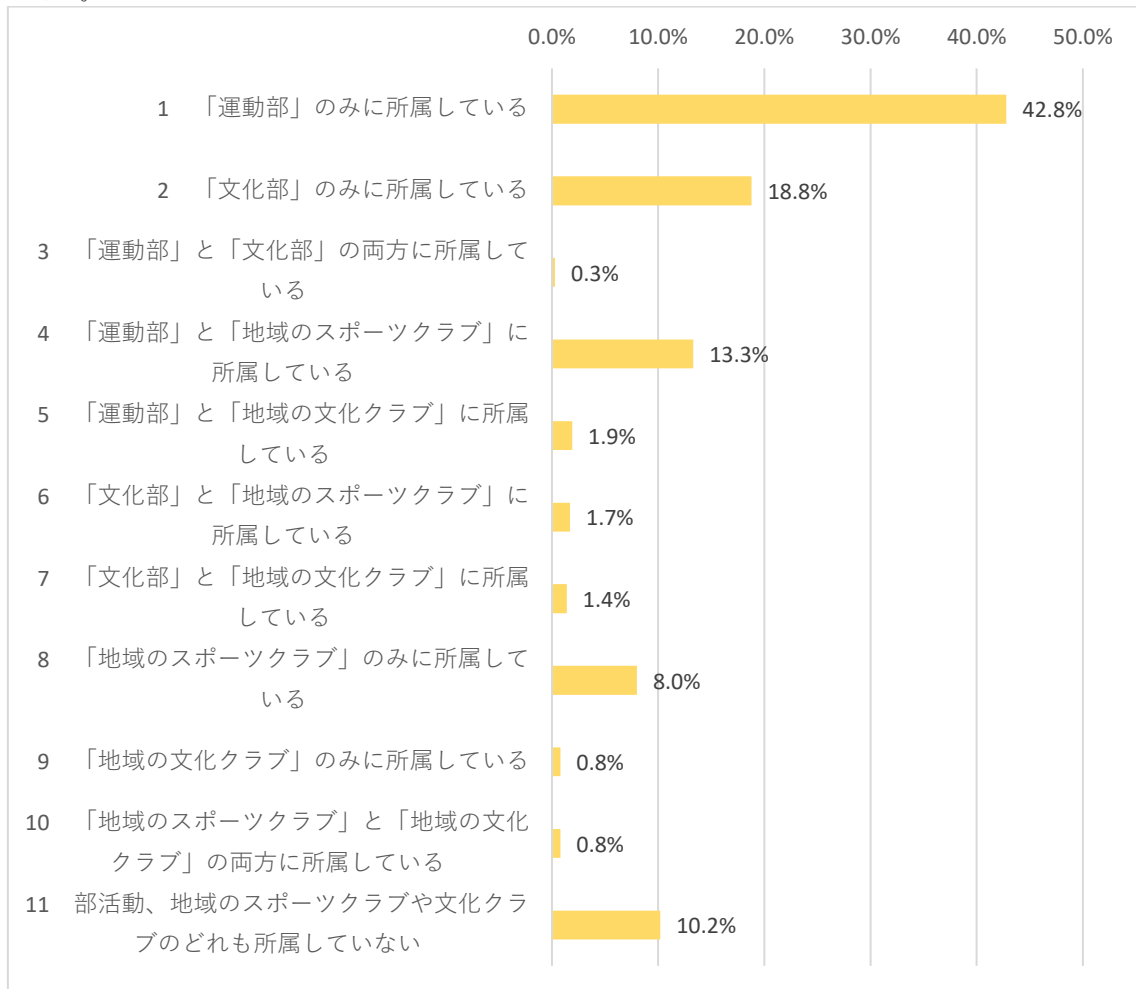


項目	はい	いいえ	合計
問3 中学校に入学したときに、やってみたく と思った部活動はありましたか？	2274 78.3%	629 21.7%	2903 100.0%

2 部活動および地域クラブ活動への所属率

主な結果	
✓	部活動に参加している者（地域クラブ活動との掛け持ちも含む）は 80.2%、地域クラブ活動に参加している者（部活動との掛け持ちも含む）は 27.9%であった。
✓	部活動にも地域クラブ活動にも参加していない者は 10.2%であった。

問 4 現在、あなたは、学校の部活動や地域のクラブに所属していますか？以下のどれか一つを選んでください。

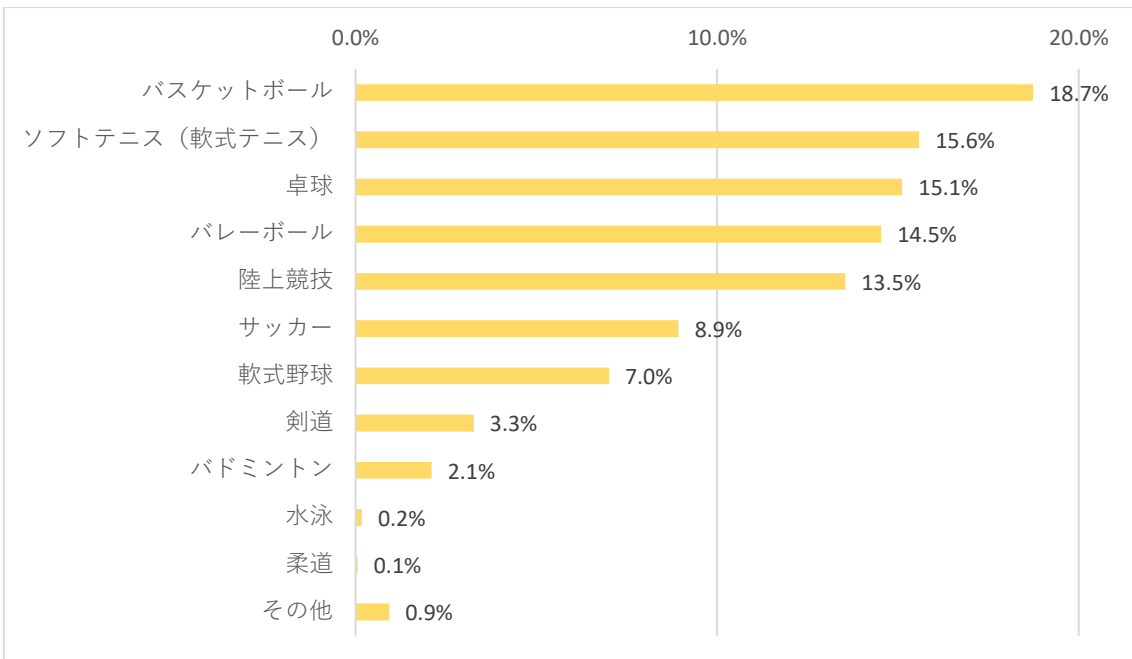


	所属	<i>n</i>	%
1	「運動部」のみに所属している	1250	42.8%
2	「文化部」のみに所属している	548	18.8%
3	「運動部」と「文化部」の両方に所属している	10	0.3%
4	「運動部」と「地域のスポーツクラブ」に所属している	387	13.3%
5	「運動部」と「地域の文化クラブ」に所属している	56	1.9%
6	「文化部」と「地域のスポーツクラブ」に所属している	49	1.7%
7	「文化部」と「地域の文化クラブ」に所属している	41	1.4%
8	「地域のスポーツクラブ」のみに所属している	234	8.0%
9	「地域の文化クラブ」のみに所属している	24	0.8%
10	「地域のスポーツクラブ」と「地域の文化クラブ」の両方に所属している	22	0.8%
11	学校の「部活動」、「地域のスポーツクラブ」、「地域の文化クラブ」のどれも所属していない	298	10.2%
	合計	2919	100.0%

3 所属する部活動や地域クラブ活動の種目や活動

主な結果	
✓	所属する部活動の種目は、運動系部活動においては「バスケットボール」「ソフトテニス」「卓球」の順に高い所属率であった。文化系部活動においては「吹奏楽」「美術」「合唱」の順に高い所属率であった。
✓	所属する地域クラブ活動の種目は、運動系においては「サッカー」「卓球」「ソフトテニス」の順に高い所属率であった。文化系においては「その他音楽（吹奏楽及び合唱以外の音楽）」「書道」「外国語」の順に高い所属率であった。

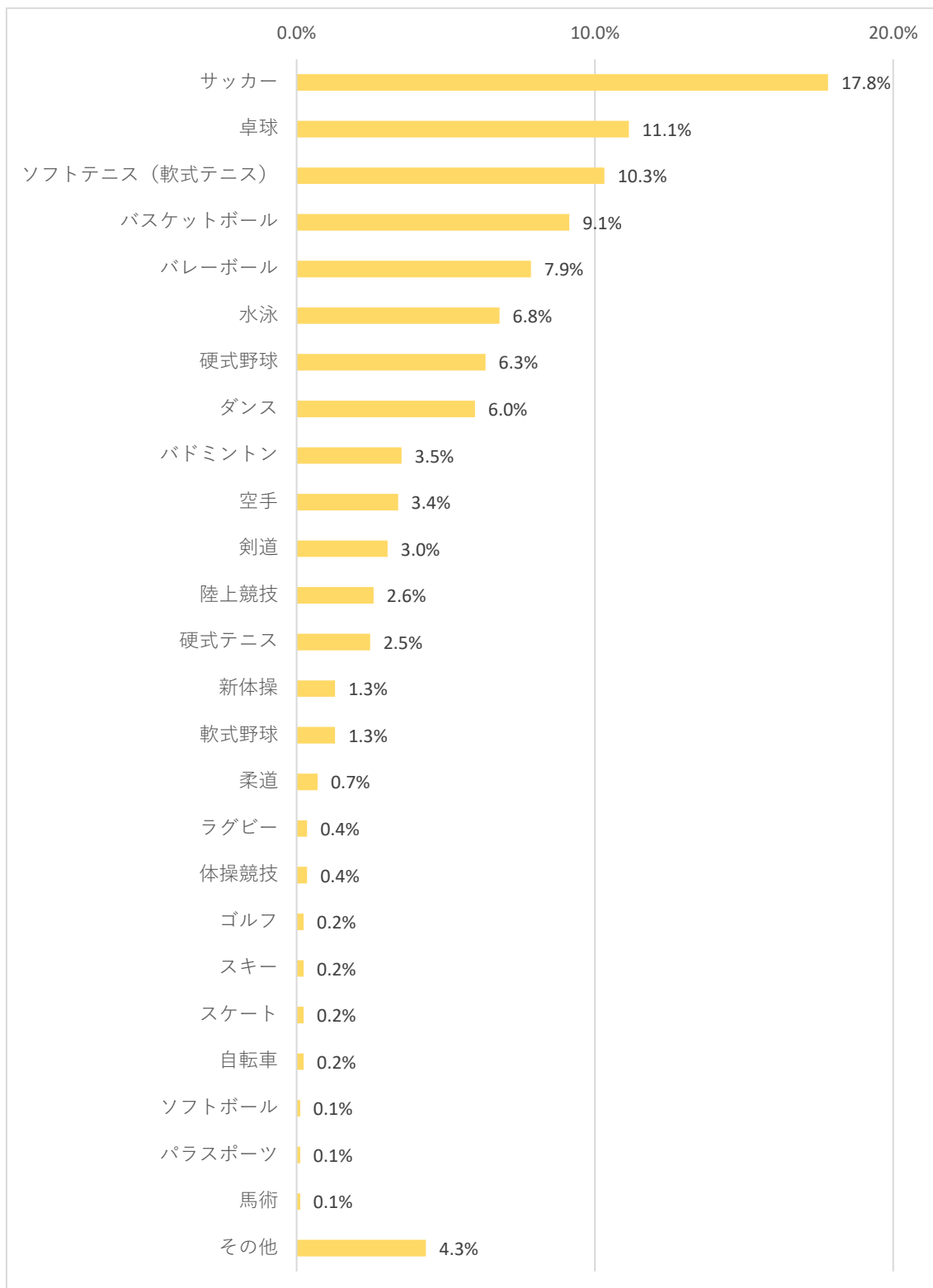
問 5-1 所属している運動系部活がある場合どのような種目ですか？



種目	n	%
バスケットボール	321	18.7%
ソフトテニス (軟式テニス)	267	15.6%
卓球	259	15.1%
バレーボール	249	14.5%
陸上競技	232	13.5%
サッカー	153	8.9%
軟式野球	120	7.0%
剣道	56	3.3%
バドミントン	36	2.1%
水泳	3	0.2%
柔道	1	0.1%
その他	16	0.9%
合計	1713	100.0%

注) 松本市内中学校に設置されていない種目 (たとえば硬式野球、硬式テニス、ラグビー、空手、ダンス、ソフトボール) の回答は除外した。

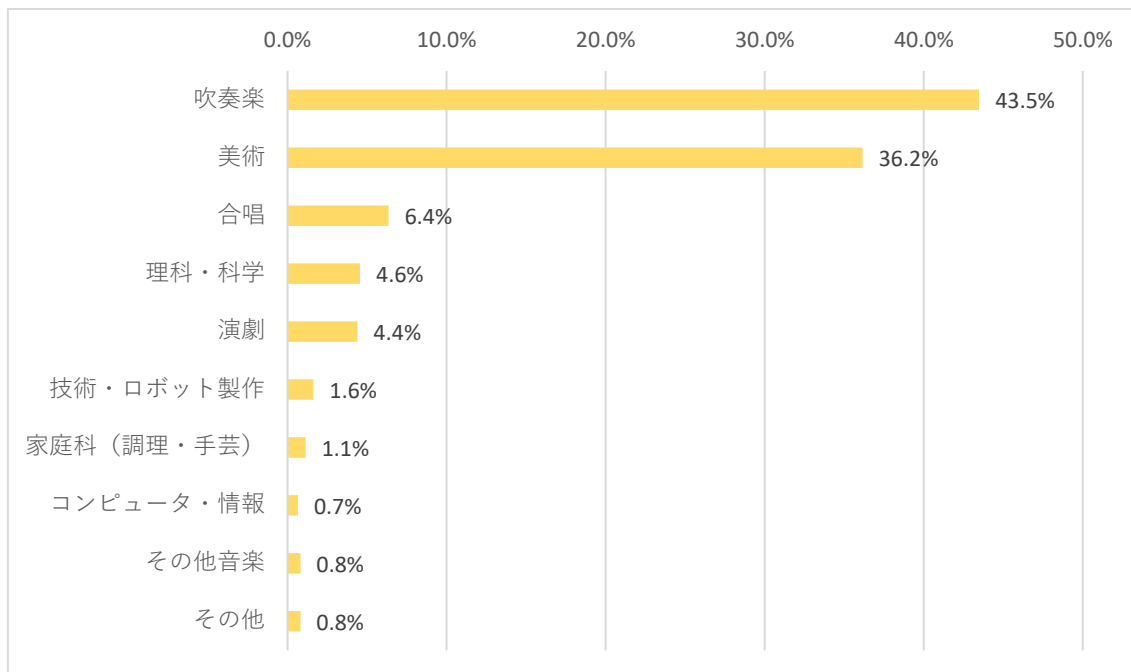
問 5-2・3 所属している地域のスポーツクラブがある場合どのような種目ですか？



種目	<i>n</i>	%
サッカー	152	17.8%
卓球	95	11.1%
ソフトテニス (軟式テニス)	88	10.3%
バスケットボール	78	9.1%
バレーボール	67	7.9%
水泳	58	6.8%
硬式野球	54	6.3%
ダンス	51	6.0%
バドミントン	30	3.5%
空手	29	3.4%
剣道	26	3.0%
陸上競技	22	2.6%
硬式テニス	21	2.5%
新体操	11	1.3%
軟式野球	11	1.3%
柔道	6	0.7%
ラグビー	3	0.4%
体操競技	3	0.4%
ゴルフ	2	0.2%
スキー	2	0.2%
スケート	2	0.2%
自転車	2	0.2%
ソフトボール	1	0.1%
パラスポーツ	1	0.1%
馬術	1	0.1%
その他	37	4.3%
合計	853	100.0%

注) 1名につき2種目以上所属している種目は合算している。

問 5-4 所属している文化系部活がある場合どのような種目ですか？所属していない場合は、この問題を飛ばしてください。

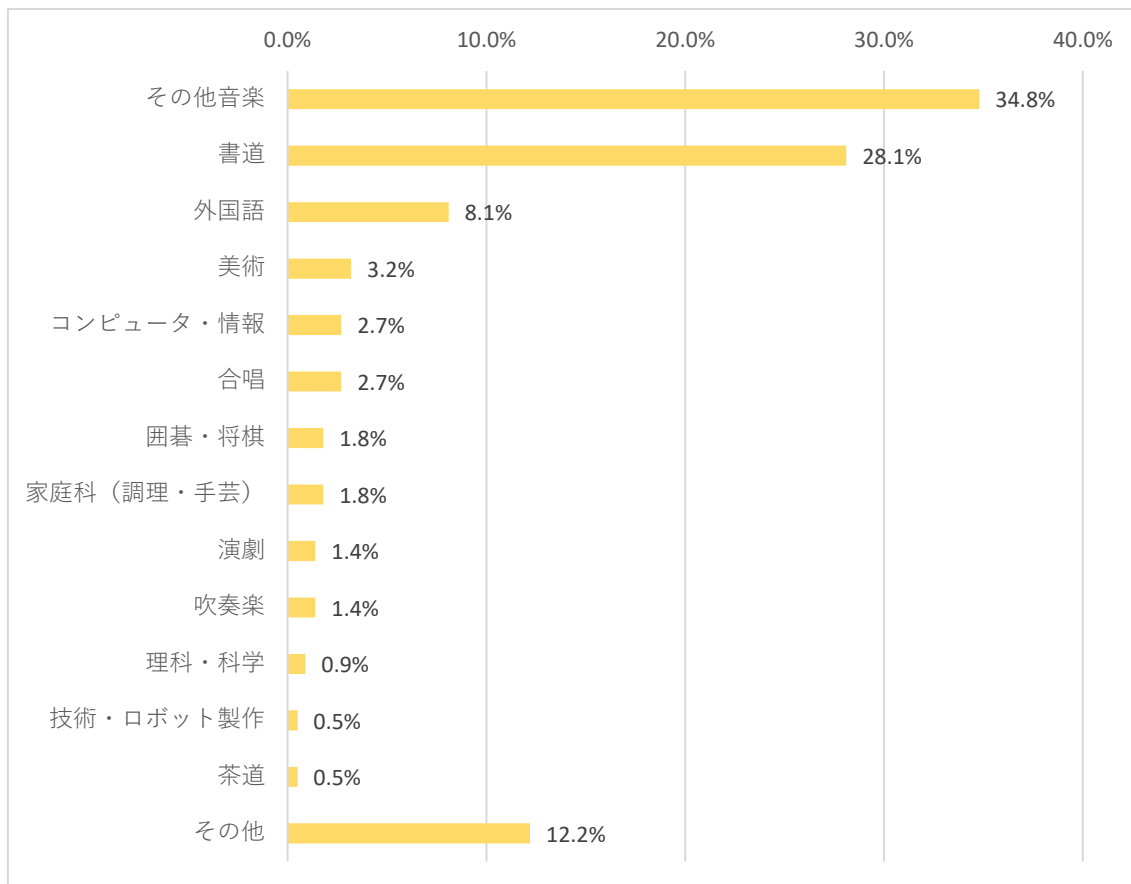


種目	<i>n</i>	%
吹奏楽	267	43.5%
美術	222	36.2%
合唱	39	6.4%
理科・科学	28	4.6%
演劇	27	4.4%
技術・ロボット製作	10	1.6%
家庭科 (調理・手芸)	7	1.1%
コンピュータ・情報	4	0.7%
その他音楽	5	0.8%
その他	5	0.8%
合計	614	100.0%

注 1) 「その他音楽」は吹奏楽及び合唱以外の音楽を指す。

注 2) 松本市内中学校に設置されていない種目 (たとえば書道、外国語) の回答は除外した。

問 5-5・6 所属している地域の文化系クラブがある場合、どのような種目ですか？所属していない場合は、この問題を飛ばしてください。



種目	n	%
その他音楽	77	34.8%
書道	62	28.1%
外国語	18	8.1%
美術	7	3.2%
コンピュータ・情報	6	2.7%
合唱	6	2.7%
囲碁・将棋	4	1.8%
家庭科（調理・手芸）	4	1.8%
演劇	3	1.4%
吹奏楽	3	1.4%
理科・科学	2	0.9%
技術・ロボット製作	1	0.5%
茶道	1	0.5%
その他	27	12.2%
合計	221	100.0%

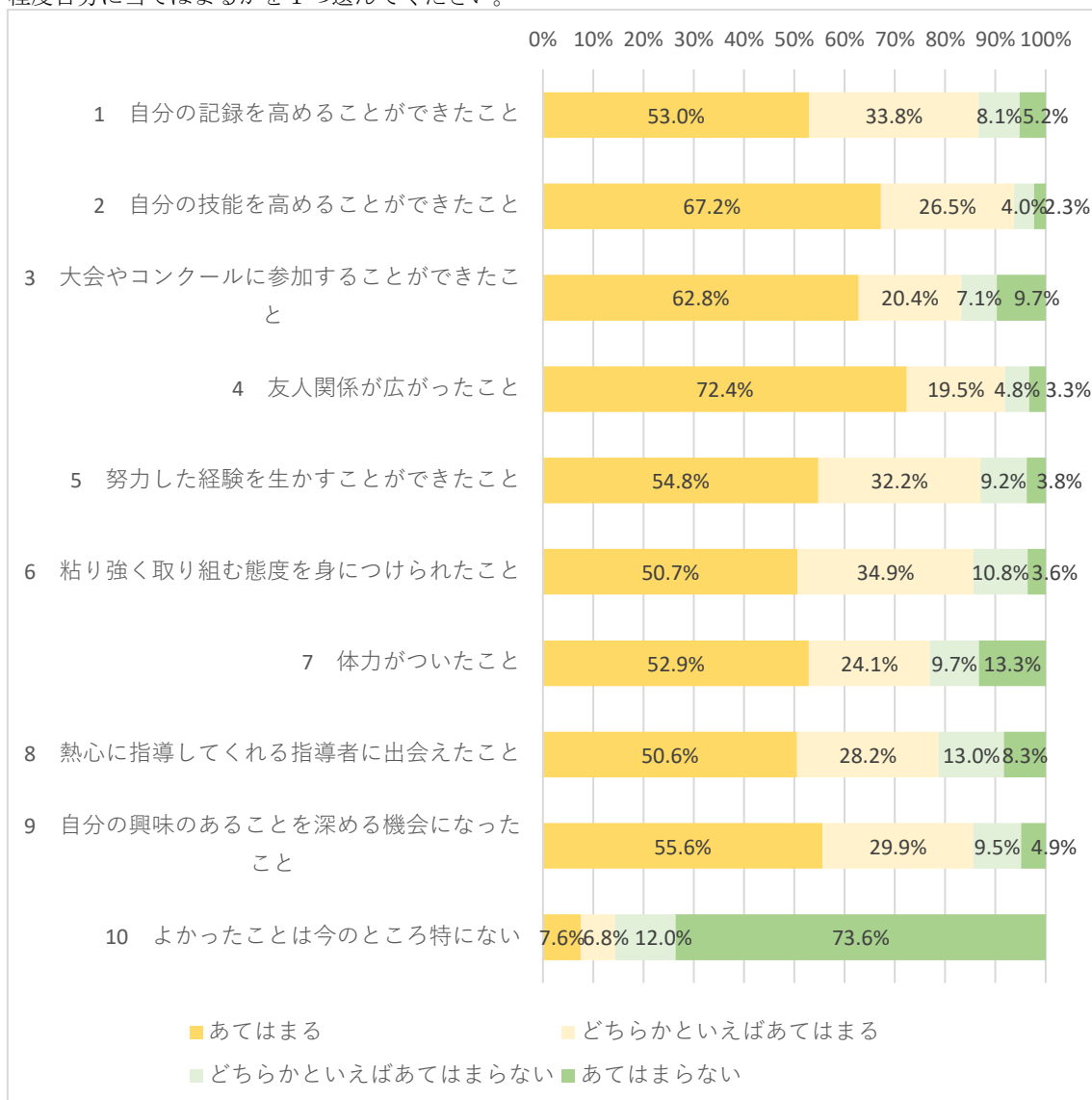
注1) 1名につき2種目以上所属している種目は合算している。

注2) 「その他音楽」は吹奏楽及び合唱以外の音楽を指す。

4 部活動に取り組んで「良かった」こと

主な結果	
✓	部活動をして「良かった」と思うことは、「友人関係が広がった」「自分の技能を高めることができた」「大会やコンクールに参加できた」の順で「あてはまる」と回答した割合が高かった。
✓	指導経験のない種目を指導している教員が 54.4%いる現状に対し（81p）、「熱心に指導してくれる指導者に出会えた」という項目に「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した者は 78.8%であった。

問6 部活動（運動部や文化部）に所属していると回答した方（問4で1から7のいずれかを選択した方）に聞きます。中学校の部活動をしていて「良かった」と思っていることについて、それぞれが、どの程度自分に当てはまるかを1つ選んでください。

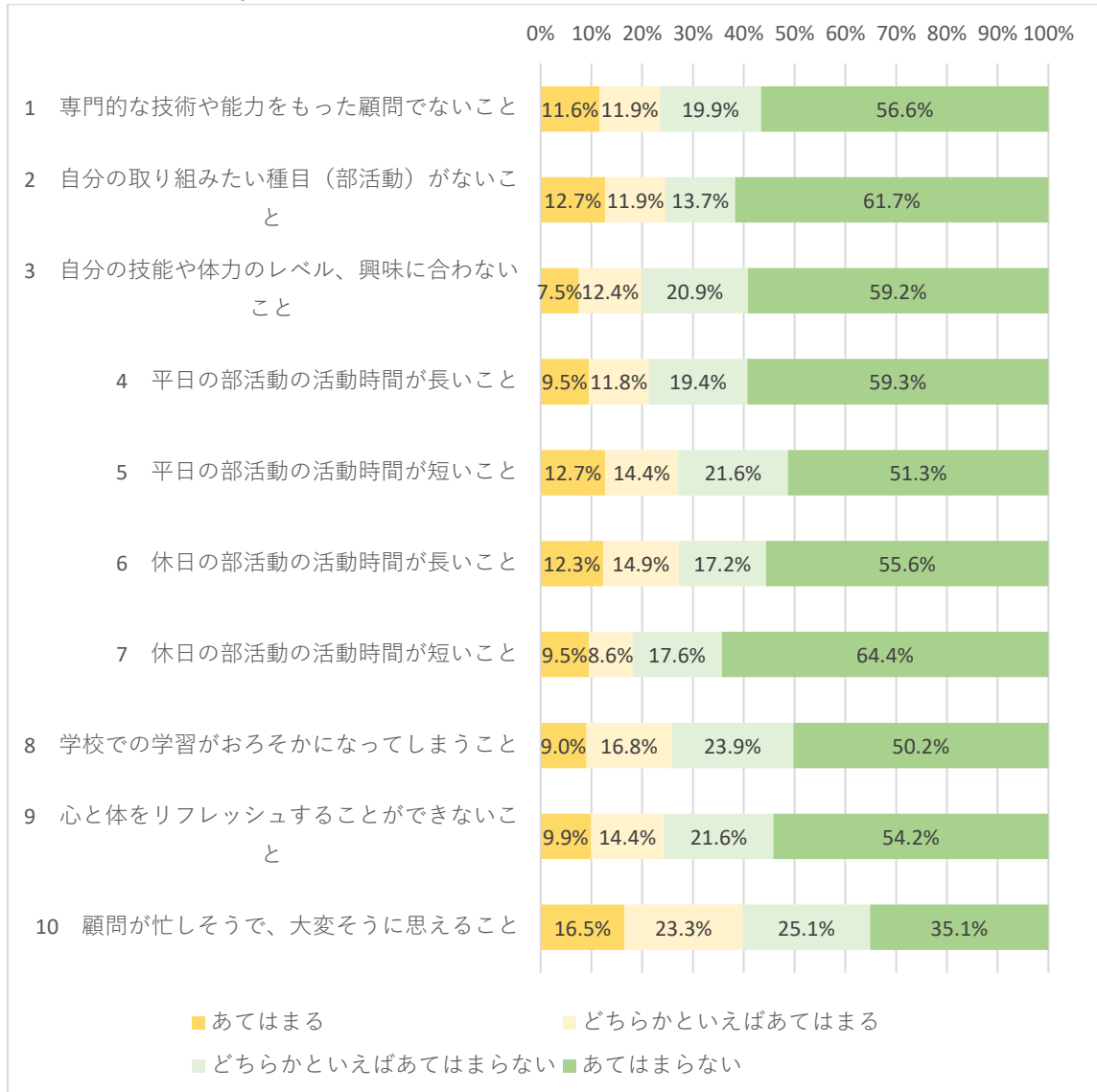


項目	あては まる	どちら かとい えばあ てはま る	どちら かとい えばあ てはま らない	あては まらな い	合計
1 自分の記録を高めることができたこと	1237 53.0%	789 33.8%	189 8.1%	121 5.2%	2336 100.0%
2 自分の技能を高めることができたこと	1577 67.2%	621 26.5%	94 4.0%	53 2.3%	2345 100.0%
3 大会やコンクールに参加することができたこと	1467 62.8%	476 20.4%	167 7.1%	227 9.7%	2337 100.0%
4 友人関係が広がったこと	1700 72.4%	459 19.5%	112 4.8%	78 3.3%	2349 100.0%
5 努力した経験を生かすことができたこと	1284 54.8%	755 32.2%	216 9.2%	88 3.8%	2343 100.0%
6 粘り強く取り組む態度を身につけられたこと	1186 50.7%	816 34.9%	253 10.8%	83 3.6%	2338 100.0%
7 体力がついたこと	1234 52.9%	562 24.1%	226 9.7%	311 13.3%	2333 100.0%
8 熱心に指導してくれる指導者に会えたこと	1178 50.6%	656 28.2%	302 13.0%	193 8.3%	2329 100.0%
9 自分の興味のあることを深める機会になったこと	1297 55.6%	698 29.9%	221 9.5%	115 4.9%	2331 100.0%
10 よかったことは今のところ特にない	168 7.6%	150 6.8%	267 12.0%	1,634 73.6%	2219 100.0%

5 部活動で改善が必要と感じること

主な結果	
✓	部活動で改善していくべきだと思うことは、「顧問が忙しそうで、大変そうに思えること」「休日の部活動の時間が長いこと」「平日の部活動の時間が短いこと」の順で「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合が高かった。

問7 部活動（運動部や文化部）に所属していると回答した方（問4で1から7のいずれかを選択した方）だけに聞きます。中学校の部活動で改善していくべきだと思うことについて、自分に当てはまるものを1つ選んでください。

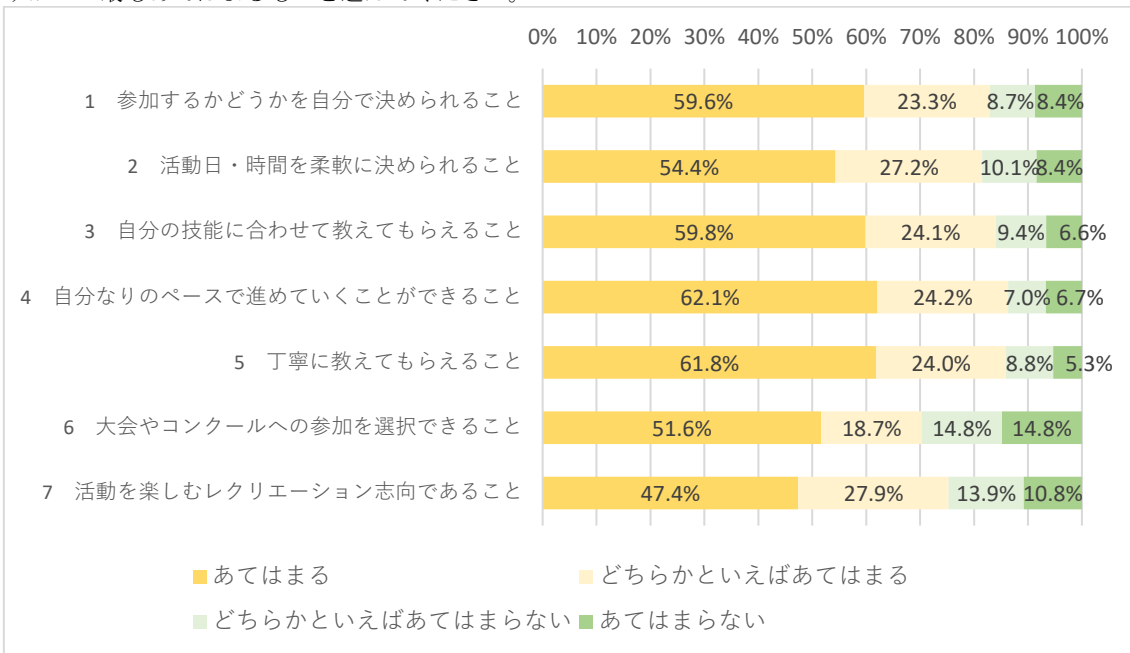


項目	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	合計
1 専門的な技術や能力をもった顧問でないこと	266 11.6%	273 11.9%	458 19.9%	1301 56.6%	2298 100.0%
2 自分の取り組みたい種目（部活動）がないこと	292 12.7%	275 11.9%	315 13.7%	1420 61.7%	2302 100.0%
3 自分の技能や体力のレベル、興味に合わないこと	172 7.5%	283 12.4%	479 20.9%	1356 59.2%	2290 100.0%
4 平日の部活動の活動時間が長いこと	218 9.5%	271 11.8%	446 19.4%	1363 59.3%	2298 100.0%
5 平日の部活動の活動時間が短いこと	292 12.7%	332 14.4%	496 21.6%	1181 51.3%	2301 100.0%
6 休日の部活動の活動時間が長いこと	282 12.3%	341 14.9%	395 17.2%	1277 55.6%	2295 100.0%
7 休日の部活動の活動時間が短いこと	217 9.5%	197 8.6%	404 17.6%	1477 64.4%	2295 100.0%
8 学校での学習がおろそかになってしまうこと	207 9.0%	387 16.8%	550 23.9%	1154 50.2%	2298 100.0%
9 心と体をリフレッシュすることができないこと	226 9.9%	330 14.4%	495 21.6%	1242 54.2%	2293 100.0%
10 顧問が忙しそうで、大変そうに思えること	379 16.5%	534 23.3%	576 25.1%	805 35.1%	2294 100.0%

6 スポーツ・文化活動に所属していない者が活動に望むこと

主な結果	
✓	「部活動」「地域のスポーツクラブ」「地域の文化クラブ」のどれも所属していない生徒を対象として、どのような活動であればスポーツや文化の活動をしたいかを尋ねたところ、「自分なりのペースで進めていくことができる」「丁寧に教えてもらえる」「自分の技能に合わせて教えてもらえる」の順で「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合が高かった。

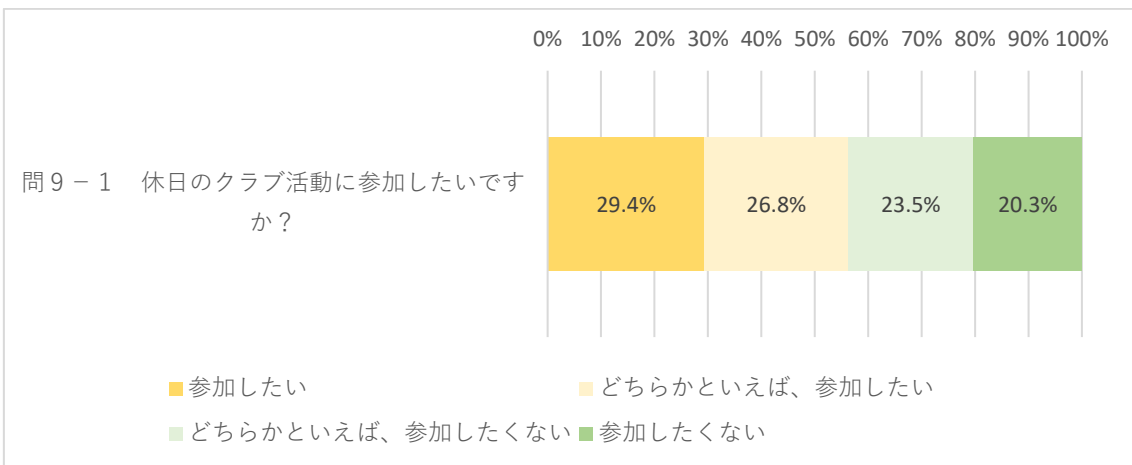
問8 問4で11と回答した方にお尋ねします。どのような活動であればスポーツや文化の活動をしたいですか？ 最もあてはまるものを選んでください。



項目	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	合計
1 参加するかどうかを自分で決められること	171 59.6%	67 23.3%	24 8.4%	25 8.7%	287 100.0%
2 活動日・時間を柔軟に決められること	156 54.4%	78 27.2%	29 10.1%	24 8.4%	287 100.0%
3 自分の技能に合わせて教えてもらえること	171 59.8%	69 24.1%	27 9.4%	19 6.6%	286 100.0%
4 自分なりのペースで進めていくことができること	177 62.1%	69 24.2%	20 7.0%	19 6.7%	285 100.0%
5 丁寧に教えてもらえること	175 61.8%	68 24.0%	25 8.8%	15 5.3%	283 100.0%
6 大会やコンクールへの参加を選択できること	146 51.6%	53 18.7%	42 14.8%	42 14.8%	283 100.0%
7 活動を楽しむことを大切にしたいレクリエーション志向であること	136 47.4%	80 27.9%	40 13.9%	31 10.8%	287 100.0%

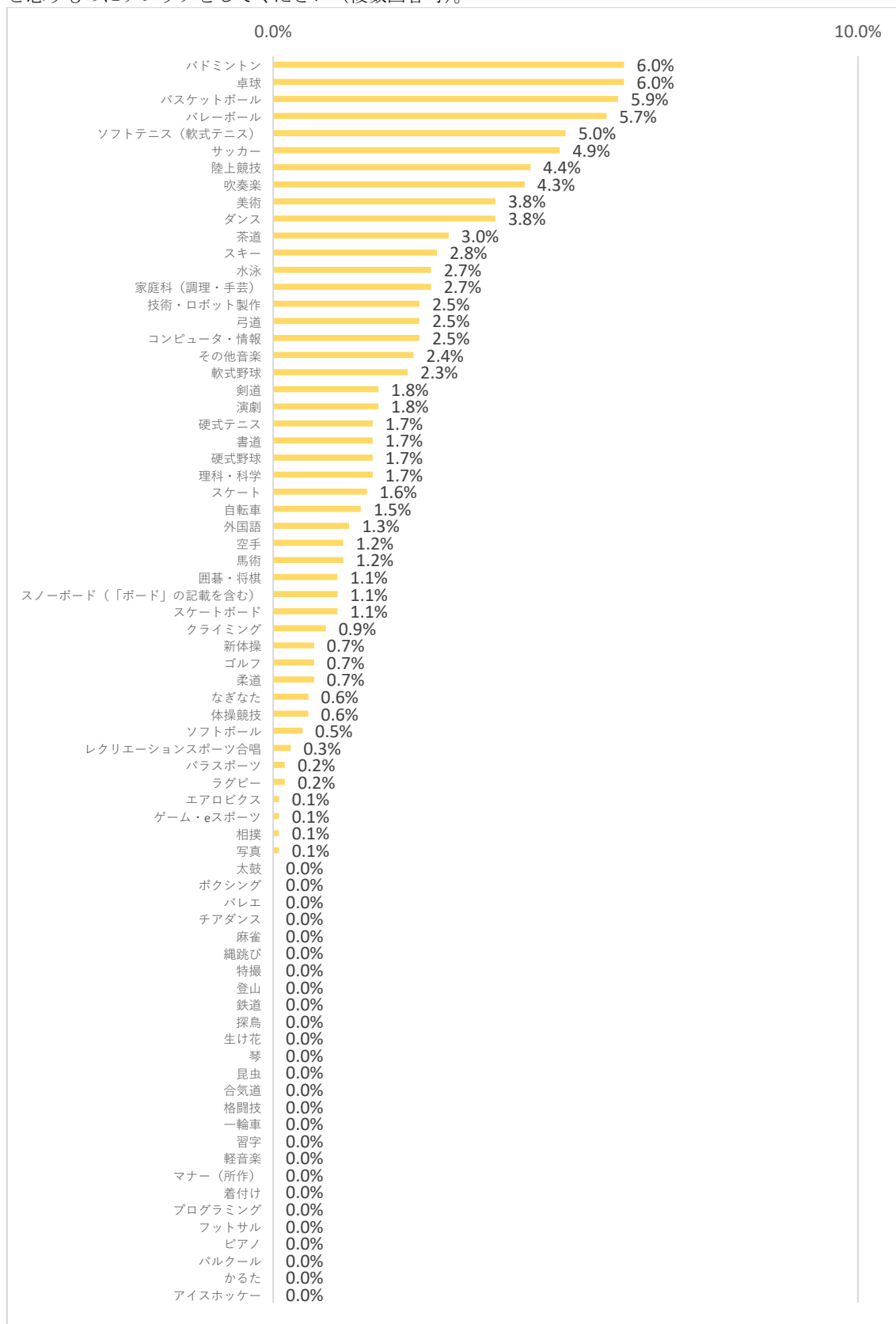
7 休日の地域クラブ活動への参加希望や活動に望むこと

主な結果	
✓	休日の地域クラブ活動に「参加したい」「どちらかといえば参加したい」と回答した者は56.2%であった。この結果は、小学5・6年生の55.6%が「休日」にスポーツや文化活動を「やってみたい」と回答した結果と同様の傾向が見られた。
✓	休日に取り組みたい種目は、バドミントン、卓球、バスケットボール、バレーボールなどを上位として多岐にわたっていた。
✓	休日の地域クラブ活動に「参加したくない」「どちらかといえば参加したくない」と回答した者を対象に、どのような地域クラブ活動であれば参加したいかを尋ねたところ、「参加するかどうかを自分で決められる」「自分なりのペースで進めていくことができる」「丁寧に教えてもらえる」の順に高い割合であった。



項目	参加したい	どちらかといえば参加したい	どちらかといえば参加したくない	参加したくない	合計
問9-1 休日のクラブ活動に参加したいですか？	838 29.4%	766 26.8%	671 23.5%	578 20.3%	2853 100.0%

問 9-2 休日のクラブ活動に参加する場合、どのようなクラブ活動に取り組みたいですか？ 参加したいと思うものにチェックをしてください（複数回答可）。



種目	n	%
バドミントン	251	6.0%
卓球	250	6.0%
バスケットボール	244	5.9%
バレーボール	239	5.7%
ソフトテニス (軟式テニス)	209	5.0%
サッカー	203	4.9%
陸上競技	183	4.4%
吹奏楽	179	4.3%
美術	160	3.8%
ダンス	158	3.8%
茶道	123	3.0%
スキー	117	2.8%
水泳	114	2.7%
家庭科 (調理・手芸)	112	2.7%
技術・ロボット製作	105	2.5%
弓道	104	2.5%
コンピュータ・情報	102	2.5%
その他音楽	101	2.4%
軟式野球	95	2.3%
剣道	73	1.8%
演劇	73	1.8%
硬式テニス	72	1.7%
書道	70	1.7%
硬式野球	69	1.7%
理科・科学	69	1.7%
スケート	65	1.6%
自転車	61	1.5%
外国語	53	1.3%
空手	51	1.2%
馬術	48	1.2%
囲碁・将棋	47	1.1%
スノーボード (「ボード」の記載を含む)	46	1.1%
スケートボード	44	1.1%
クライミング	36	0.9%
新体操	30	0.7%
ゴルフ	30	0.7%
柔道	28	0.7%
なぎなた	24	0.6%
体操競技	24	0.6%
ソフトボール	20	0.5%
レクリエーションスポーツ・合唱	14	0.3%
パラスポーツ	10	0.2%
ラグビー	9	0.2%
エアロビクス	5	0.1%
ゲーム・eスポーツ	4	0.1%
相撲	3	0.1%
写真	3	0.1%
太鼓	2	0.0%
ボクシング	2	0.0%
バレエ	2	0.0%
チアダンス	2	0.0%
麻雀	1	0.0%
縄跳び	1	0.0%

特撮	1	0.0%
登山	1	0.0%
鉄道	1	0.0%
探鳥	1	0.0%
生け花	1	0.0%
琴	1	0.0%
昆虫	1	0.0%
合気道	1	0.0%
格闘技	1	0.0%
一輪車	1	0.0%
習字	1	0.0%
軽音楽	1	0.0%
マナー (所作)	1	0.0%
着付け	1	0.0%
プログラミング	1	0.0%
フットサル	1	0.0%
ピアノ	1	0.0%
バルクール	1	0.0%
かるた	1	0.0%
アイスホッケー	1	0.0%
合計	4160	100.0%

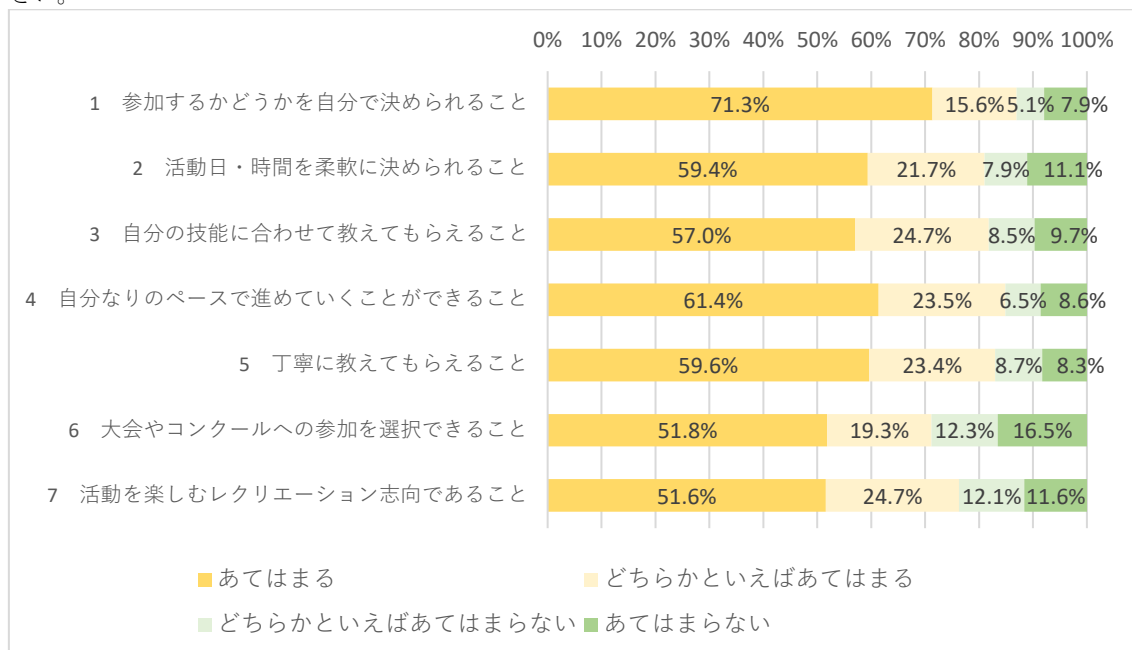
注 1) 問 9-2 の分析対象者は 1607 名であった。

注 2) 中学生に対しては「その他」として自由記述を設け、記載された種目を含めて掲載している。

注 3) 「レクリエーションスポーツ・合唱」は、「レクリエーションスポーツ」と「合唱」とを分類すべきところを同一項目としたことによる。

注 4) 「その他音楽」は吹奏楽及び合唱以外の音楽を指す。

問9-3 問9-1で「参加したくない」または「どちらかといえば参加したくない」のいずれかに回答した方にお尋ねします。どのようなクラブ活動であれば参加したいですか？最もあてはまるものを選んでください。

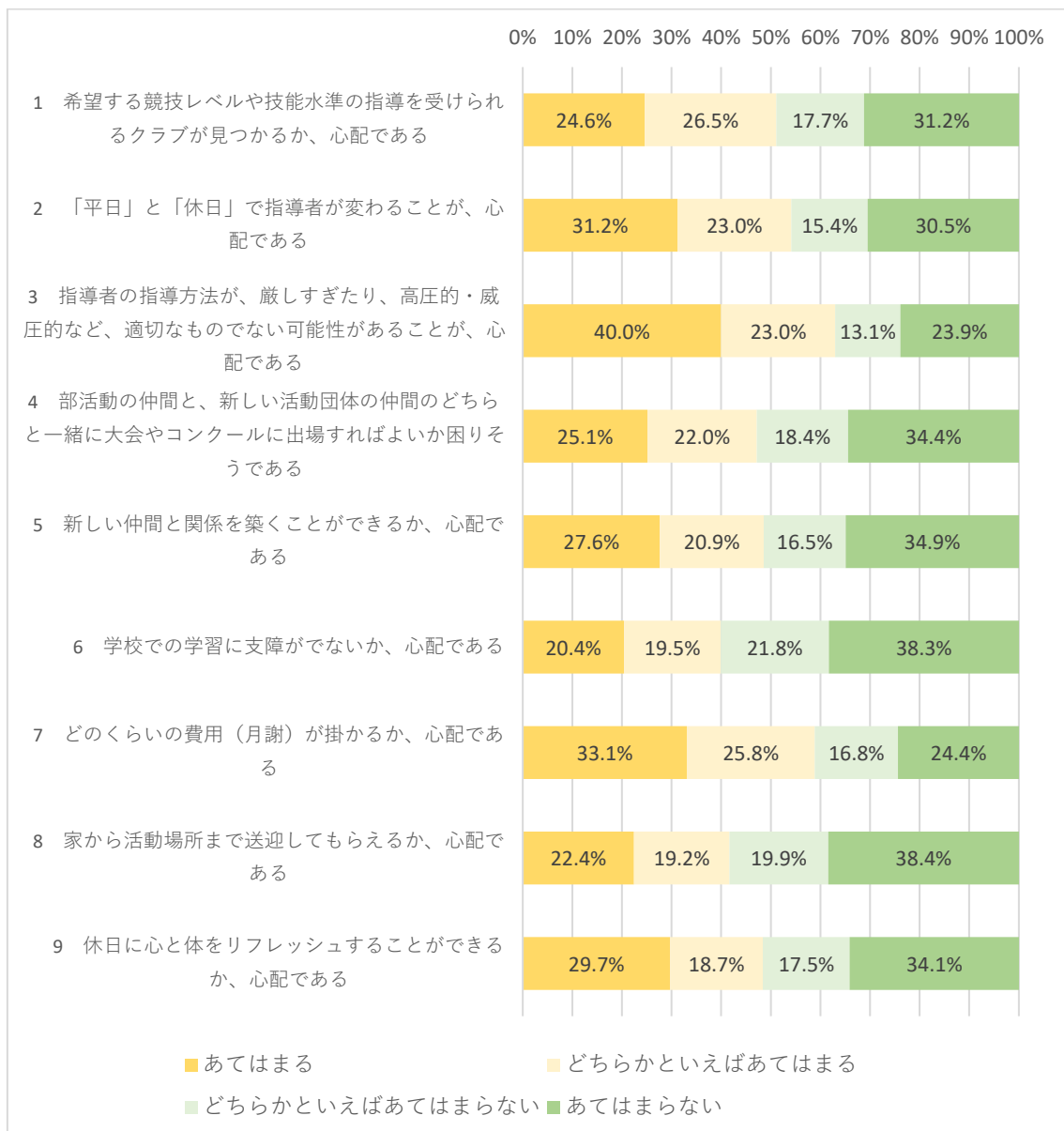


項目	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	合計
1 参加するかどうかを自分で決められること	859 71.3%	188 15.6%	62 5.1%	95 7.9%	1204 100.0%
2 活動日・時間を柔軟に決められること	707 59.4%	258 21.7%	94 7.9%	132 11.1%	1191 100.0%
3 自分の技能に合わせて教えてもらえること	675 57.0%	293 24.7%	101 8.5%	115 9.7%	1184 100.0%
4 自分なりのペースで進めていくことができること	733 61.4%	280 23.5%	78 6.5%	103 8.6%	1194 100.0%
5 丁寧に教えてもらえること	707 59.6%	277 23.4%	103 8.7%	99 8.3%	1186 100.0%
6 大会やコンクールへの参加を選択できること	611 51.8%	228 19.3%	145 12.3%	195 16.5%	1179 100.0%
7 活動を楽しむことを大切にしたいレクリエーション志向であること	610 51.6%	292 24.7%	143 12.1%	137 11.6%	1182 100.0%

8 地域クラブ活動への加入に伴う心配

主な結果	
✓	地域クラブ活動への加入に伴う心配や困りそうなこととしては、「指導者の指導方法が、厳しすぎたり、高圧的・威圧的など、適切なものでない可能性があること」「どのくらいの費用（月謝）が掛かるか」「平日と休日で指導者が変わること」の順で「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合が高かった。

問 10 令和 7 年度末を目途に、休日の部活動は、「学校」ではなく、「地域」が運営主体となります。地域が運営するクラブに自分が在籍する場合、心配なことや困りそうなことはありますか？ 今のあなたの考えとして、最もあてはまるものを一つ選んでください。

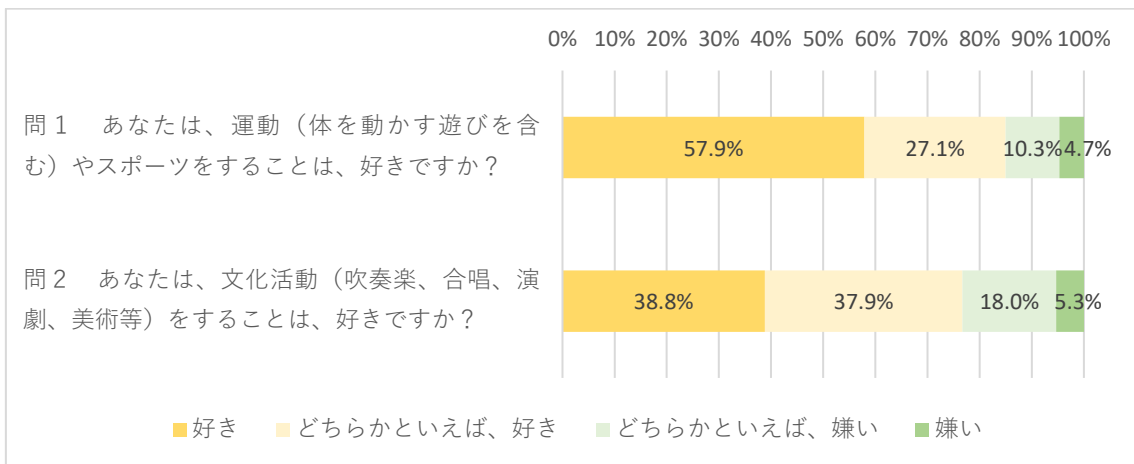


項目	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	合計
1 希望する競技レベルや技能水準の指導を受けられるクラブが見つかるか、心配である	681 24.6%	731 26.5%	488 17.7%	863 31.2%	2763 100.0%
2 「平日」と「休日」で指導者が変わることが、心配である	864 31.2%	636 23.0%	425 15.4%	843 30.5%	2768 100.0%
3 指導者の指導方法が、厳しすぎたり、高圧的・威圧的など、適切なものでない可能性があることが、心配である	1110 40.0%	638 23.0%	364 13.1%	662 23.9%	2774 100.0%
4 部活動の仲間と、新しい活動団体の仲間のどちらと一緒に大会やコンクールに出場すればよいか困りそうである	693 25.1%	608 22.0%	508 18.4%	949 34.4%	2758 100.0%
5 新しい仲間と関係を築くことができるか、心配である	762 27.6%	579 20.9%	457 16.5%	966 34.9%	2764 100.0%
6 学校での学習に支障がでないか、心配である	561 20.4%	535 19.5%	598 21.8%	1,052 38.3%	2746 100.0%
7 どのくらいの費用（月謝）が掛かるか、心配である	909 33.1%	709 25.8%	461 16.8%	670 24.4%	2749 100.0%
8 家から活動場所まで送迎してもらえるか、心配である	617 22.4%	530 19.2%	549 19.9%	1059 38.4%	2755 100.0%
9 休日に心と体をリフレッシュすることができるか、心配である	815 29.7%	515 18.7%	481 17.5%	937 34.1%	2748 100.0%

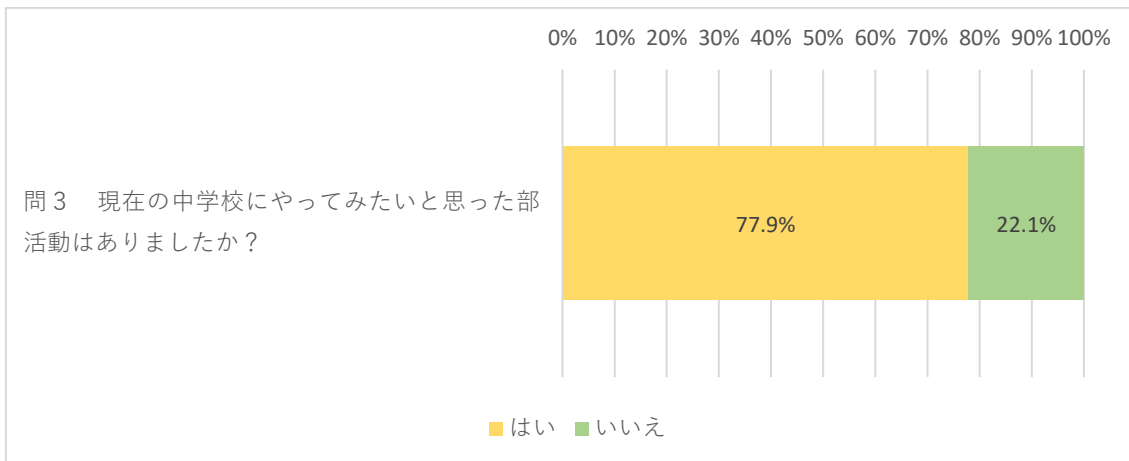
中学3年生を対象とした調査の結果

1 運動やスポーツ、文化の活動に対する思い

主な結果	
✓	運動やスポーツが「好き」「どちらかといえば好き」と回答した者は全体の 85.0%、文化活動に対して同様に回答した者は 76.7%であった。
✓	「中学校入学時に『やってみたい』と思った部活動はありましたか」という質問に対して「はい」と回答した生徒は 77.9%、「いいえ」と回答した生徒は 22.1%であった。



項目	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば嫌い	嫌い	合計
問1 あなたは、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは、好きですか？	784 57.9%	367 27.1%	139 10.3%	64 4.7%	1354
問2 あなたは、文化活動（吹奏楽、合唱、演劇、美術等）をすることは、好きですか？	525 38.8%	512 37.9%	243 18.0%	72 5.3%	1352

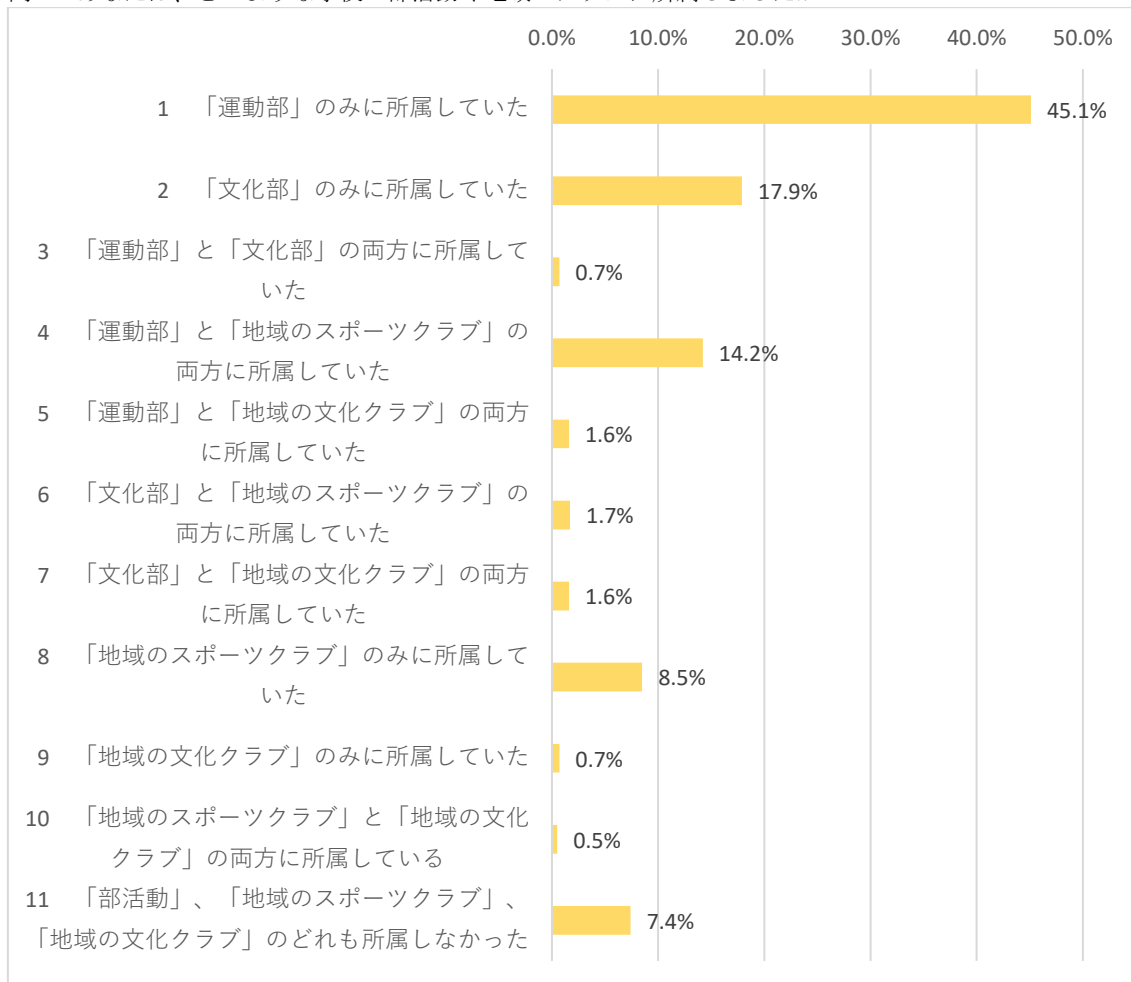


項目	はい	いいえ	合計
問3 現在の中学校にやってみたいと思った部活動はありましたか？	1041 77.9%	296 22.1%	1337 100.0%

2 部活動および地域クラブ活動への所属率

主な結果	
✓	部活動に参加している者（地域クラブ活動との掛け持ちも含む）は 82.8%、地域クラブ活動に参加している者（部活動との掛け持ちも含む）は 28.8%であった。
✓	部活動にも地域クラブ活動にも参加していない者は 7.4%であった。

問4 あなたは、どのような学校の部活動や地域のクラブに所属しましたか？

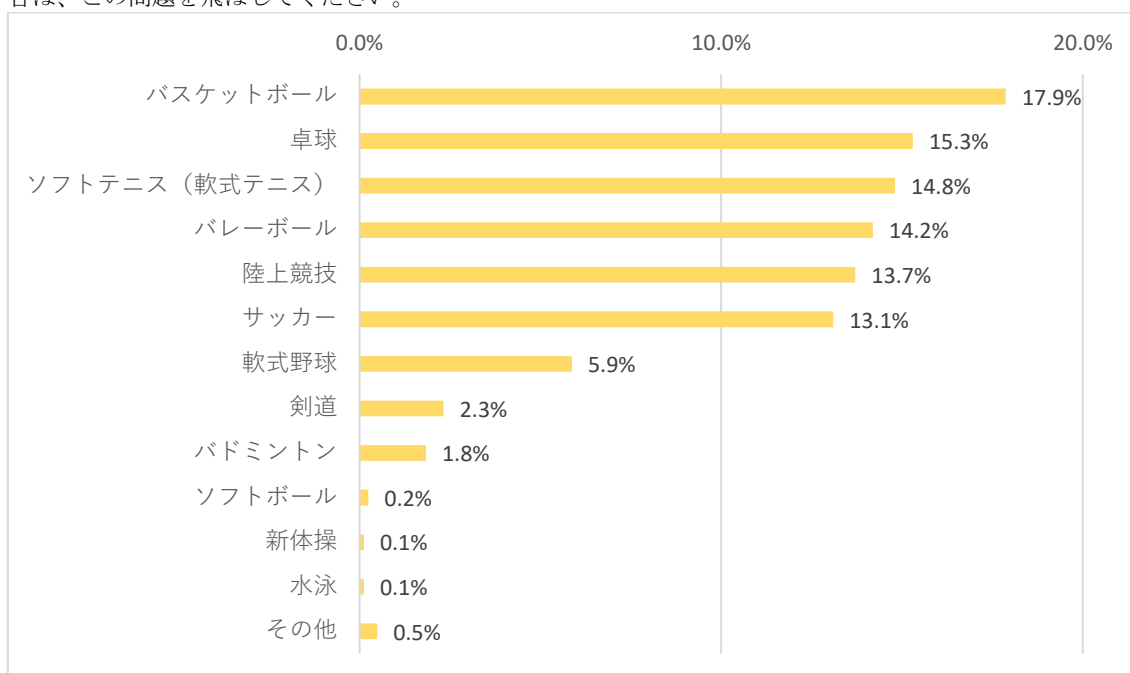


所属		<i>n</i>	%
1	「運動部」のみに所属していた	609	45.1%
2	「文化部」のみに所属していた	242	17.9%
3	「運動部」と「文化部」の両方に所属していた	9	0.7%
4	「運動部」と「地域のスポーツクラブ」の両方に所属していた	192	14.2%
5	「運動部」と「地域の文化クラブ」の両方に所属していた	22	1.6%
6	「文化部」と「地域のスポーツクラブ」の両方に所属していた	23	1.7%
7	「文化部」と「地域の文化クラブ」の両方に所属していた	21	1.6%
8	「地域のスポーツクラブ」のみに所属していた	115	8.5%
9	「地域の文化クラブ」のみに所属していた	10	0.7%
10	「地域のスポーツクラブ」と「地域の文化クラブ」の両方に所属している	7	0.5%
11	学校の「部活動」、「地域のスポーツクラブ」、「地域の文化クラブ」のどれも所属しなかった	100	7.4%
合計		1350	100.0%

3 所属する部活動や地域クラブ活動の種目や活動

主な結果	
✓	所属する部活動の種目は、運動系部活動においては「バスケットボール」「卓球」「ソフトテニス」の順に高い所属率であった。文化系部活動においては「吹奏楽」「美術」「合唱」の順に高い所属率であった。
✓	所属する地域クラブ活動の種目は、運動系においては「サッカー」「卓球」「ソフトテニス」の順に高い所属率であった。文化系においては「その他音楽（吹奏楽及び合唱以外の音楽）」「書道」「外国語」の順に高い所属率であった。

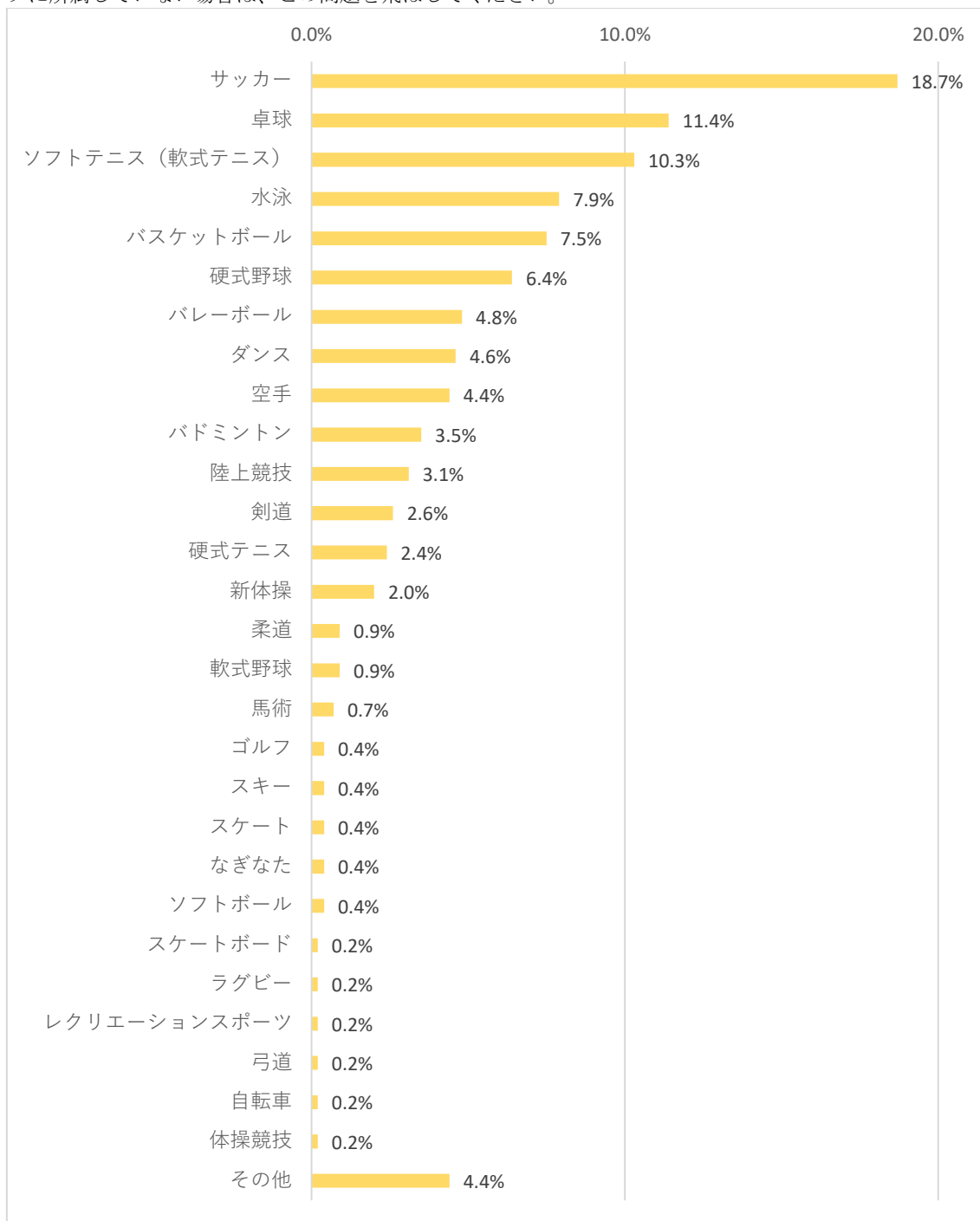
問 5-1 所属していた運動系部活がある場合、どのような種目ですか？運動系部活動に所属していない場合は、この問題を飛ばしてください。



種目	n	%
バスケットボール	146	17.9%
卓球	125	15.3%
ソフトテニス (軟式テニス)	121	14.8%
バレーボール	116	14.2%
陸上競技	112	13.7%
サッカー	107	13.1%
軟式野球	48	5.9%
剣道	19	2.3%
バドミントン	15	1.8%
ソフトボール	2	0.2%
新体操	1	0.1%
水泳	1	0.1%
その他	4	0.5%
合計	817	100.0%

注) 松本市内中学校に設置されていない種目 (たとえば硬式野球、硬式テニス、ラグビー、ダンス) の回答は除外した。

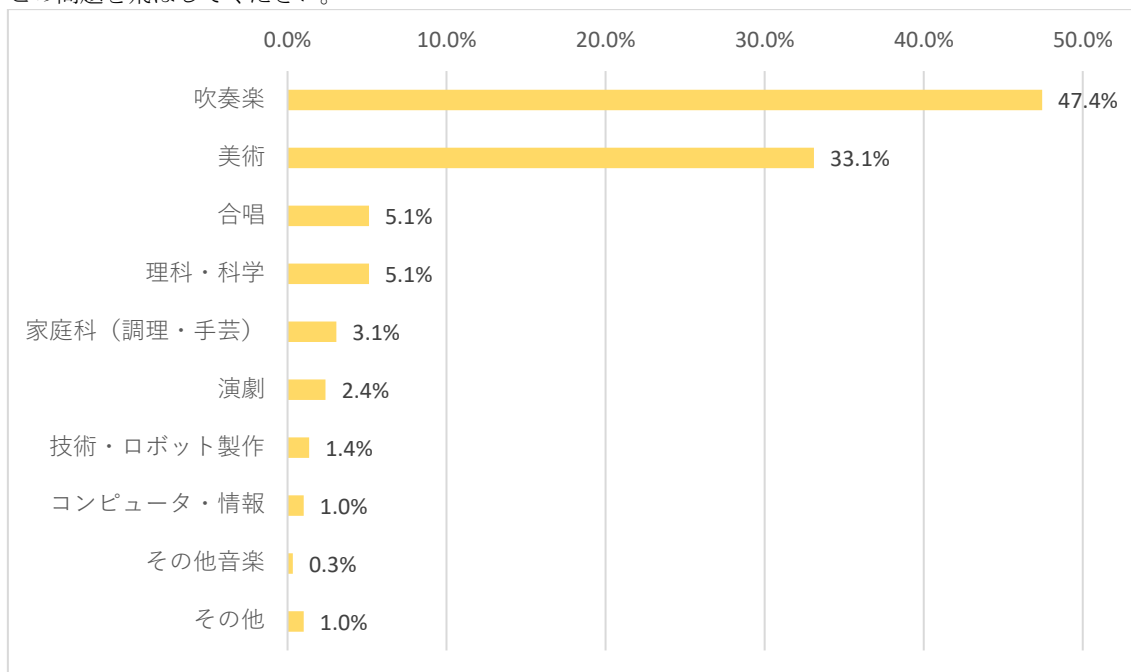
問 5-2・3 所属していた地域のスポーツクラブがある場合、どのような種目ですか？運動系スポーツクラブに所属していない場合は、この問題を飛ばしてください。



種目	n	%
サッカー	85	18.7%
卓球	52	11.4%
ソフトテニス (軟式テニス)	47	10.3%
水泳	36	7.9%
バスケットボール	34	7.5%
硬式野球	29	6.4%
バレーボール	22	4.8%
ダンス	21	4.6%
空手	20	4.4%
バドミントン	16	3.5%
陸上競技	14	3.1%
剣道	12	2.6%
硬式テニス	11	2.4%
新体操	9	2.0%
柔道	4	0.9%
軟式野球	4	0.9%
馬術	3	0.7%
ゴルフ	2	0.4%
スキー	2	0.4%
スケート	2	0.4%
なぎなた	2	0.4%
ソフトボール	2	0.4%
スケートボード	1	0.2%
ラグビー	1	0.2%
レクリエーションスポーツ	1	0.2%
弓道	1	0.2%
自転車	1	0.2%
体操競技	1	0.2%
その他	20	4.4%
合計	455	100.0%

注) 1名につき2種目以上所属している種目は合算している。

問 5-4 所属していた文化系部活がある場合どのような種目ですか？文化系部活に所属していない場合は、この問題を飛ばしてください。

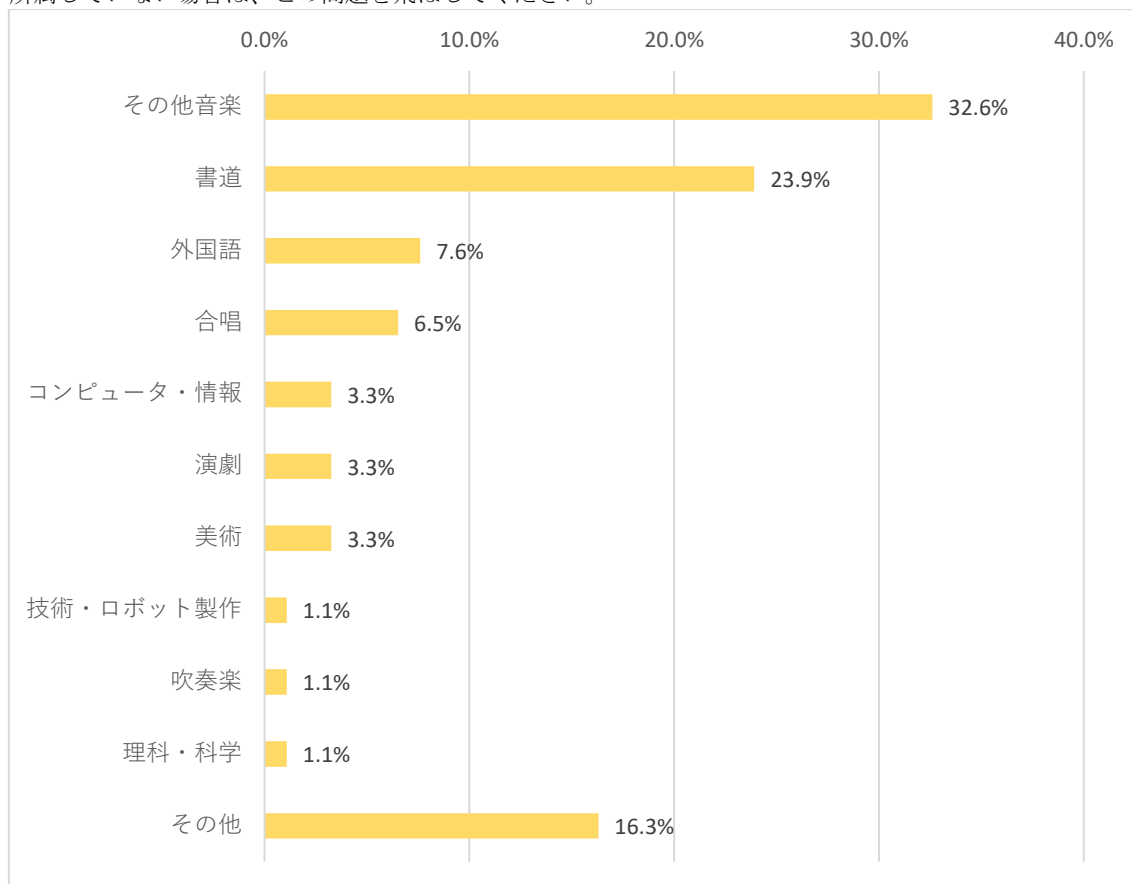


項目	<i>n</i>	%
吹奏楽	139	47.4%
美術	97	33.1%
合唱	15	5.1%
理科・科学	15	5.1%
家庭科 (調理・手芸)	9	3.1%
演劇	7	2.4%
技術・ロボット製作	4	1.4%
コンピュータ・情報	3	1.0%
その他音楽	1	0.3%
その他	3	1.0%
合計	293	100.0%

注 1) 「その他音楽」は吹奏楽及び合唱以外の音楽を指す。

注 2) 松本市内中学校に設置されていない種目 (たとえば書道、茶道) の回答は除外した。

問 5-5・6 所属している地域の文化系クラブがある場合、どのような種目ですか？地域の文化系クラブに所属していない場合は、この問題を飛ばしてください。



項目	<i>n</i>	%
その他音楽	30	32.6%
書道	22	23.9%
外国語	7	7.6%
合唱	6	6.5%
コンピュータ・情報	3	3.3%
演劇	3	3.3%
美術	3	3.3%
技術・ロボット製作	1	1.1%
吹奏楽	1	1.1%
理科・科学	1	1.1%
その他	15	16.3%
合計	92	100.0%

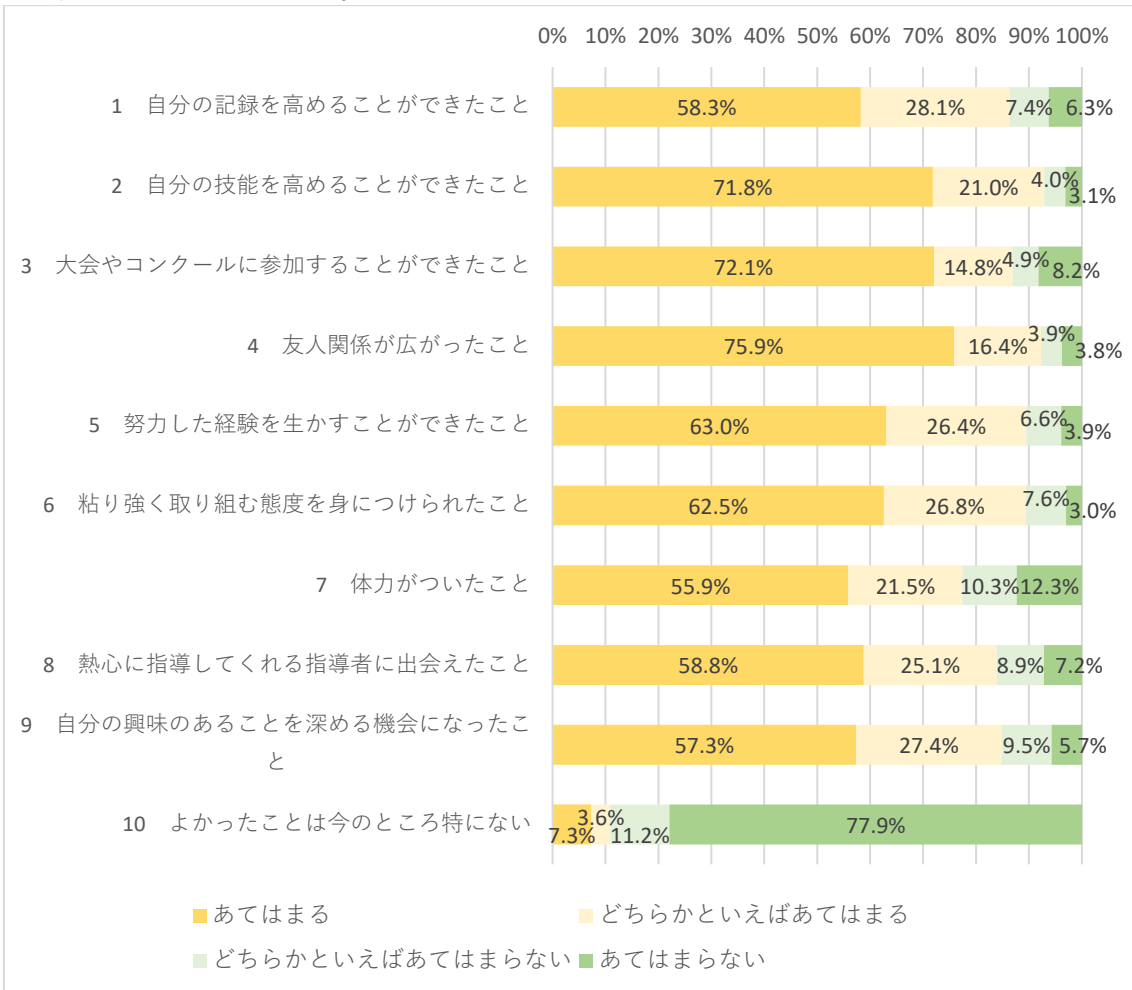
注 1) 1名につき2種目以上所属している種目は合算している。

注 2) 「その他音楽」は吹奏楽及び合唱以外の音楽を指す。

4 部活動に取り組んで「良かった」こと

主な結果	
✓	部活動をして「良かった」と思うことは、「友人関係が広がった」「大会やコンクールに参加できた」「自分の技能を高めることができた」の順に「あてはまる」と回答した割合が高かった。
✓	指導経験のない種目を指導している指導している教員が54.4%いる現状に対し(81p)、「熱心に指導してくれる指導者に出会えた」という項目に「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した者は83.9%であった。

問 6 中学校の部活動を経験して良かったと思うことについて、それぞれが、どの程度自分に当てはまるかを数字で1つ選んでください。

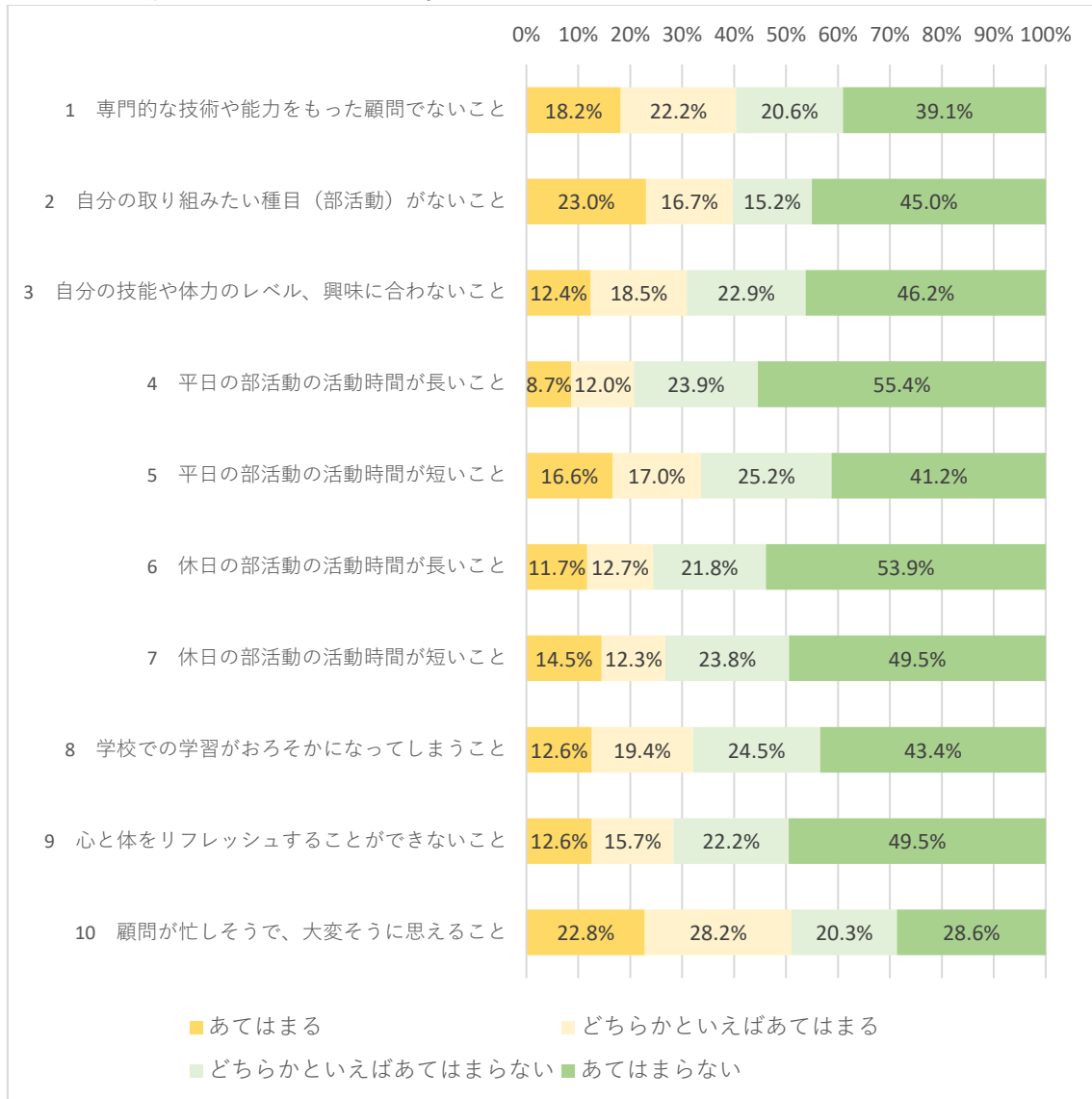


項目	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	合計
1 自分の記録を高めることができたこと	650 58.3%	313 28.1%	82 7.4%	70 6.3%	1115 100.0%
2 自分の技能を高めることができたこと	803 71.8%	235 21.0%	45 4.0%	35 3.1%	1118 100.0%
3 大会やコンクールに参加することができたこと	802 72.1%	165 14.8%	55 4.9%	91 8.2%	1113 100.0%
4 友人関係が広がったこと	846 75.9%	183 16.4%	44 3.9%	42 3.8%	1115 100.0%
5 努力した経験を生かすことができたこと	703 63.0%	294 26.4%	74 6.6%	44 3.9%	1115 100.0%
6 粘り強く取り組む態度を身につけられたこと	698 62.5%	299 26.8%	85 7.6%	34 3.0%	1116 100.0%
7 体力がついたこと	621 55.9%	239 21.5%	114 10.3%	136 12.3%	1110 100.0%
8 熱心に指導してくれる指導者に会えたこと	653 58.8%	279 25.1%	99 8.9%	80 7.2%	1111 100.0%
9 自分の興味のあることを深める機会になったこと	640 57.3%	306 27.4%	106 9.5%	64 5.7%	1116 100.0%
10 よかったことは今のところ特にない	75 7.3%	37 3.6%	115 11.2%	802 77.9%	1029 100.0%

5 部活動で改善が必要と感ずること

主な結果	
✓	部活動で改善していくべきだと思うことは、「顧問が忙しそうで、大変そうに思えること」「専門的な技術や能力をもった顧問でないこと」「自分の取り組みたい種目（部活動）がないこと」の順で「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合が高かった。

問7 問4で部活動（運動部や文化部）に所属していると回答した方（問4で1から7のいずれかを選択した方）にお尋ねします。中学校の部活動で改善していくべきだと思うことについて、どの程度自分に当てはまるかを数字で1つ選んでください。

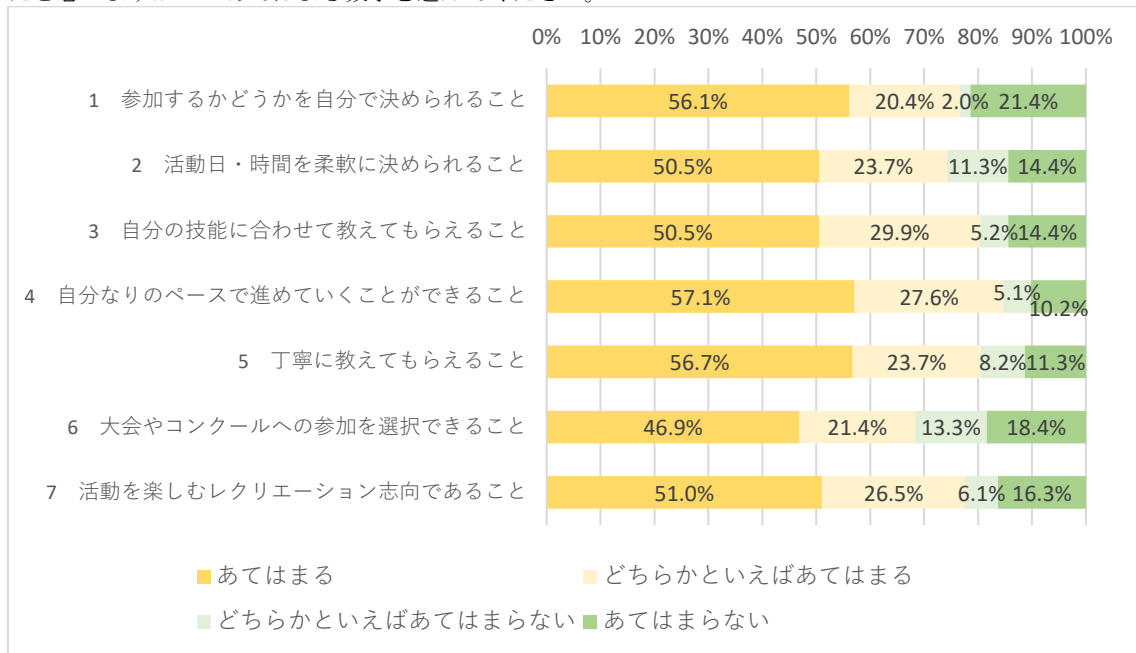


項目	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	合計
1 専門的な技術や能力をもった顧問でないこと	201 18.2%	245 22.2%	228 20.6%	432 39.1%	1106 100.0%
2 自分の取り組みたい種目（部活動）がないこと	256 23.0%	186 16.7%	169 15.2%	500 45.0%	1111 100.0%
3 自分の技能や体力のレベル、興味に合わないこと	137 12.0%	204 19.0%	253 23.0%	511 46.0%	1105 100.0%
4 平日の部活動の活動時間が長いこと	96 9.0%	132 12.0%	263 24.0%	610 55.0%	1101 100.0%
5 平日の部活動の活動時間が短いこと	183 17.0%	187 17.0%	277 25.0%	453 41.0%	1100 100.0%
6 休日の部活動の活動時間が長いこと	128 12.0%	139 13.0%	239 22.0%	591 54.0%	1097 100.0%
7 休日の部活動の活動時間が短いこと	159 15.0%	135 12.0%	261 24.0%	543 50.0%	1098 100.0%
8 学校での学習がおろそかになってしまうこと	139 13.0%	214 19.0%	270 25.0%	478 43.0%	1101 100.0%
9 心と体をリフレッシュすることができないこと	138 13.0%	172 16.0%	243 22.0%	542 50.0%	1095 100.0%
10 顧問が忙しそうで、大変そうに思えること	251 23.0%	311 28.0%	224 20.0%	315 29.0%	1101 100.0%

6 スポーツ・文化活動に所属していない者が活動に望むこと

主な結果	
✓	「部活動」「地域のスポーツクラブ」「地域の文化クラブ」のどれも所属していない生徒を対象として、どのような活動であればスポーツや文化の活動をしたいかを尋ねたところ、「自分なりのペースで進めていくことができる」「自分の技能に合わせて教えてもらえる」「丁寧に教えてもらえる」の順で「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合が高かった。

問8 問4で11と回答した方にお尋ねします。どのような活動であればスポーツや文化の活動をしていたと思いますか？ あてはまる数字を選んでください。



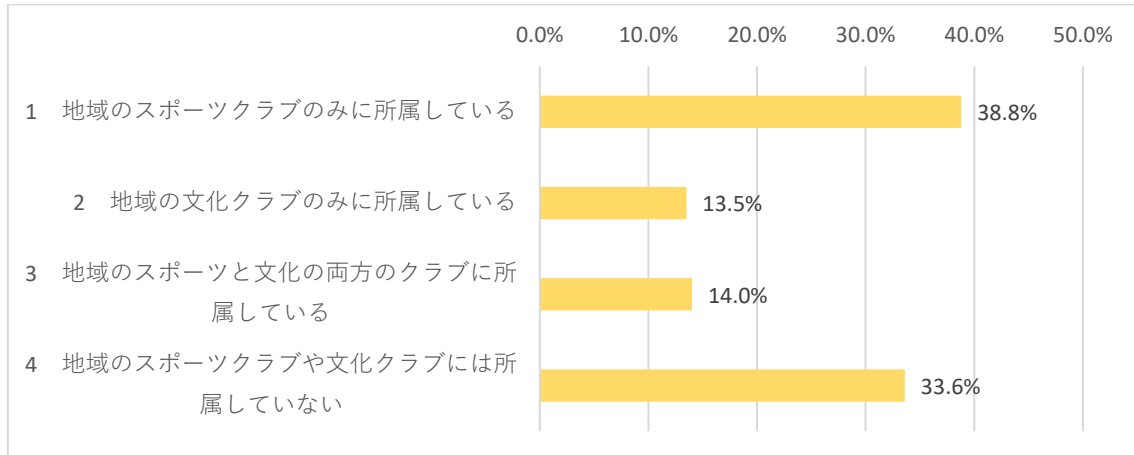
項目	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	合計
1 参加するかどうかを自分で決められること	55 56.1%	20 20.4%	2 2.0%	21 21.4%	98 100.0%
2 活動日・時間を柔軟に決められること	49 50.5%	23 23.7%	11 11.3%	14 14.4%	97 100.0%
3 自分の技能に合わせて教えてもらえること	49 50.5%	29 29.9%	5 5.2%	14 14.4%	97 100.0%
4 自分なりのペースで進めていくことができること	56 57.1%	27 27.6%	5 5.1%	10 10.2%	98 100.0%
5 丁寧に教えてもらえること	55 56.7%	23 23.7%	8 8.2%	11 11.3%	97 100.0%
6 大会やコンクールへの参加を選択できること	46 46.9%	21 21.4%	13 13.3%	18 18.4%	98 100.0%
7 活動を楽しむことを大切にしたいレクリエーション志向であること	50 51.0%	26 26.5%	6 6.1%	16 16.3%	98 100.0%

小学5・6年生保護者を対象とした調査の結果

1 地域クラブ活動への所属率と月謝及び年間の費用負担

主な結果	
✓	地域クラブ活動に所属している割合は 66.3%であった。
✓	地域クラブ活動の月謝の平均は 6545.1 円であり、月謝以外の年間費用負担の平均は 28275.8 円であった。

問 1 現在、あなたのお子さんが所属しているクラブはありますか？ なお、クラブは運動やスポーツだけでなく、ピアノや書道などの習い事を含めます。ただし、学習塾は除きます。



項目	<i>n</i>	%
1 地域のスポーツクラブのみに所属している	496	38.8%
2 地域の文化クラブのみに所属している	173	13.5%
3 地域のスポーツクラブと文化クラブの両方に所属している	179	14.0%
4 地域のスポーツクラブや文化クラブには所属していない	430	33.6%
合計	1278	100.0%

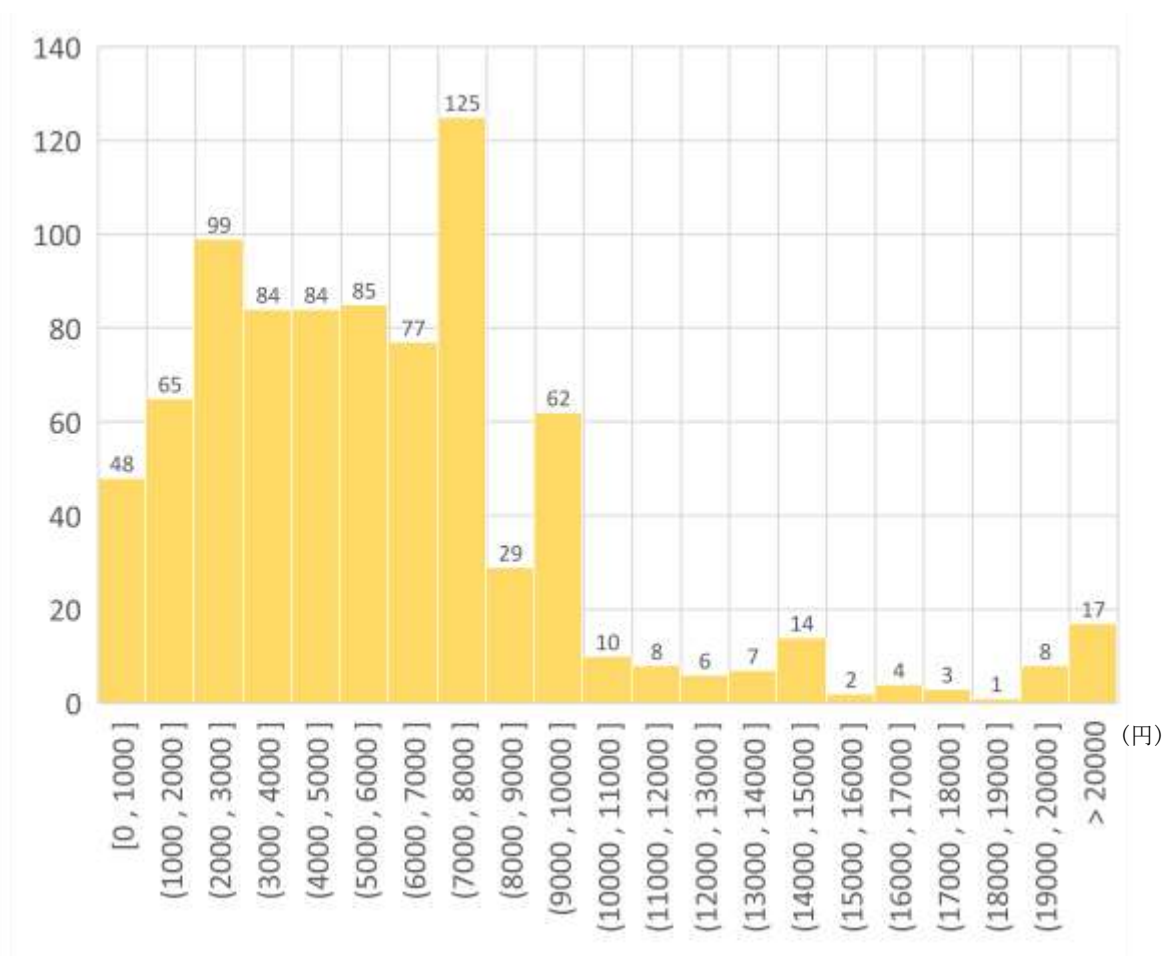
問 2 お子さんが所属するクラブに支払っている月謝はどの程度ですか？概算でかまわないので「〇〇〇円程度」とお答えをお願いします。クラブを掛け持ちして所属している場合は、最も高いクラブの月謝について回答してください。

(円)

基礎統計量	
平均値	6,545.1
標準偏差	5,002.0
中央値	6,000
最小値	0
最大値	50,000

注 1) 分析対象者は 838 名であった。

注 2) 年間の金額が記載された回答は 12 を除くことで月単位に算出し、月謝の範囲が記載された回答は平均値（例えば月謝は 2,000 円から 4,000 円と記載の場合は 3,000 円）を算出して代入した。



小学生保護者がクラブに支払う月謝の度数分布

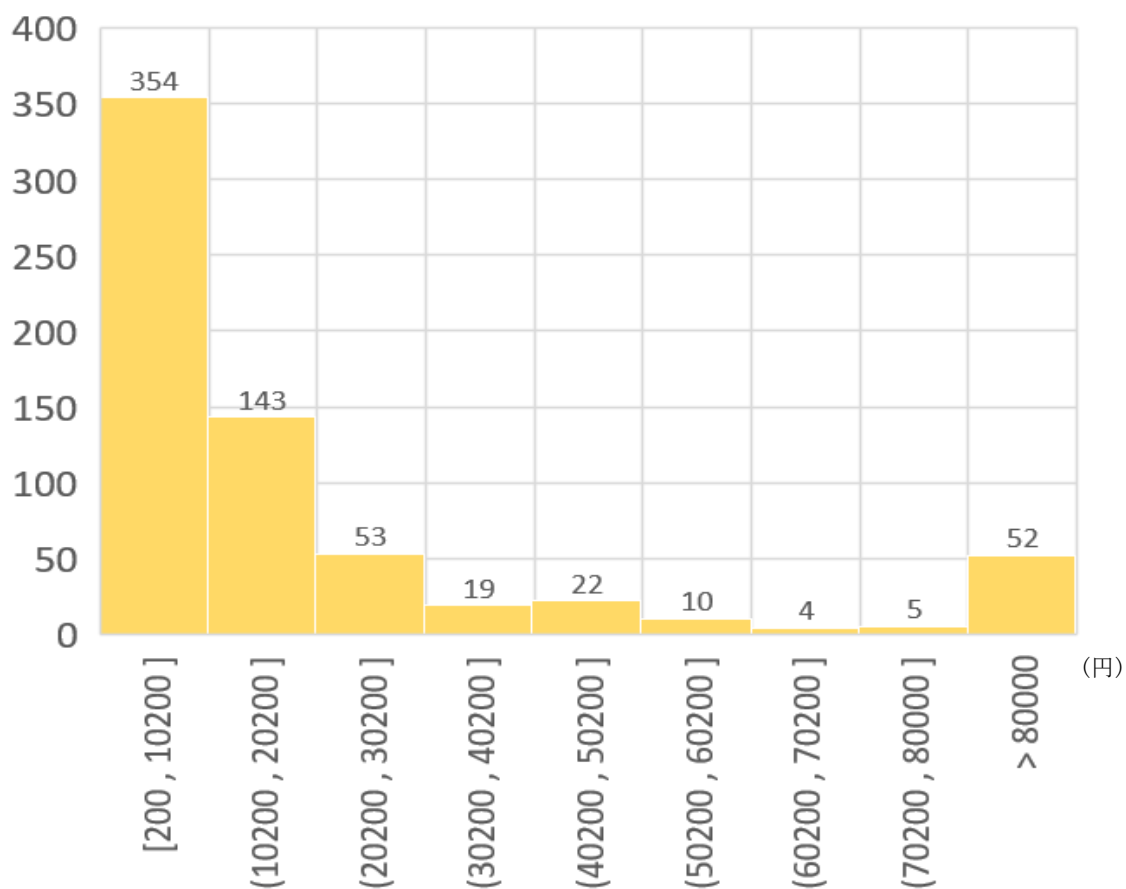
問3 月謝以外に支払っている年間の費用負担（例：光熱費、大会・コンクール参加代、遠征代などの諸経費）は、どの程度ですか？概算でかまわないので「〇〇〇円程度」とお答えをお願いします。

(円)

基礎統計量	
平均値	28,275.8
標準偏差	57,637.3
中央値	10,000
最小値	200
最大値	500,000

注1) 分析対象者は662名（記入漏れ記入ミスを除く）であった。

注2) 年間の費用負担の範囲が記載された回答は平均値（例えば月謝は2,000円から4,000円と記載の場合は3,000円）を算出して代入した。

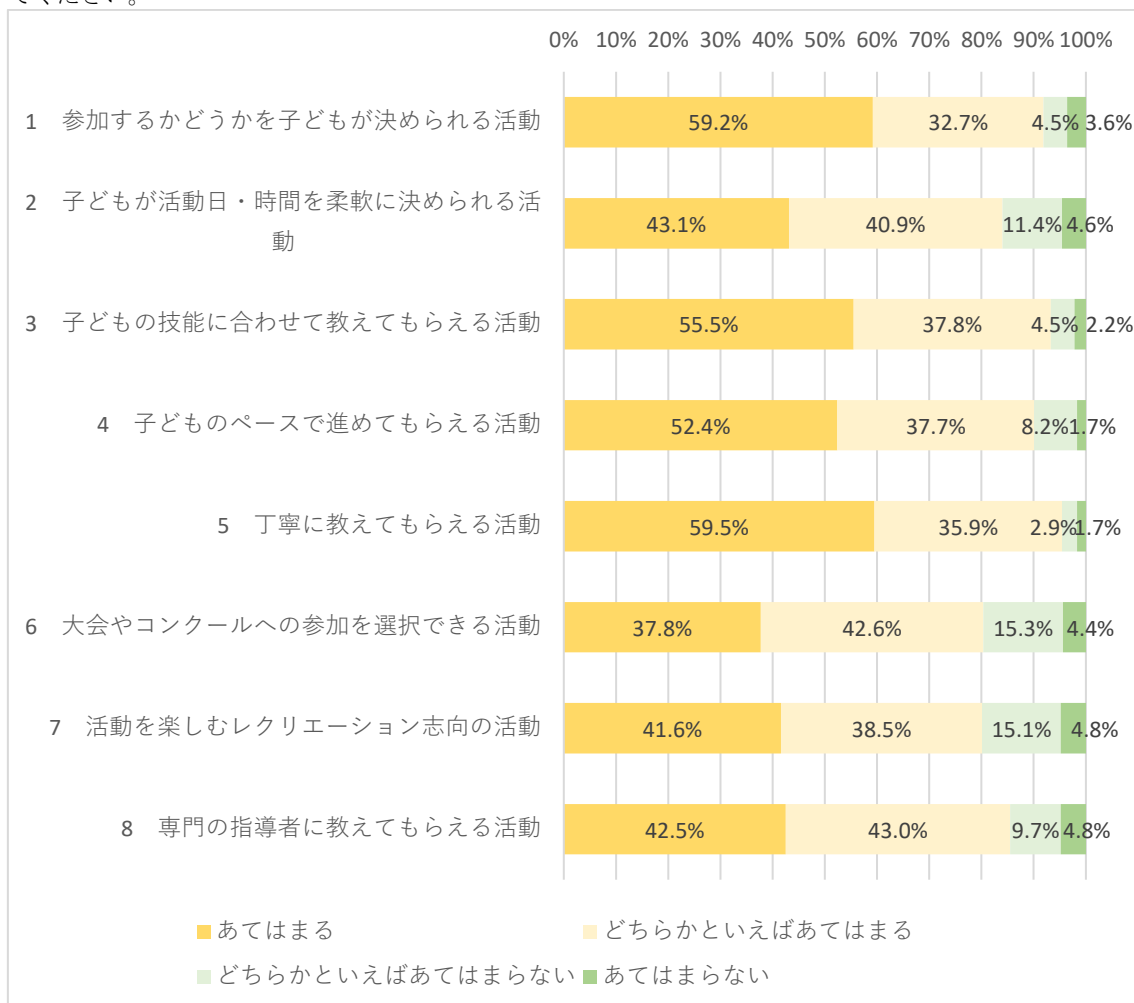


小学生保護者がクラブに支払う年間費用負担の度数分布

2 スポーツ・文化活動に所属していない者が活動に望むこと

主な結果	
✓	お子さんが「地域のスポーツクラブや文化クラブには所属していない」と回答した保護者を対象として、どのような活動であれば、お子さんが休日のスポーツや文化の活動をしたいと思うかを尋ねたところ、「丁寧に教えてもらえる活動」「子どもの技能に合わせて教えてもらえる活動」「参加するかどうかを子どもが決められる活動」の順で「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合が高かった。

問4 問1で「地域のスポーツクラブや文化クラブには所属していない」と回答した方にお尋ねします。令和7年度末を目途に、休日の部活動は、「学校」ではなく、「地域」が運営主体となります。あなたのお子さんが、休日に地域が運営するスポーツや文化の活動を行うことを想像し、質問にご回答ください。どのような活動であれば、あなたのお子さんは休日のスポーツや文化の活動をしたい（あなたのお子さんを休日のスポーツや文化の活動をさせたいと思いますか？）と思うと考えますか？あてはまるものを選んでください。



項目	あてはまる	どちらかといえはあてはまる	どちらかといえはあてはまらない	あてはまらない	合計
1 参加するかどうかを子どもが決められる活動	248 59.2%	137 32.7%	19 4.5%	15 3.6%	419 100.0%
2 子どもが活動日・時間を柔軟に決められる活動	178 43.1%	169 40.9%	47 11.4%	19 4.6%	413 100.0%
3 子どもの技能に合わせて教えてもらえる活動	232 55.5%	158 37.8%	19 4.5%	9 2.2%	418 100.0%
4 子どものペースで進めてもらえる活動	218 52.4%	157 37.7%	34 8.2%	7 1.7%	416 100.0%
5 丁寧に教えてもらえる活動	247 59.5%	149 35.9%	12 2.9%	7 1.7%	415 100.0%
6 大会やコンクールへの参加を選択できる活動	156 37.8%	176 42.6%	63 15.3%	18 4.4%	413 100.0%
7 活動を楽しむことを大切にしたレクリエーション志向の活動	173 41.6%	160 38.5%	63 15.1%	20 4.8%	416 100.0%
8 専門の指導者に教えてもらえる活動	176 42.5%	178 43.0%	40 9.7%	20 4.8%	414 100.0%

3 地域クラブ活動に移行した場合の月謝の許容額

主な結果	
✓	移行後の地域クラブ活動に対して月謝を支払う場合、許容される金額は、平均 4715.3 円であった。実際に支払っている月謝の平均値 (6545.1 円) からは、1829.8 円低い値であった。

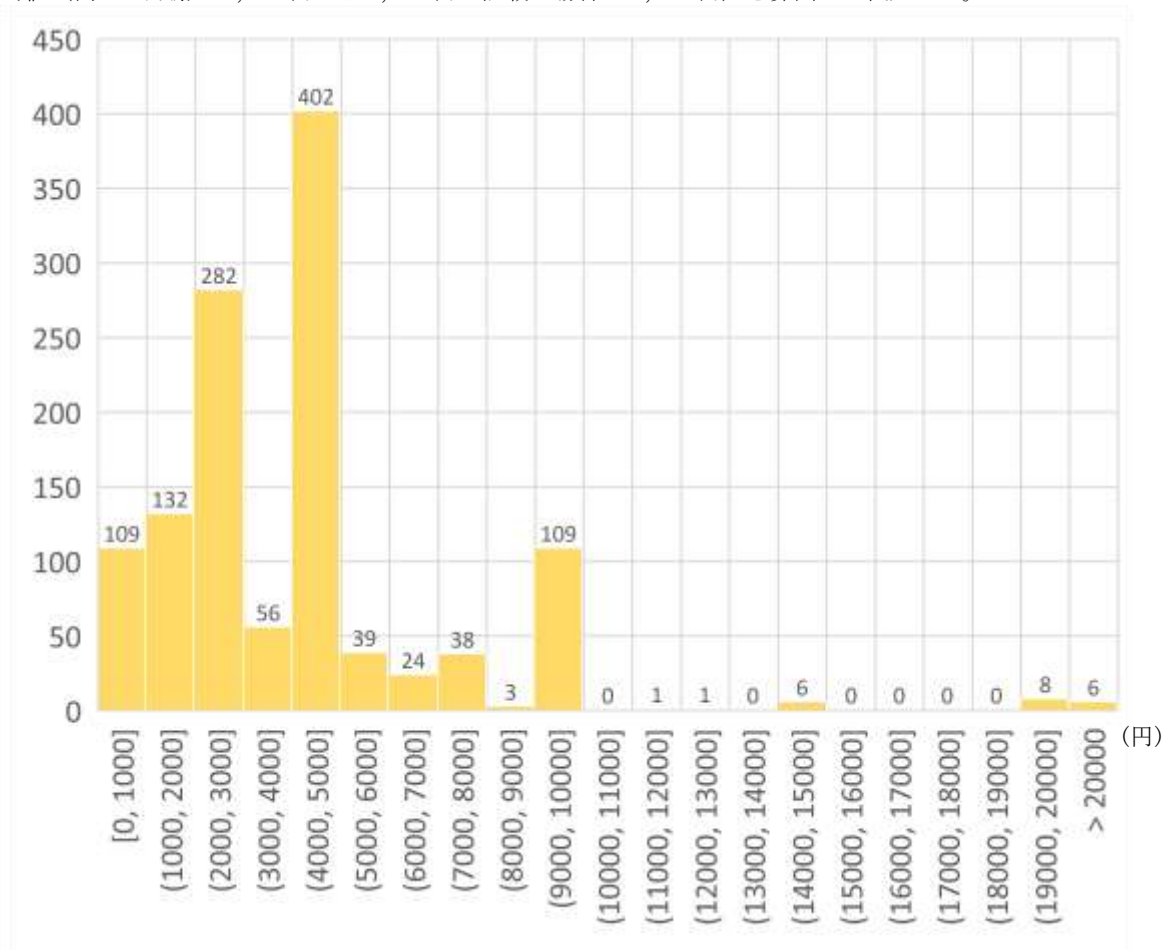
問 5 令和 7 年度末を目途に、休日の部活動は、「学校」ではなく、「地域」が運営主体となります。あなたのお子さんが、休日に地域が運営するスポーツや文化の活動を行うことを想像し、質問にご回答ください。

問 5-1 月謝はいくらまでであれば許容できますか？「〇〇〇円程度」とお答えください。 (円)

基礎統計量	
平均値	4,715.3
標準偏差	3,829.2
中央値	5,000
最小値	0
最大値	70,000

注 1) 分析対象者は 1216 名 (記入漏れ記入ミスを除く) であった。

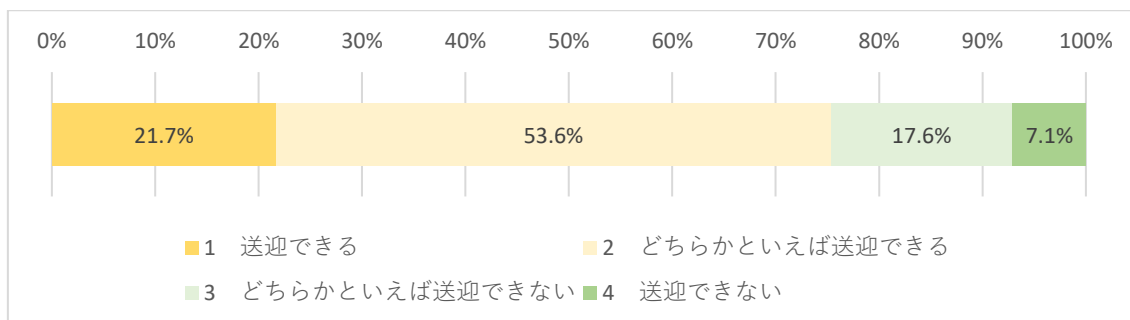
注 2) 年間の金額が記載された回答は 12 を除すことで月単位に算出し、月謝の範囲が記載された回答は平均値 (例えば月謝は 2,000 円から 4,000 円と記載の場合は 3,000 円) を算出して代入した。



4 地域クラブ活動への送迎

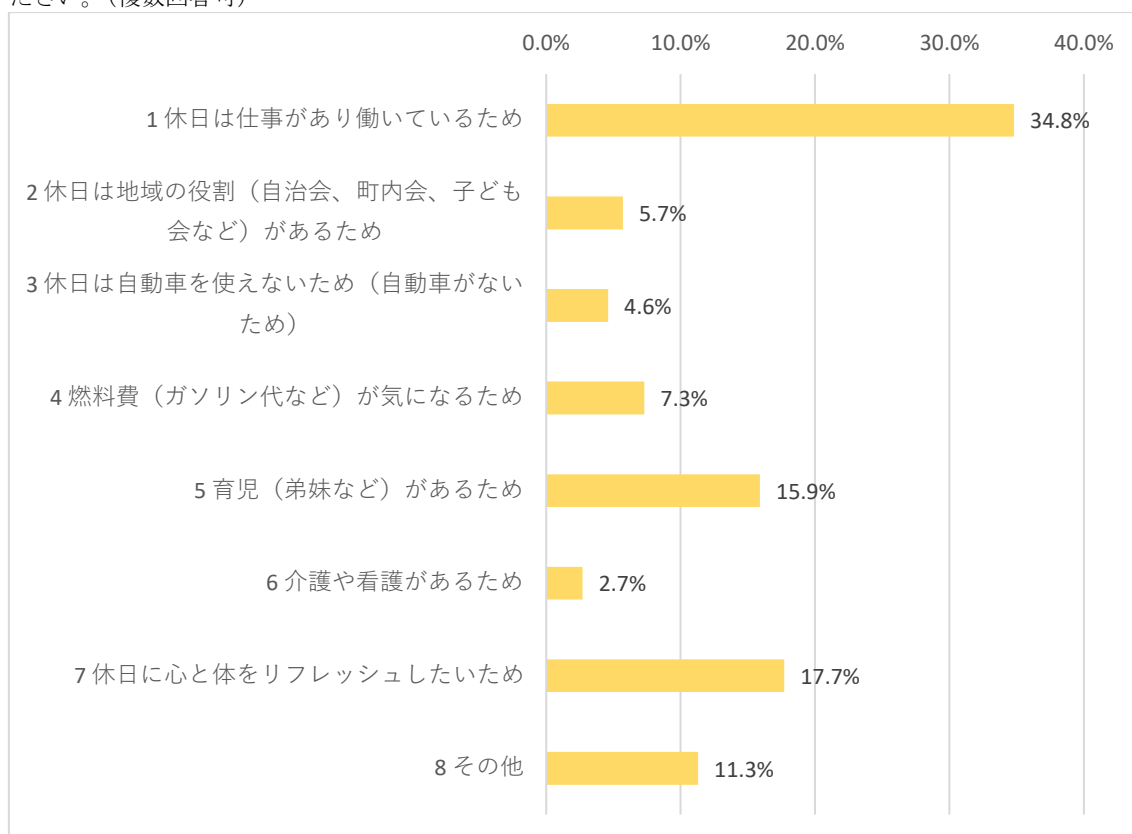
主な結果	
✓	休日の地域クラブ活動の会場までの送迎について尋ねたところ、75.3%の者が「送迎できる」「どちらかといえば送迎できる」と回答した。
✓	「送迎できない」「どちらかといえば送迎できない」と回答した 24.7%の者を対象として、この理由を尋ねたところ、「休日に仕事があり働いている」「休日に心と体をリフレッシュしたい」「育児（弟妹など）がある」の順で高い割合であった。

問 5-2 休日の活動場所が遠くなり、徒歩や自転車で活動場所まで行けない場合、送迎していただくことは可能ですか？



項目	<i>n</i>	%
1 送迎できる	278	21.7%
2 どちらかといえば送迎できる	688	53.6%
3 どちらかといえば送迎できない	226	17.6%
4 送迎できない	91	7.1%
合計	1283	100.0%

問6 問5-2で「送迎できない」「どちらかといえば送迎できない」を選択した理由を以下から選択してください。（複数回答可）



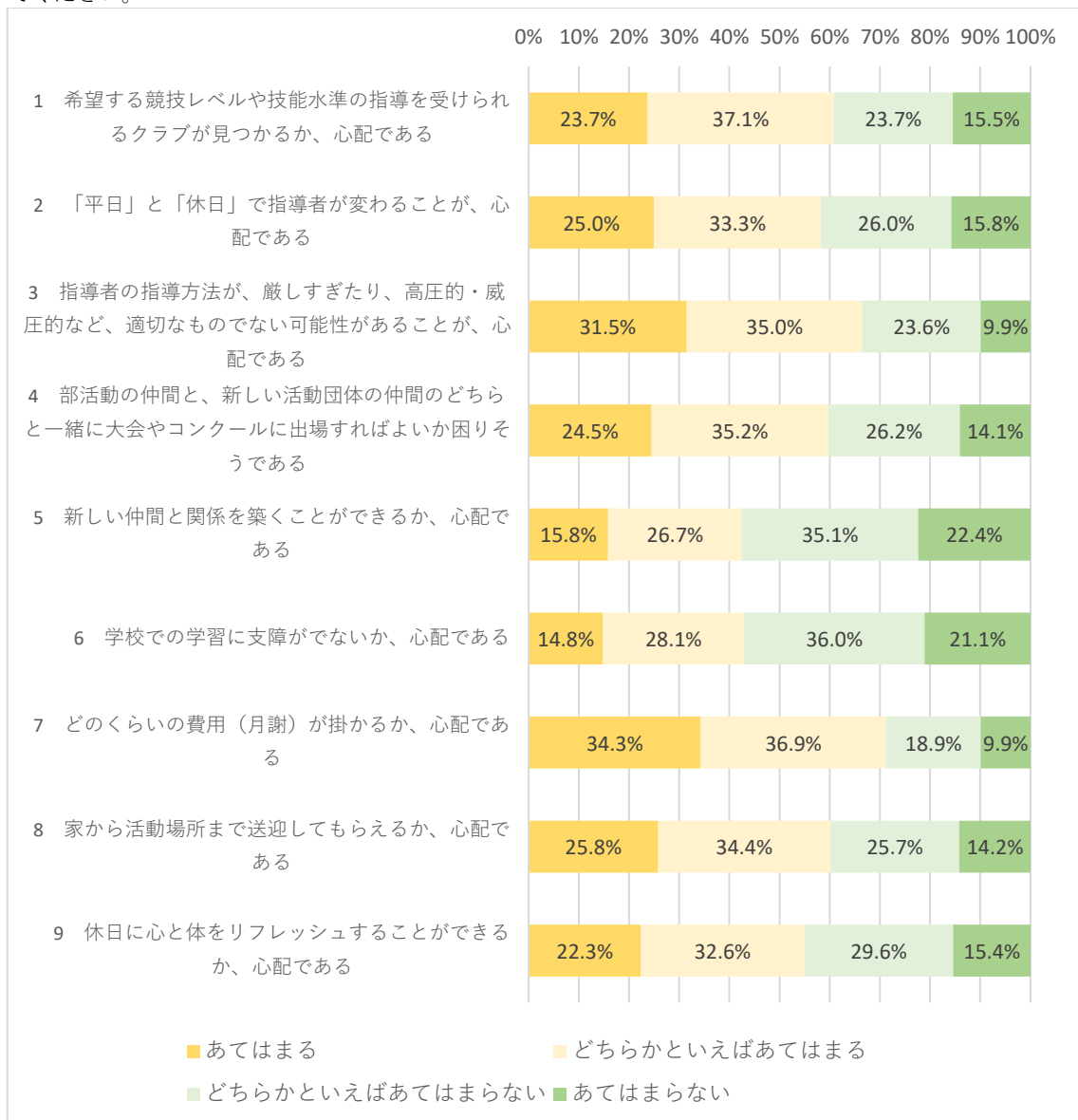
項目	n	%
1 休日は仕事があり働いているため	195	34.8%
2 休日は地域の役割（自治会、町内会、子ども会など）があるため	32	5.7%
3 休日は自動車を使えないため（自動車がないため）	26	4.6%
4 燃料費（ガソリン代など）が気になるため	41	7.3%
5 育児（弟妹など）があるため	89	15.9%
6 介護や看護があるため	15	2.7%
7 休日に心と体をリフレッシュしたいため	99	17.7%
8 その他	63	11.3%
合計	560	100.0%

注) 分析対象者は315名であった。

5 地域クラブ活動への加入に伴う心配

主な結果	
✓	地域クラブ活動への加入に伴う心配や不安としては、「どのくらいの費用（月謝）が掛かるか」「指導者の指導方法が、厳しすぎたり、高圧的・威圧的など、適切なものでない可能性があること」「希望する競技レベルや技能水準の指導を受けられるクラブが見つかるか」の順で「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合が高かった。

問7 令和7年度末を目途に、休日の部活動は、「学校」ではなく、「地域」が運営主体となります。このことについて、心配なことや不安なことはありますか？ 今のあなたの考えとして、あてはまるものを選んでください。



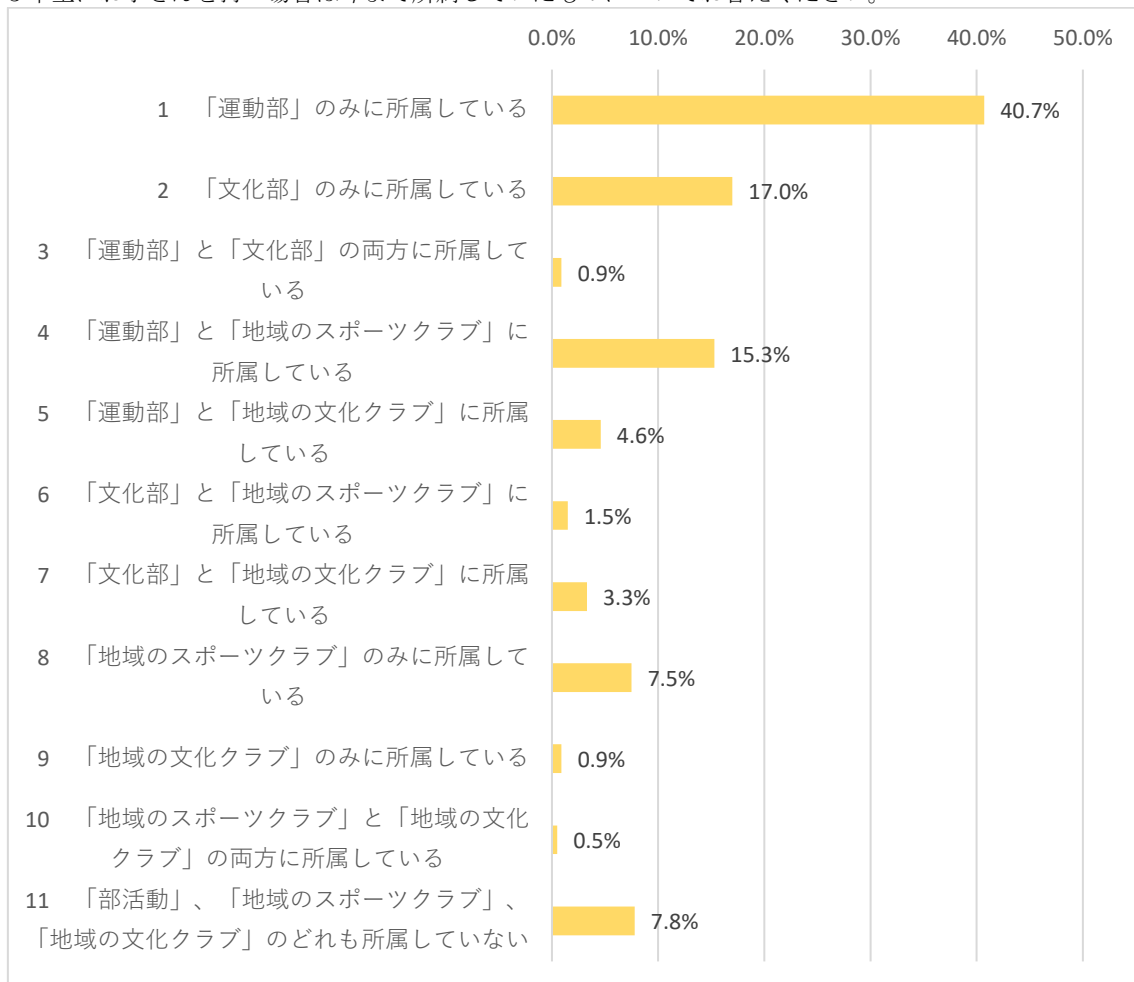
項目	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	合計
1 希望する競技レベルや技能水準の指導を受けられるクラブが見つかるか、心配である	298 23.7%	468 37.1%	299 23.7%	195 15.5%	1260 100.0%
2 「平日」と「休日」で指導者が変わることが、心配である	315 25.0%	420 33.3%	328 26.0%	199 15.8%	1262 100.0%
3 指導者の指導方法が、厳しすぎたり、高圧的・威圧的など、適切なものでない可能性があることが、心配である	399 31.5%	443 35.0%	298 23.6%	125 9.9%	1265 100.0%
4 部活動の仲間と、新しい活動団体の仲間のどちらと一緒に大会やコンクールに出場すればよいか困りそうである	308 24.5%	443 35.2%	329 26.2%	177 14.1%	1257 100.0%
5 新しい仲間と関係を築くことができるか、心配である	199 15.8%	336 26.7%	441 35.1%	282 22.4%	1258 100.0%
6 学校での学習に支障がでないか、心配である	186 14.8%	354 28.1%	453 36.0%	266 21.1%	1259 100.0%
7 どのくらいの費用（月謝）が掛かるか、心配である	435 34.3%	468 36.9%	240 18.9%	125 9.9%	1268 100.0%
8 家から活動場所まで送迎してもらえるか、心配である	326 25.8%	435 34.4%	325 25.7%	180 14.2%	1266 100.0%
9 休日に心と体をリフレッシュすることができるか、心配である	282 22.3%	413 32.6%	375 29.6%	195 15.4%	1265 100.0%

中学生保護者を対象とした調査の結果

1 地域クラブ活動への所属率と月謝及び年間の費用負担

主な結果	
✓	部活動に参加している者（地域クラブ活動との掛け持ちも含む）は 83.3%、地域クラブ活動に参加している者（部活動との掛け持ちも含む）は 33.6%であった。
✓	部活動にも地域クラブ活動にも参加していない者は 7.8%であった。
✓	部活動や地域クラブ活動の部費や月謝の平均は 3957.8 円であり、月謝以外の年間費用負担の平均は 25471.9 円であった。

問1 現在、あなたのお子さんは、学校の部活動や地域のクラブに所属していますか？なお、クラブは運動やスポーツだけでなく、ピアノや書道などの習い事を含めます。ただし、学習塾は除きます。なお、中学校3年生にお子さんを持つ場合は今まで所属していたものについてお答えください。



	項目	<i>n</i>	%
1	「運動部」のみに所属している	622	40.7%
2	「文化部」のみに所属している	260	17.0%
3	「運動部」と「文化部」の両方に所属している	14	0.9%
4	「運動部」と「地域のスポーツクラブ」に所属している	234	15.3%
5	「運動部」と「地域の文化クラブ」に所属している	70	4.6%
6	「文化部」と「地域のスポーツクラブ」に所属している	23	1.5%
7	「文化部」と「地域の文化クラブ」に所属している	51	3.3%
8	「地域のスポーツクラブ」のみに所属している	115	7.5%
9	「地域の文化クラブ」のみに所属している	14	0.9%
10	「地域のスポーツクラブ」と「地域の文化クラブ」の両方に所属している	7	0.5%
11	学校の「部活動」、「地域のスポーツクラブ」、「地域の文化クラブ」のどれも所属していない	119	7.8%
	合計	1529	100.0%

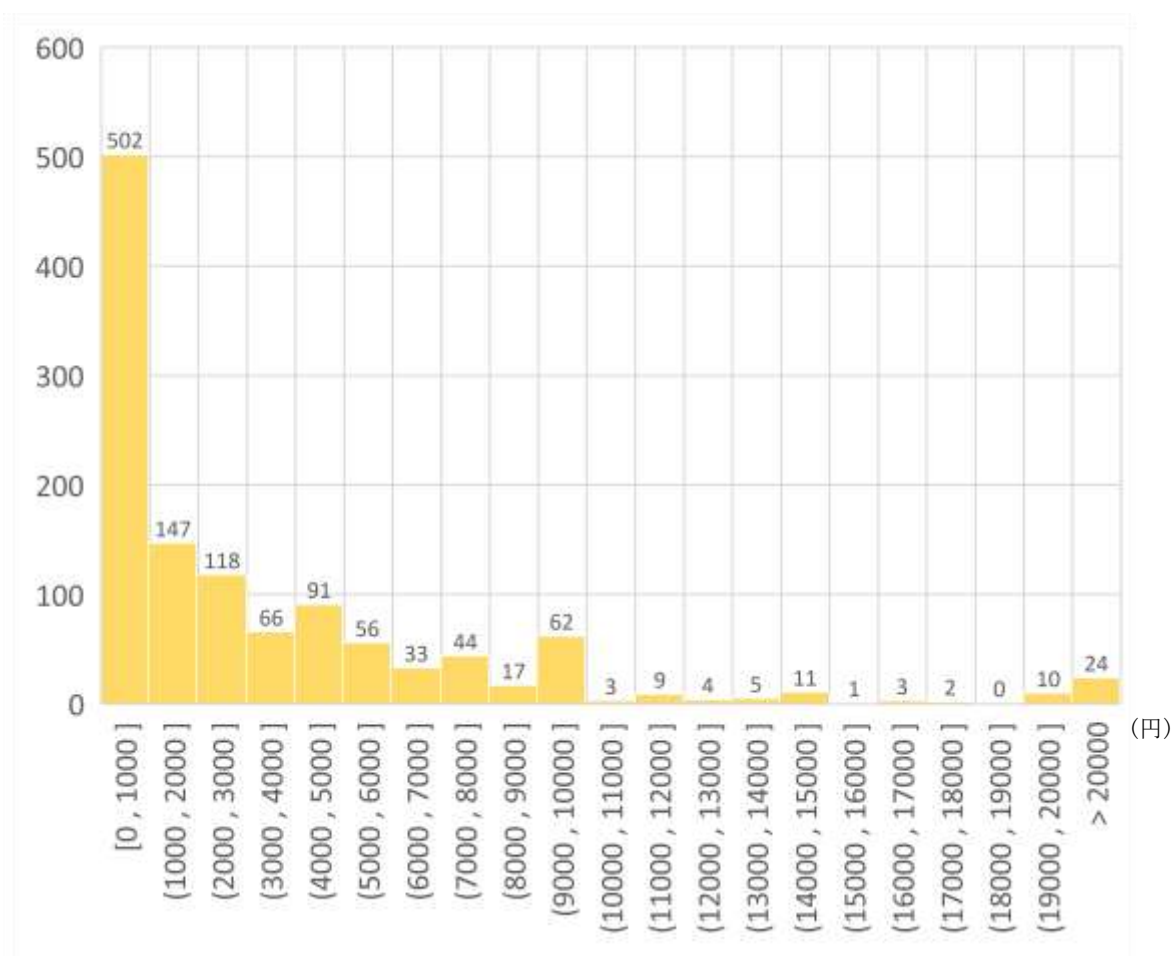
問2 問1で1から10のいずれかに回答した方にお尋ねします。
 お子さんが所属する部活動やクラブに支払っている部費や月謝はどの程度ですか？概数で構いませんので「〇〇〇円程度」とお教えてください。

部活動やクラブを掛け持ちして所属している場合は、最も高い支払い部費や月謝についてご回答ください。
 (円)

基礎統計量	
平均値	3,957.8
標準偏差	6,257.1
中央値	2,000
最小値	0
最大値	100,000

注1) 分析対象者は1208名であった。

注2) 年間の金額が記載された回答は12を除くことで月単位に算出し、月謝の範囲が記載された回答は平均値（例えば月謝は2,000円から4,000円と記載の場合は3,000円）を算出して代入した。



中学生保護者が部活動やクラブに支払う月謝の度数分布

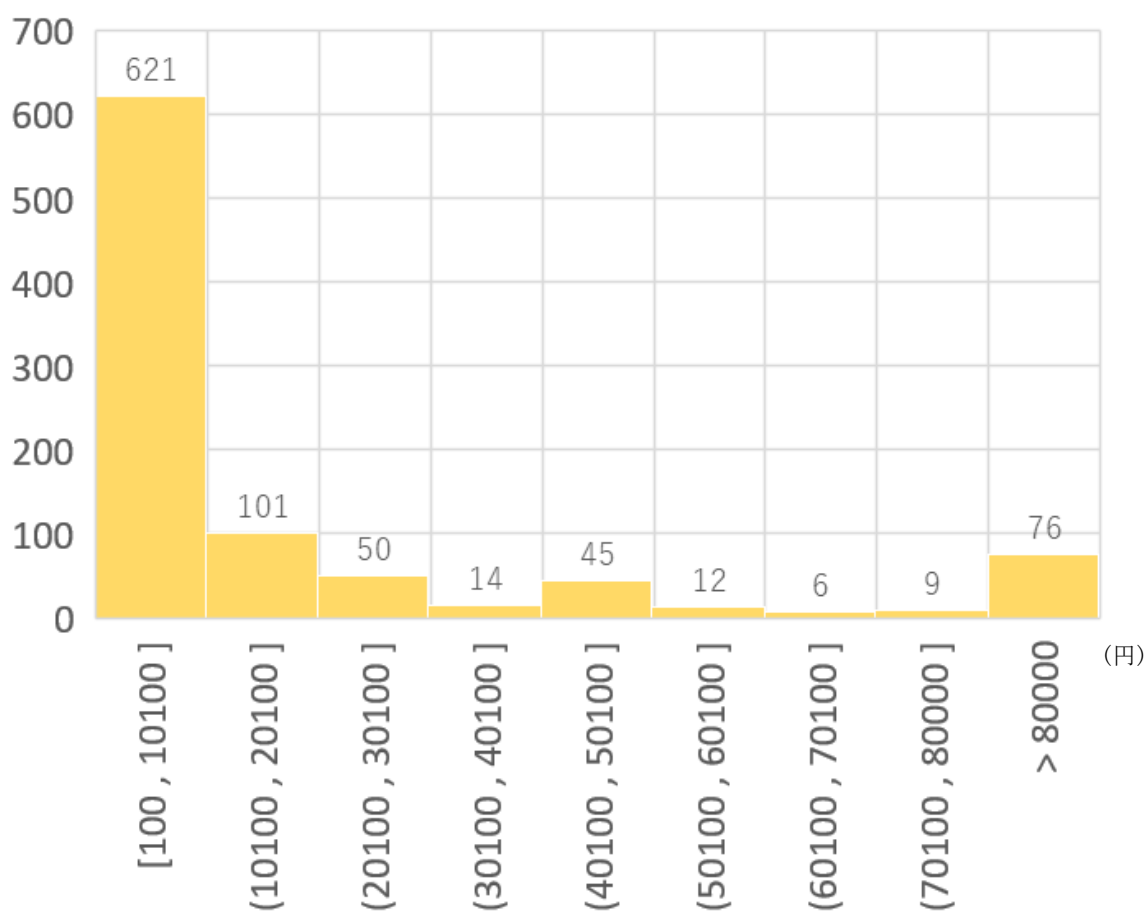
問3 月謝以外に支払っている年間の費用負担（例：光熱費、大会・コンクール参加代、遠征代などの諸経費）は、どの程度ですか？ 概数で構いませんので「〇〇〇円程度」とお教えてください。

(円)

基礎統計量	
平均値	25,471.9
標準偏差	60,264.9
中央値	6,000
最小値	100
最大値	900,000

注1) 分析対象者は934名（記入漏れ記入ミスを除く）であった。

注2) 年間の費用負担の範囲が記載された回答は平均値（例えば月謝は2,000円から4,000円と記載の場合は3,000円）を算出して代入した。



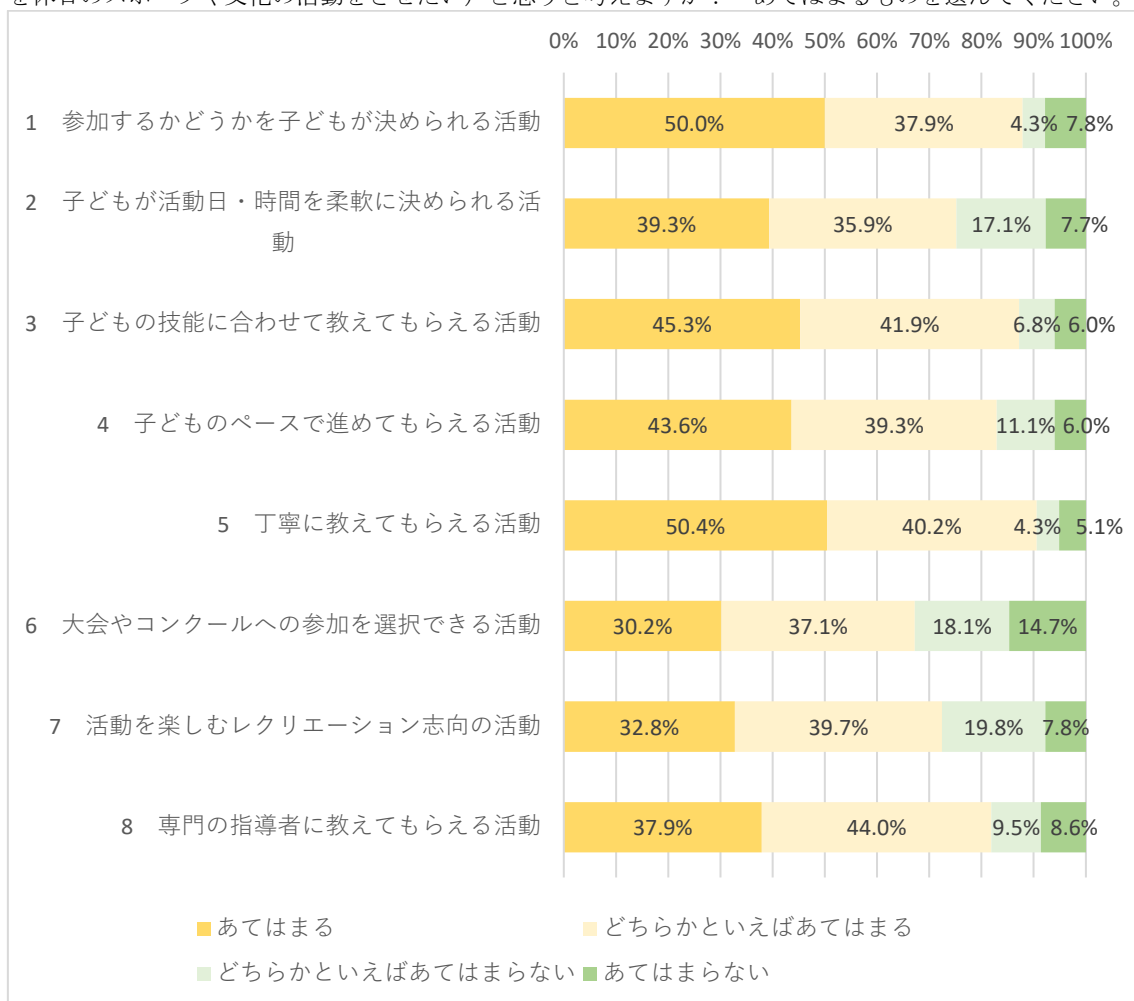
中学生保護者が部活動やクラブに支払う年間費用負担の度数分布

2 スポーツ・文化活動に所属していない者が活動に望むこと

主な結果	
✓	お子さんが「部活動、地域のスポーツクラブ、地域の文化クラブのどれも所属していない」と回答した保護者を対象として、どのような活動であれば、お子さんが休日のスポーツや文化の活動をしたと思うかを尋ねたところ、「丁寧に教えてもらえる活動」「参加するかどうかを子どもが決められる活動」「子どもの技能に合わせて教えてもらえる活動」の順で「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合が高かった。

問4 問1で11と回答した方にお尋ねします。

令和7年度末を目途に、休日の部活動は、「学校」ではなく、「地域」が運営主体となります。あなたのお子さんが、休日に地域が運営するスポーツや文化の活動を行うことを想像し、質問にご回答ください。どのような活動であれば、あなたのお子さんは休日のスポーツや文化の活動をしたい（あなたのお子さんを休日のスポーツや文化の活動をさせたい）と思うと考えますか？ あてはまるものを選んでください。



項目	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	合計
1 参加するかどうかを子どもが決められる活動	58 50.0%	44 37.9%	5 4.3%	9 7.8%	58 50.0%
2 子どもが活動日・時間を柔軟に決められる活動	46 39.3%	42 35.9%	20 17.1%	9 7.7%	46 39.3%
3 子どもの技能に合わせて教えてもらえる活動	53 45.3%	49 41.9%	8 6.8%	7 6.0%	53 45.3%
4 子どものペースで進めてもらえる活動	51 43.6%	46 39.3%	13 11.1%	7 6.0%	51 43.6%
5 丁寧に教えてもらえる活動	59 50.4%	47 40.2%	5 4.3%	6 5.1%	59 50.4%
6 大会やコンクールへの参加を選択できる活動	35 30.2%	43 37.1%	21 18.1%	17 14.7%	35 30.2%
7 活動を楽しむことを大切にしたレクリエーション志向の活動	38 32.8%	46 39.7%	23 19.8%	9 7.8%	38 32.8%
8 専門の指導者に教えてもらえる活動	44 37.9%	51 44.0%	11 9.5%	10 8.6%	44 37.9%

3 地域クラブ活動に移行した場合の月謝の許容額

主な結果	
✓	移行後の地域クラブ活動に対して月謝を支払う場合、許容される金額は、平均 3605.6 円であった。実際に支払っている部費や月謝の平均値（3957.8 円）からは、352.2 円低い値であった。

問 5 令和 7 年度末を目途に、休日の部活動は、「学校」ではなく、「地域」が運営主体となります。あなたのお子さんが、休日に地域が運営するスポーツや文化の活動を行うことを想像し、質問にご回答ください。なお、中学校 3 年生にお子さんを持つ保護者の皆さんは、ここは回答不要です。飛ばしてください。

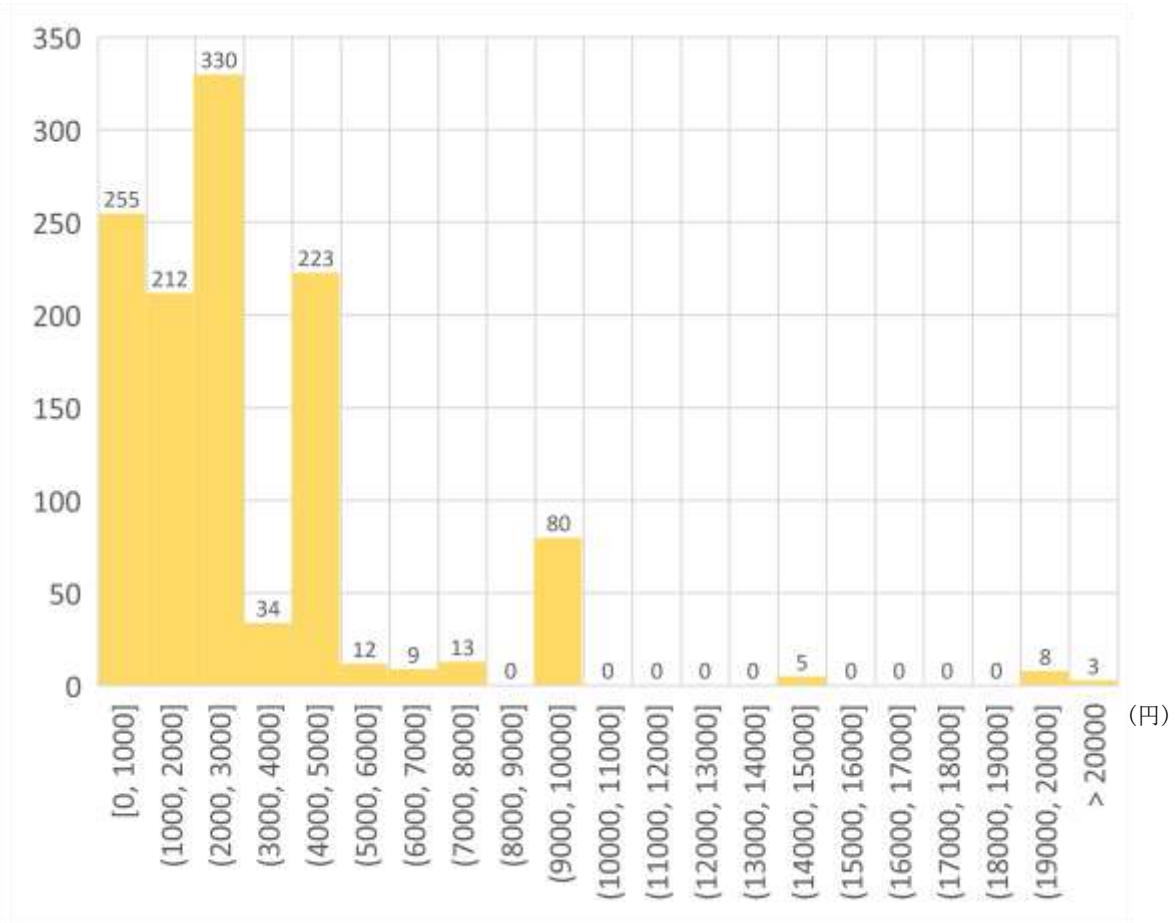
問 5-1 月謝はいくらまでであれば許容できますか？（〇〇〇円程度とおおよそで構いません

(円)

基礎統計量	
平均値	3,605.6
標準偏差	3,507.8
中央値	3,000
最小値	0
最大値	50,000

注 1) 分析対象者は 1184 名であった。

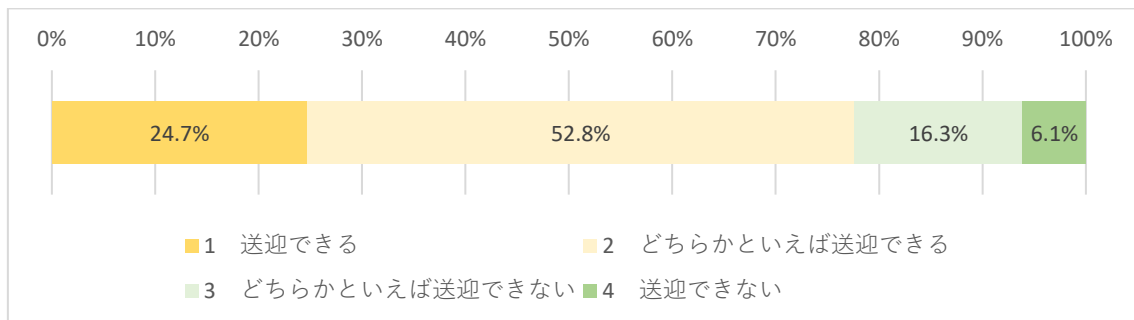
注 2) 年間の金額が記載された回答は 12 を除すことで月単位に算出し、月謝の範囲が記載された回答は平均値（例えば月謝は 2000 円から 4000 円と記載の場合は 3000 円）を算出して代入した。



4 地域クラブ活動への送迎

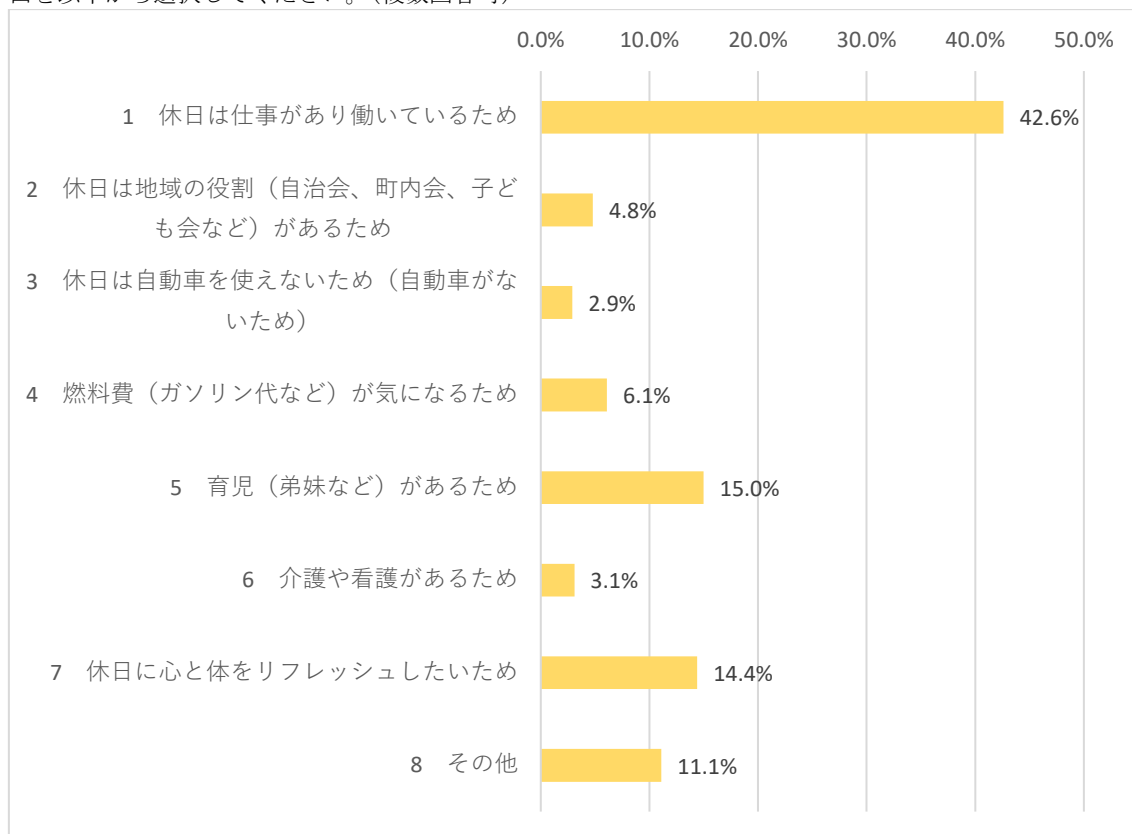
主な結果	
✓	休日の地域クラブ活動の会場までの送迎について尋ねたところ、77.5%の者が「送迎できる」「どちらかといえば送迎できる」と回答した。
✓	「送迎できない」「どちらかといえば送迎できない」と回答した 22.4%の者を対象として、この理由を尋ねたところ、「休日に仕事があり働いている」「育児（弟妹など）がある」「休日に心と体をリフレッシュしたい」の順で高い割合であった。

問 5-2 休日の活動場所が遠くなり、徒歩や自転車で活動場所まで行けない場合、送迎していただくことは可能ですか？



項目	<i>n</i>	%
1 送迎できる	336	24.7%
2 どちらかといえば送迎できる	718	52.8%
3 どちらかといえば送迎できない	222	16.3%
4 送迎できない	83	6.1%
合計	1,359	100.0%

問6 問5-2で「送迎できない」「どちらかといえば送迎できない」を選択した方におききます。その理由を以下から選択してください。（複数回答可）



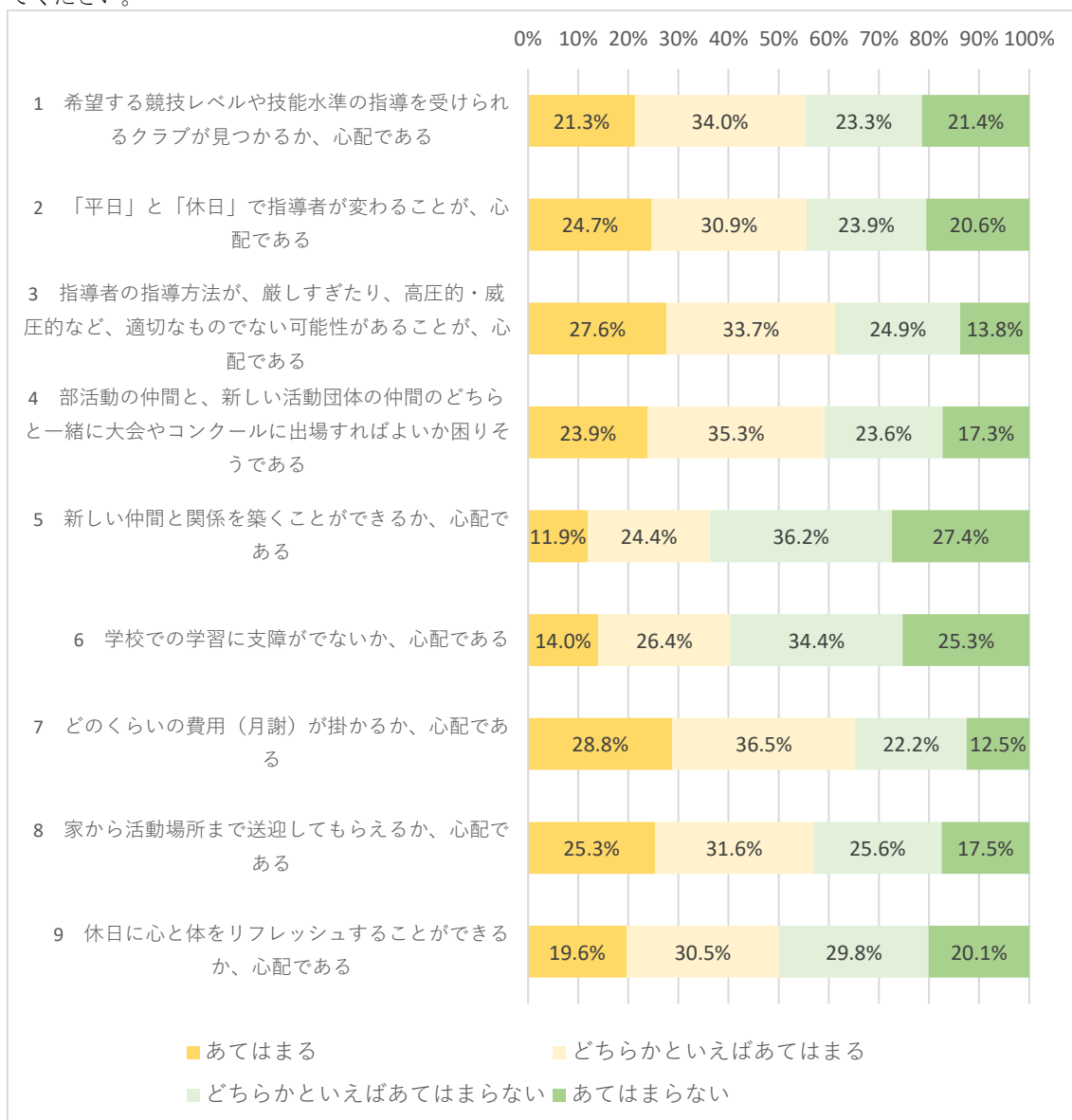
項目	n	%
1 休日は仕事があり働いているため	204	42.6%
2 休日は地域の役割（自治会、町内会、子ども会など）があるため	23	4.8%
3 休日は自動車を使えないため（自動車がなかったため）	14	2.9%
4 燃料費（ガソリン代など）が気になるため	29	6.1%
5 育児（弟妹など）があるため	72	15.0%
6 介護や看護があるため	15	3.1%
7 休日に心と体をリフレッシュしたいため	69	14.4%
8 その他	53	11.1%
合計	479	100.0%

注) 分析対象者は303名であった。

5 地域クラブ活動への加入に伴う心配

主な結果	
✓	地域クラブ活動への加入に伴う心配や不安としては、「どのくらいの費用（月謝）が掛かるか」「指導者の指導方法が、厳しすぎたり、高圧的・威圧的など、適切なものでない可能性があること」「部活動の仲間と、新しい活動団体の仲間のどちらと一緒に大会やコンクールに出場すればよいか」の順で「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合が高かった。

問7 令和7年度末を目途に、休日の部活動は、「学校」ではなく、「地域」が運営主体となります。このことについて、心配なことや不安なことはありますか？ 今のあなたの考えとして、あてはまる数字を選んでください。



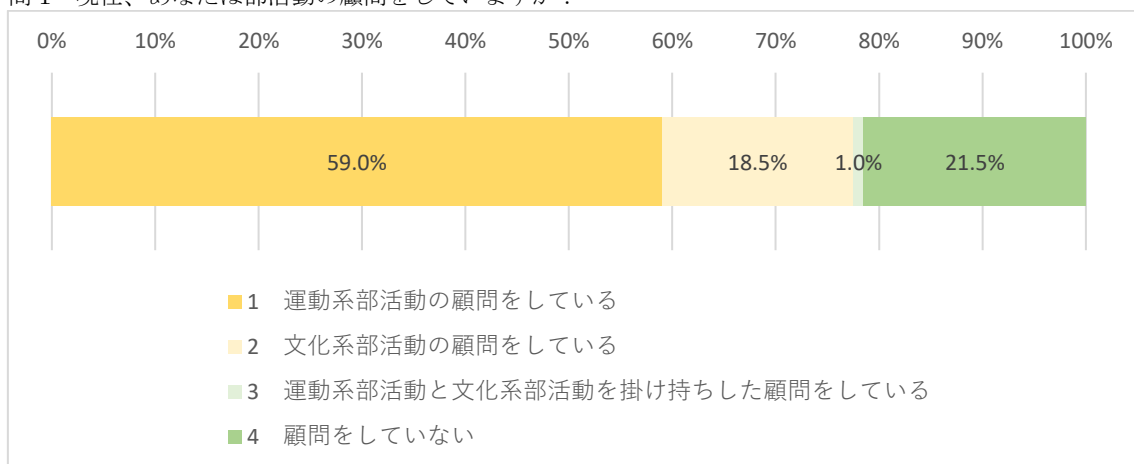
項目	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	合計
1 希望する競技レベルや技能水準の指導を受けられるクラブが見つかるか、心配である	311 21.3%	496 34.0%	340 23.3%	312 21.4%	1459 100.0%
2 「平日」と「休日」で指導者が変わることが、心配である	361 24.7%	452 30.9%	350 23.9%	301 20.6%	1464 100.0%
3 指導者の指導方法が、厳しすぎたり、高圧的・威圧的など、適切なものでない可能性があることが、心配である	404 27.6%	494 33.7%	365 24.9%	203 13.8%	1466 100.0%
4 部活動の仲間と、新しい活動団体の仲間のどちらと一緒に大会やコンクールに出場すればよいか困りそうである	349 23.9%	516 35.3%	345 23.6%	253 17.3%	1463 100.0%
5 新しい仲間と関係を築くことができるか、心配である	175 11.9%	358 24.4%	531 36.2%	401 27.4%	1465 100.0%
6 学校での学習に支障がでないか、心配である	204 14.0%	384 26.4%	501 34.4%	368 25.3%	1457 100.0%
7 どのくらいの費用（月謝）が掛かるか、心配である	421 28.8%	534 36.5%	324 22.2%	183 12.5%	1462 100.0%
8 家から活動場所まで送迎してもらえるか、心配である	371 25.3%	463 31.6%	376 25.6%	256 17.5%	1466 100.0%
9 休日に心と体をリフレッシュすることができるか、心配である	286 19.6%	446 30.5%	436 29.8%	293 20.1%	1461 100.0%

中学校教員を対象とした調査の結果

1 部活動顧問の割合、指導者資格や指導経験の有無、休日部活動の負担感

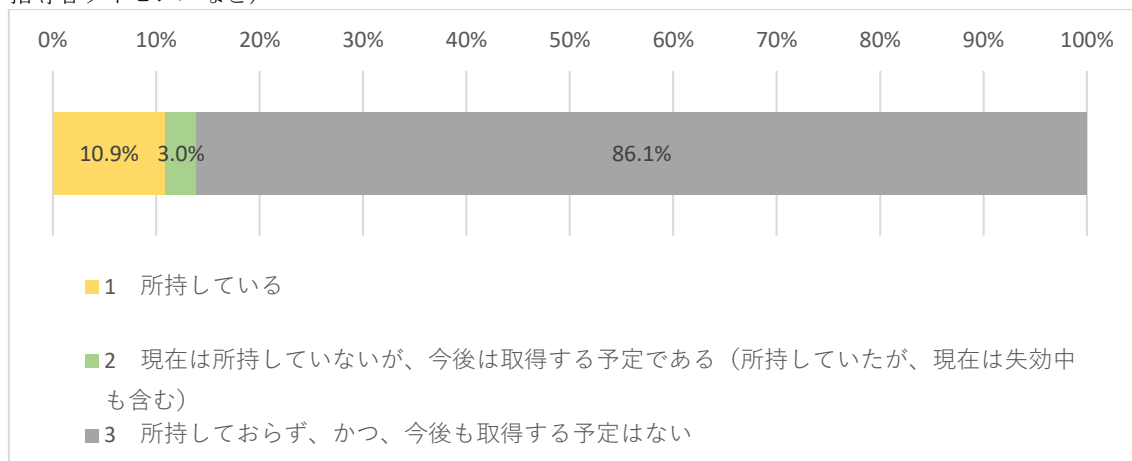
主な結果	
✓	本調査に回答した教員のうち78.5%の者が部活動の顧問を担当していた。
✓	指導者資格について、「所持している」と回答した者は10.9%であった。
✓	担当している部活動の種目について、「顧問になる以前から経験している」と回答した者は45.6%であった。
✓	休日の部活動指導に対して、77.1%の者は「負担である」「どちらかといえば負担である」であった。
✓	この負担感は、時間的拘束、育児との両立困難、休養時間の減少、家族との過ごす時間の減少などが挙げられた。

問1 現在、あなたは部活動の顧問をしていますか？



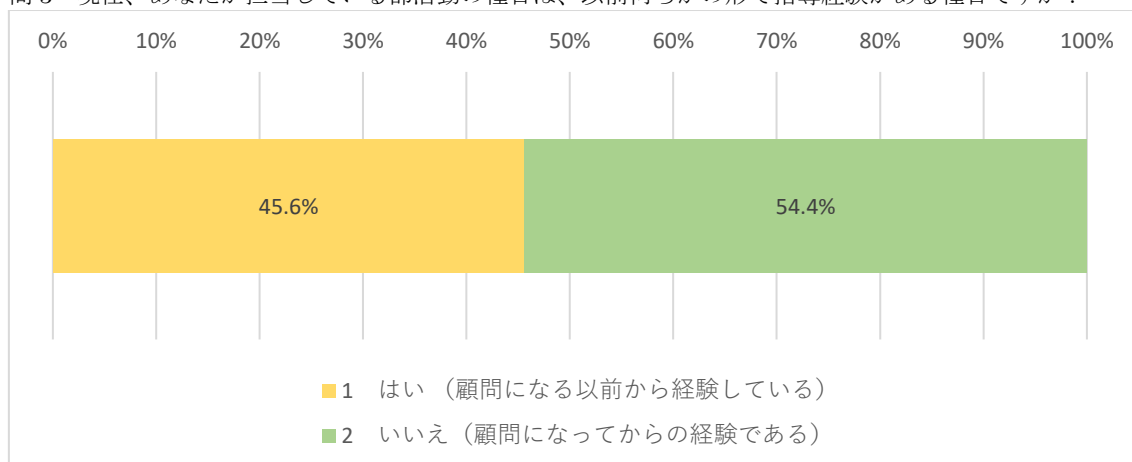
項目	n	%
1 運動系部活動の顧問をしている	121	59.0%
2 文化系部活動の顧問をしている	38	18.5%
3 運動系部活動と文化系部活動を掛け持ちした顧問をしている	2	1.0%
4 顧問をしていない	44	21.5%
合計	205	100.0%

問2 現在、あなたは協会等による指導者資格を所持していますか？（たとえば、日本サッカー協会による指導者ライセンスなど）



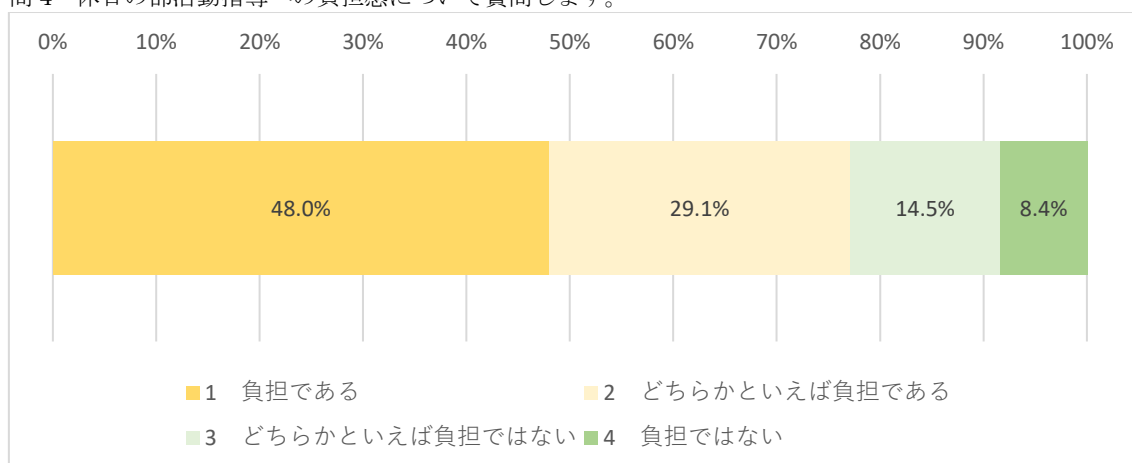
項目	n	%
1 所持している	22	10.9%
2 現在は所持していないが、今後は取得する予定である（所持していたが、現在は失効中も含む）	6	3.0%
3 所持しておらず、かつ、今後も取得する予定はない	173	86.1%
合計	201	100.0%

問3 現在、あなたが担当している部活動の種目は、以前何らかの形で指導経験がある種目ですか？



項目	n	%
1 はい（顧問になる以前から経験している）	78	45.6%
2 いいえ（顧問になってからの経験である）	93	54.4%
合計	171	100.0%

問4 休日の部活動指導への負担感について質問します。



項目	n	%
1 負担である	86	48.0%
2 どちらかといえば負担である	52	29.1%
3 どちらかといえば負担ではない	26	14.5%
4 負担ではない	15	8.4%
合計	179	100.0%

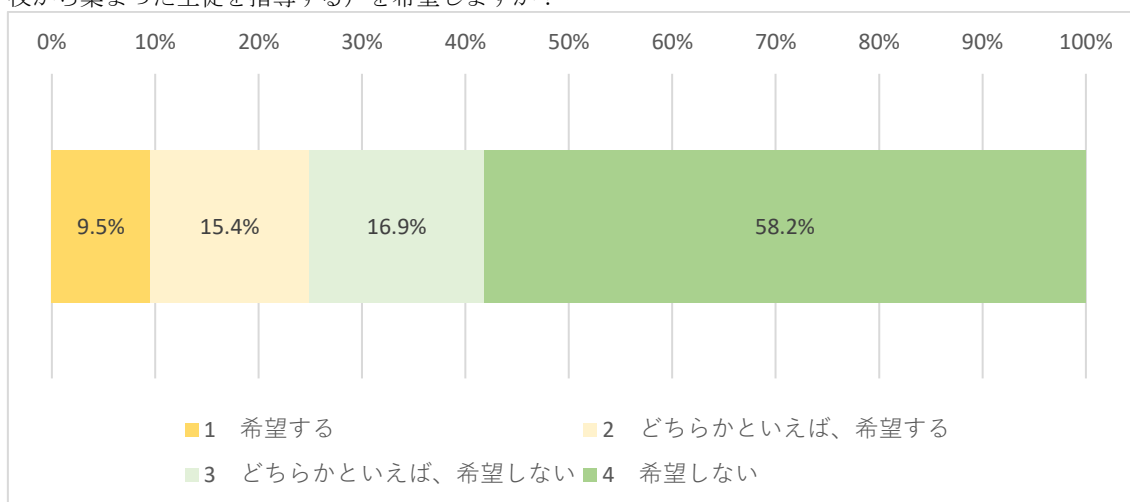
問5 負担の理由を教えてください。(自由記述)

主な回答
心身をリフレッシュする時間を確保できない プライベートの時間を取ることができない 育児や介護などを行えないため家庭に影響がでる 土日に行われる大会の引率や運営が負担である 大会シーズンとなると土日が数週間つぶれる 労働時間に対する手当が少なすぎる 専門的な技術指導や審判ができない 保護者対応が負担である 学校外の会場での活動が負担である 練習や試合などで拘束時間が長すぎる 活動場所までの距離が長い 平日できない校務や教材研究の時間が取れない 急な用事でさえ自由に使えない 実質主顧問が部活動の運営を行うため負担である 本来休日であるべき(勤務日ではない)日に指導に当たること自体が負担である

2 休日の地域クラブ活動の指導希望

主な結果	
✓	休日の地域クラブ活動の指導について、「希望する」「どちらかといえば希望する」と回答した者は 24.9%であった。
✓	指導を希望する理由としては、専門性を生かしたい、子どもの育成に関わりたいなどが挙げられた。
✓	指導を希望する種目は、「テニス・ソフトテニス」「バスケットボール」「サッカー」の順に多かった。
✓	指導を希望する地区は、松本市が多かった。
✓	休日の地域クラブ活動の指導について、指導を「希望しない」「どちらかといえば希望しない」と回答した理由は、「家族との時間を大切にしたい」「家庭の事情（育児、看護、介護等）がある」「自分の時間を大切にしたい」の順に高い割合であった。
✓	指導を希望しないとする者でも、1時間 1500 円以上の報酬を得られれば指導に携わるとする割合が高かった。

問6 今後、兼職兼業が認められた場合は、自身の専門性を生かして、地域のスポーツや文化の活動の指導等を行うことができる見込みです。あなたは、休日のスポーツ・文化の活動の指導（ある施設に複数の学校から集まった生徒を指導する）を希望しますか？

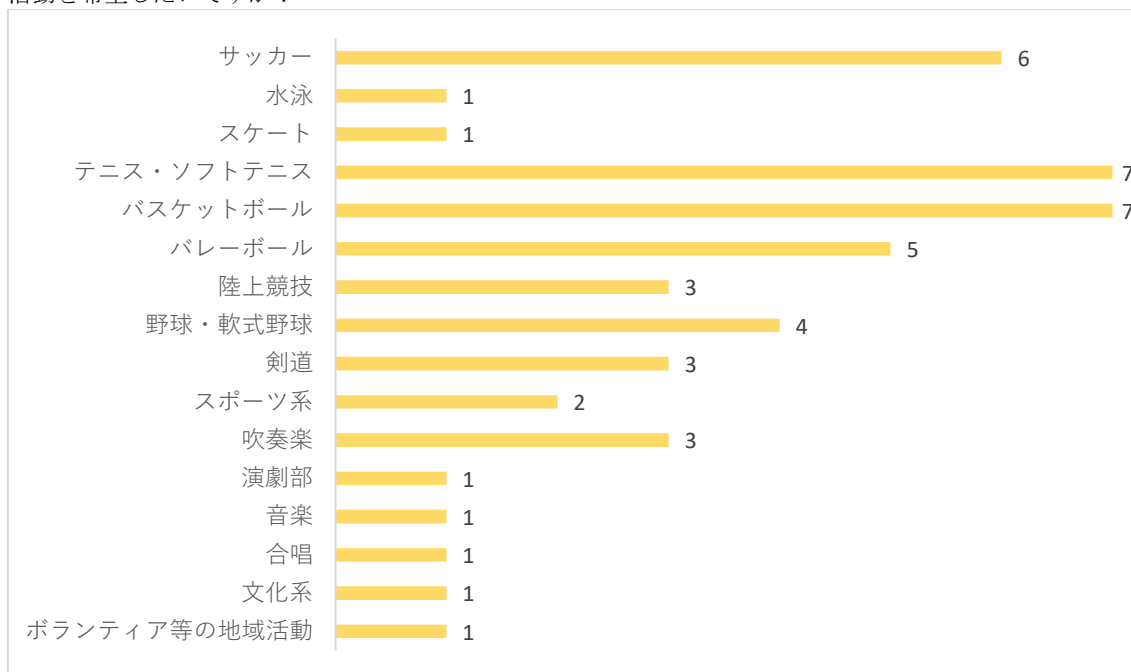


項目	n	%
1 希望する	19	9.5%
2 どちらかといえば希望する	31	15.4%
3 どちらかといえば希望しない	34	16.9%
4 希望しない	117	58.2%
合計	201	100.0%

問 7-1 問 6 で「希望する」「どちらかといえば希望する」と回答した方にお尋ねします。希望する理由を教えてください。(自由記述)

主な回答
学校全体の活気に好影響だから 種目に魅力を感じており、普及を図りたいから 指導の専門性を生かしたいから 専門の指導が好きだから 自分の生活の充実に繋がるから 生徒の成長する姿を見たいから 生徒と関わっていたいから 生徒が一生懸命に取り組む環境を整えたいから

問 7-2 問 6 で「希望する」「どちらかといえば希望する」と回答した方にお尋ねします。どのような種目・活動を希望したいですか？

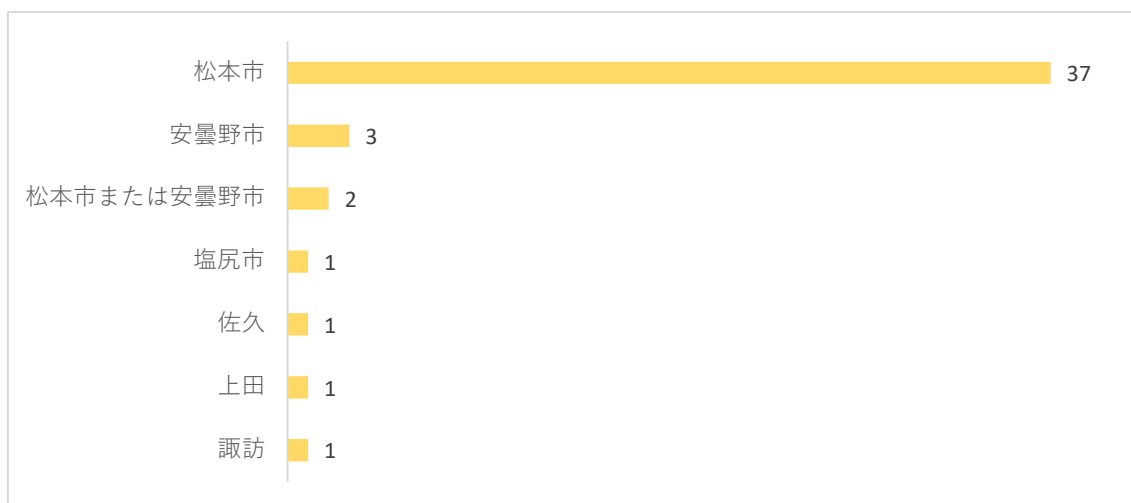


種目・活動	n
サッカー	6
水泳	1
スケート	1
テニス・ソフトテニス	7
バスケットボール	7
バレーボール	5
陸上競技	3
野球・軟式野球	4
剣道	3
スポーツ系	2
吹奏楽	3
演劇部	1
音楽	1
合唱	1
文化系	1
ボランティア等の地域活動	1
合計	47

注 1) 分析対象者は 46 名（具体的な種目の記載のない 1 名の回答を除外した）であった。

注 2) 1 名につき 2 種目を回答した種目や活動を含む。

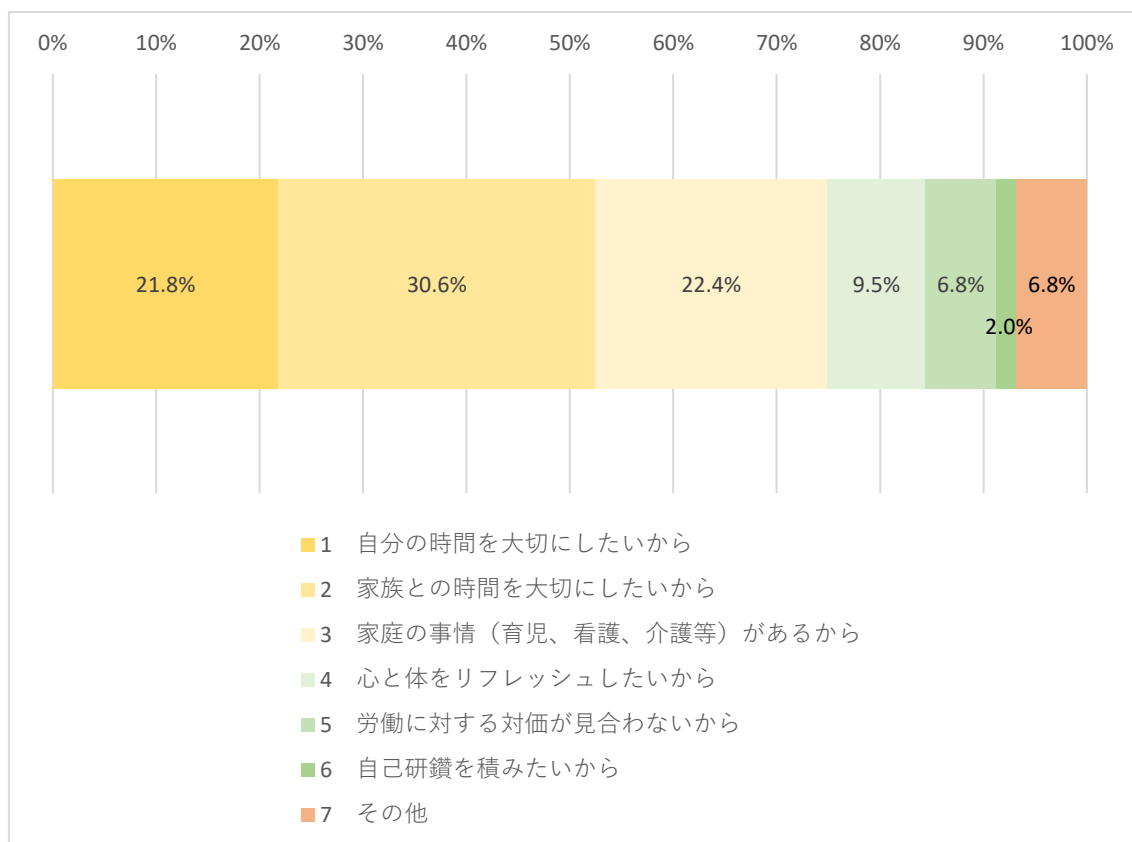
問 7-3 問 6 で「希望する」「どちらかといえば希望する」と回答した方にお尋ねします。指導を希望する場合、その地区はどこですか？ 松本市以外の場合は、市町村名を記入してください。



地区	n
松本市	37
安曇野市	3
松本市または安曇野市	2
塩尻市	1
佐久	1
上田	1
諏訪	1
合計	46

注 1) 分析対象者は 46 名（具体的な地区の記載のない 3 名の回答を除外した）。

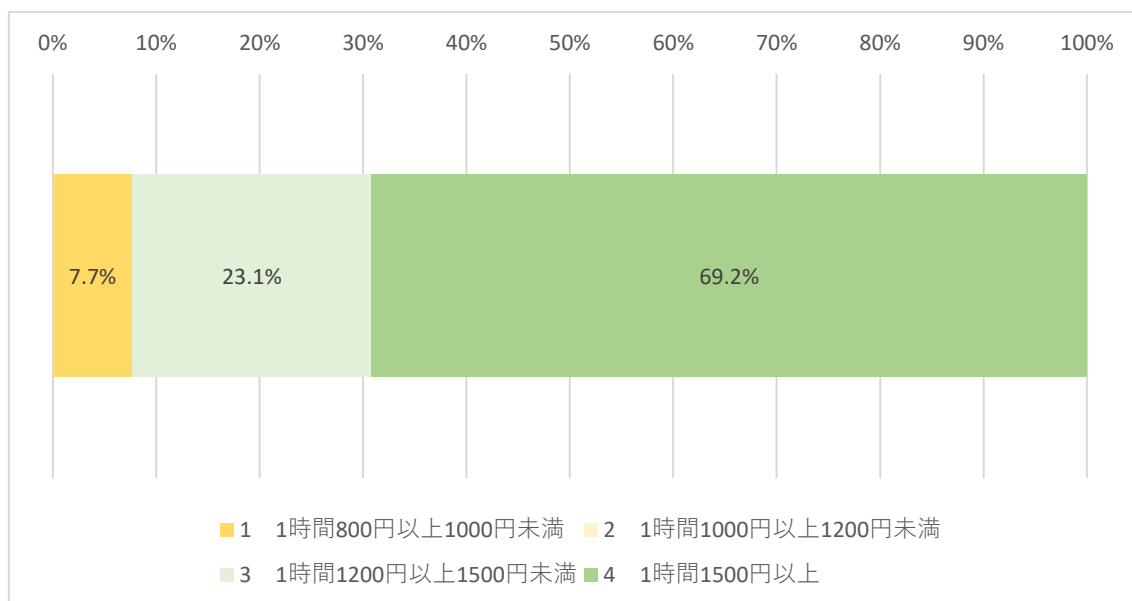
問8 問6で「希望しない」「どちらかといえば希望しない」と回答した方にお尋ねします。希望しない理由は何ですか？ 最も当てはまるものを1つ選んでください。



項目	n	%
1 自分の時間を大切にしたいから	32	21.8%
2 家族との時間を大切にしたいから	45	30.6%
3 家庭の事情（育児、看護、介護等）があるから	33	22.4%
4 心と体をリフレッシュしたいから	14	9.5%
5 労働に対する対価が見合わないから	10	6.8%
6 自己研鑽を積みたいから	3	2.0%
7 その他	10	6.8%
合計	147	100.0%

注) 「7 その他」の理由としては、①指導技術が無い、②授業準備や教科の専門性を高めるための時間に充てたい、③休日を仕事の時間に充てたい、④教えられる種目が無いといった理由が挙げられた。

問 8 問 6 で「希望しない」「どちらかといえば希望しない」と回答した方にお尋ねします。どのくらいの報酬であれば、指導に携わりたいと思いますか？

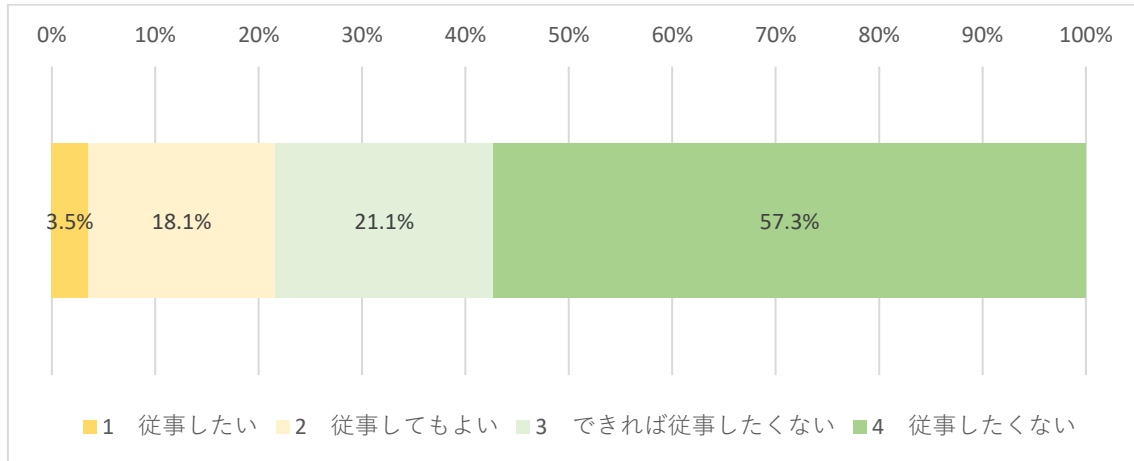


項目	n	%
1 1時間 800 円以上 1000 円未満	1	7.7%
2 1時間 1000 円以上 1200 円未満	0	0.0%
3 1時間 1200 円以上 1500 円未満	3	23.1%
4 1時間 1500 円以上	9	69.2%
合計	13	100.0%

3 休日の大会運営への従事希望

主な結果	
✓	休日の大会運営について、審判員として「従事したい」「従事してもよい」と回答した者は21.6%であった。

問9 休日の中体連、協会、および連盟主催の大会等の運営について、審判員等の運営者として従事したいですか？

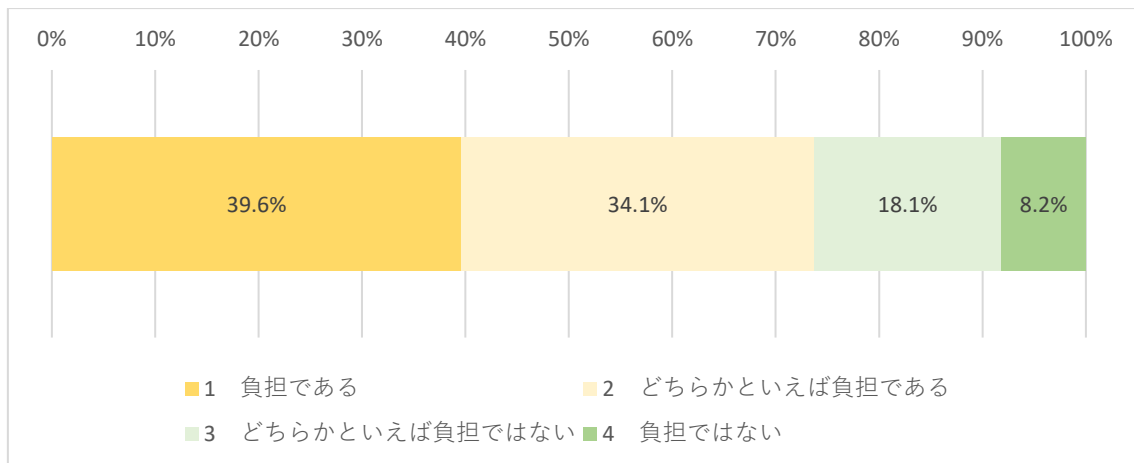


項目	<i>n</i>	%
1 従事したい	7	3.5%
2 従事してもよい	36	18.1%
3 できれば従事したくない	42	21.1%
4 従事したくない	114	57.3%
合計	199	100.0%

4 平日部活動に対する負担感

主な結果	
✓	平日の部活動指導に対して、「負担である」「どちらかといえば負担である」と回答した者は73.7%であった。
✓	この負担感の理由として、帰宅時間の遅延、専門外の種目指導などが挙げられた。

問 10 平日の部活動指導への負担感について質問します。



項目	<i>n</i>	%
1 負担である	72	39.6%
2 どちらかといえば負担である	62	34.1%
3 どちらかといえば負担ではない	33	18.1%
4 負担ではない	15	8.2%
合計	182	100.0%

問 11 問 10 で「負担である」「どちらかといえば負担である」と回答した方にお尋ねします。負担の理由を教えてください。(自由記述)

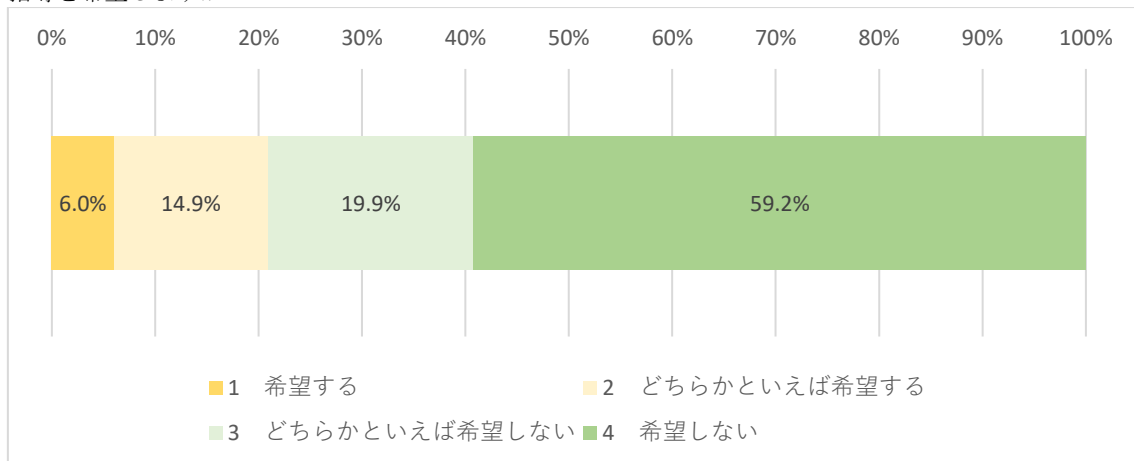
主な回答
部活動後に校務を行うため拘束時間が長く帰宅時間が遅くなる(平日の 18 時 30 分まで部活動がある) 専門的な技術指導や審判を行うことが負担である 勤務時間外に部活動を行っているにも関わらず手当は一切出ない 部活動後によりやく授業準備、教材研究、生徒や保護者対応を行い、できない仕事は持ち帰りとなる 進路指導や生徒会など生徒のために行きことに時間が割けない 部活動で帰宅時間が遅くなり、翌日まで疲労が蓄積する 勤務時間外の業務が負担である 勤務時間外に生徒指導などで部活動には不在時に事故等が起こる責任まで取ることが負担である 勤務時間外に実施される部活動により育児等で家庭に影響がでる(保育園の迎えなど) 授業準備や学級事務があるなかで部活動の終了時間がすでに勤務時間または勤務時間外である ワークライフバランスは崩れている 怪我の予防や生徒指導を考えて部活動を優先するため授業準備等ができない 心身ともにリフレッシュできないから 顧問の主担当であることで負担を多く受けている不公平感がある 夏は夜遅くまで、冬は朝早くから時間外勤務のボランティアをする

注) 分析対象者は 127 名であった。

5 平日の地域クラブ活動の指導希望

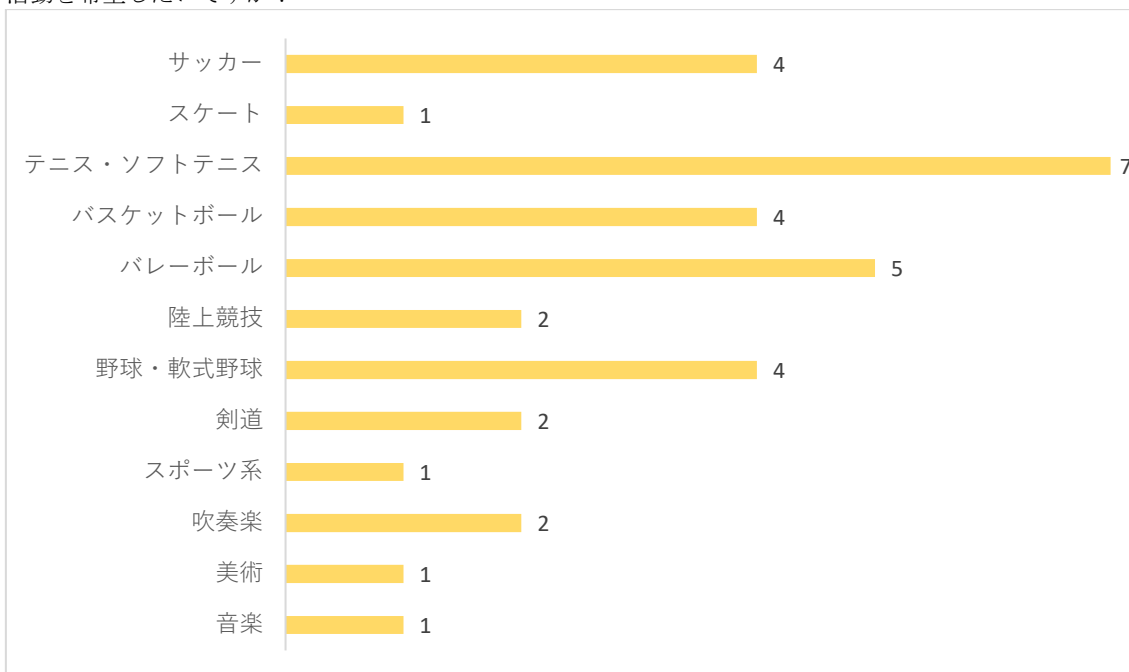
主な結果	
✓	平日の地域クラブ活動の指導について、「希望する」「どちらかといえば希望する」と回答した者は 20.9%であった。
✓	指導を希望する種目は、「テニス・ソフトテニス」「バレーボール」の順に多かった。
✓	指導を希望する地区は、松本市が多かった。
✓	平日の地域クラブ活動の指導について、指導を「希望しない」「どちらかといえば希望しない」と回答した理由は、「家族との時間を大切にしたい」「家庭の事情（育児、看護、介護等）がある」「自分の時間を大切にしたい」の順に高い割合であった。
✓	指導を希望しないとする者でも、1時間 1500 円以上の報酬を得られれば指導に携わるとする割合が高かった。

問 12 令和 7 年度末を目途に、休日の部活動は、「学校」ではなく、「地域」が運営主体となります。また令和 8 年度以降は、平日の部活動についても、地域が運営主体となることが想定されています。このことを想像し、質問にご回答ください。あなたは、平日の勤務時間外で行われる、地域のスポーツ・文化活動の指導を希望しますか？



項目	n	%
1 希望する	12	6.0%
2 どちらかといえば希望する	30	14.9%
3 どちらかといえば希望しない	40	19.9%
4 希望しない	119	59.2%
合計	201	100.0%

問13 問10で「希望する」「どちらかといえば希望する」と回答した方にお尋ねします。どのような種目・活動を希望したいですか？

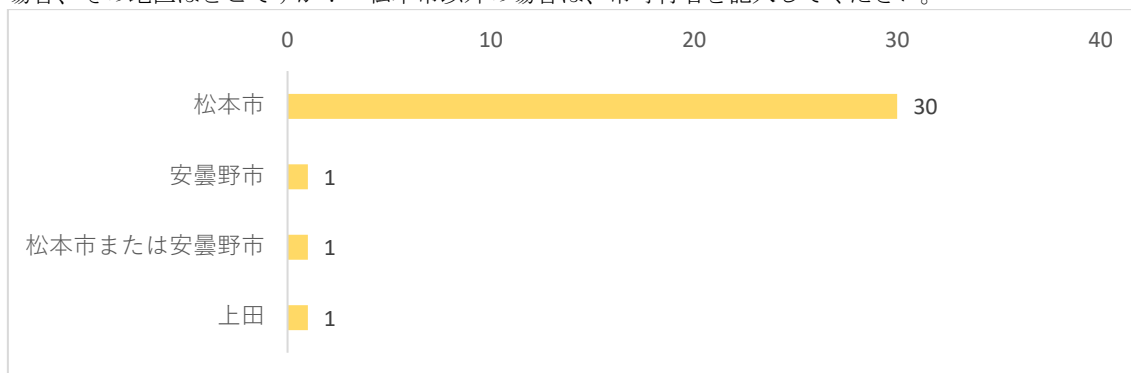


種目・活動	n
サッカー	4
スケート	1
テニス・ソフトテニス	7
バスケットボール	4
バレーボール	5
陸上競技	2
野球・軟式野球	4
剣道	2
スポーツ系	1
吹奏楽	2
美術	1
音楽	1
合計	34

注1) 分析対象者は33名(具体的な種目の記載のない4名の回答を除外した)であった。

注2) 1名につき2種目を回答した種目や活動を含む。

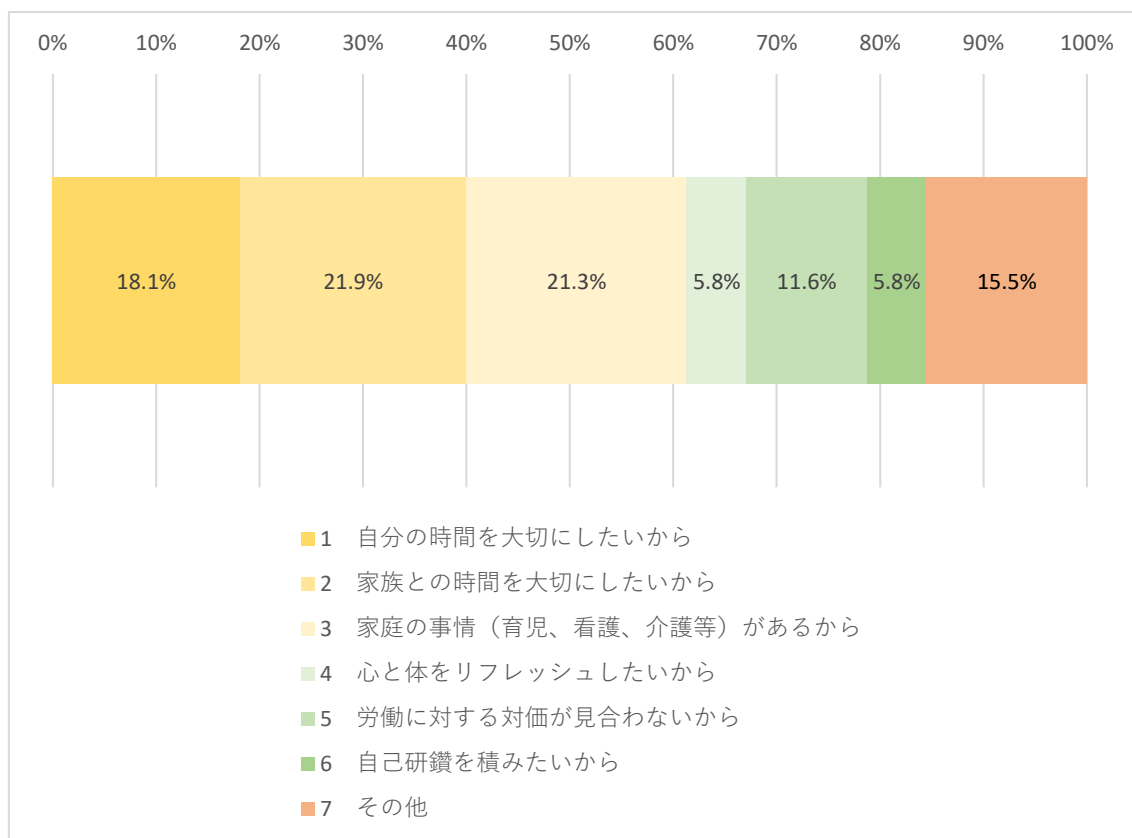
問 13 問 10 で「希望する」「どちらかといえば希望する」と回答した方にお尋ねします。指導を希望する場合、その地区はどこですか？ 松本市以外の場合は、市町村名を記入してください。



地区	<i>n</i>
松本市	30
安曇野市	1
松本市または安曇野市	1
上田	1
合計	33

注) 分析対象者は 33 名 (具体的な地区の記載のない 3 名の回答を除外した) であった。

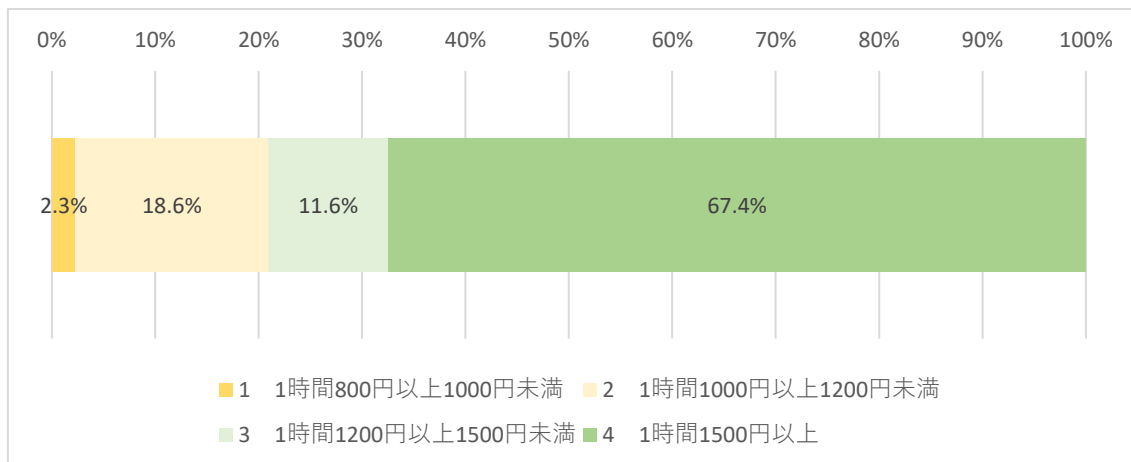
問 14 問 12 で「希望しない」「どちらかといえば希望しない」と回答した方にお尋ねします。希望しない理由は何ですか？ 最も当てはまるものを1つ選んでください。



項目	<i>n</i>	%
1 自分の時間を大切にしたいから	28	18.1%
2 家族との時間を大切にしたいから	34	21.9%
3 家庭の事情（育児、看護、介護等）があるから	33	21.3%
4 心と体をリフレッシュしたいから	9	5.8%
5 労働に対する対価が見合わないから	18	11.6%
6 自己研鑽を積みたいから	9	5.8%
7 その他	24	15.5%
合計	155	100.0%

「7 その他」の理由としては、①教材研究、授業準備、学級事務など校務の時間に充てたい、②指導技術がない、③勤務時間外だから、④怪我への対応ができないといった理由が挙げられた。

問 14-2 問 14 で「5 労働に対する対価が見合わないから」を選択された方に質問します。
どのくらいの報酬であれば、指導に携わりますか？

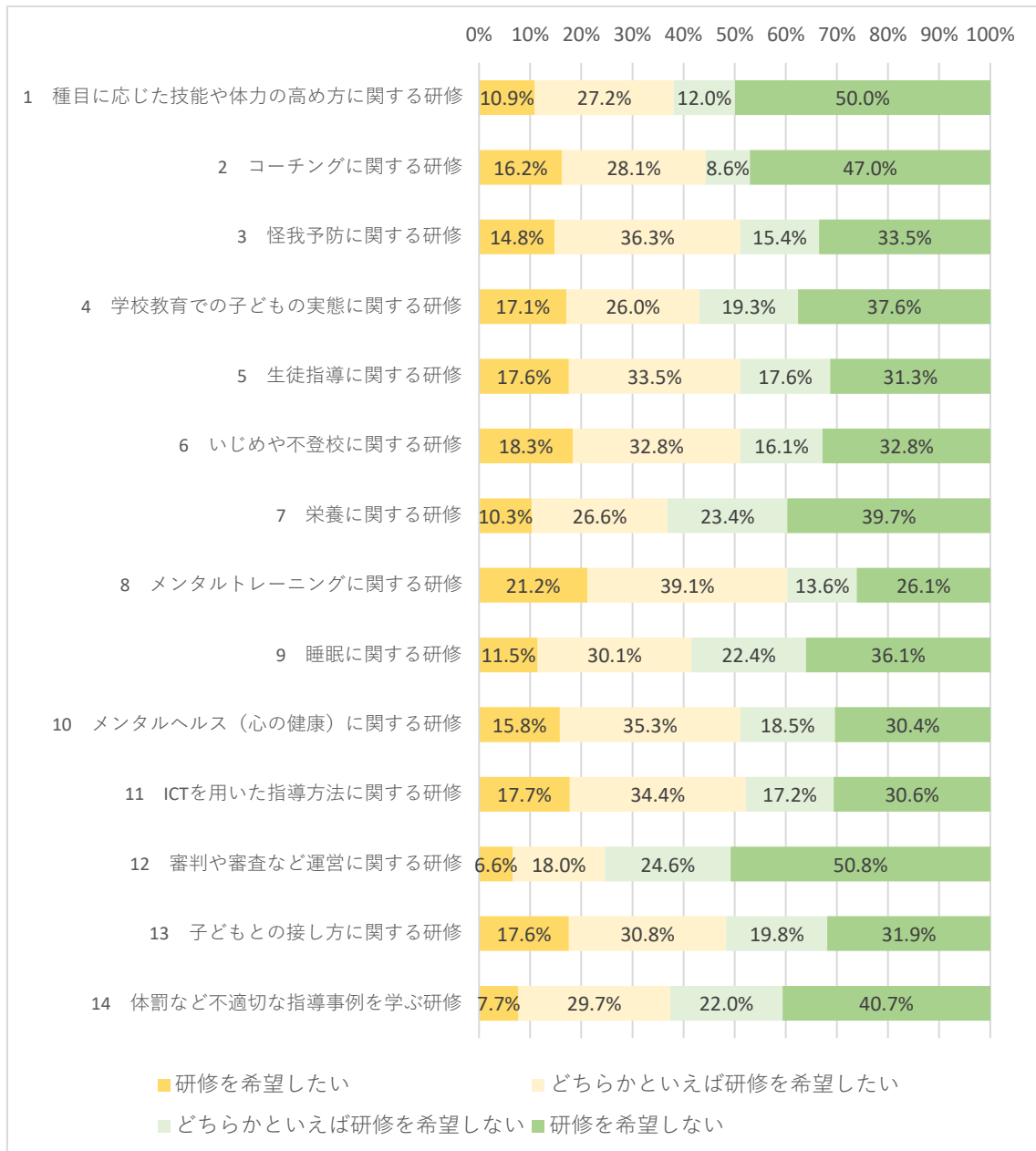


項目	n	%
1 1時間 800 円以上 1000 円未満	1	2.3%
2 1時間 1000 円以上 1200 円未満	8	18.6%
3 1時間 1200 円以上 1500 円未満	5	11.6%
4 1時間 1500 円以上	29	67.4%
合計	43	100.0%

6 指導者研修の希望

✓ 主な結果	
✓	専門性を高めるために受講したい研修について尋ねたところ、「メンタルトレーニングに関する研修」「ICTを用いた指導方法に関する研修」の順で、「研修を希望したい」「どちらかといえば研修を希望したい」と回答する割合が高かった。また、いじめや不登校、生徒指導に係る研修についての希望も高い割合であった。

問 15 指導者が自身の専門性を高めるために、今後受講したい研修について、あなたの考えを教えてください。



項目	研修を希望したい	どちらかといえば研修を希望したい	どちらかといえば研修を希望しない	研修を希望しない	合計
1 種目に応じた技能や体力の高め方に関する研修	20 10.9%	50 27.2%	22 12.0%	92 50.0%	20 10.9%
2 コーチングに関する研修	30 16.2%	52 28.1%	16 8.6%	87 47.0%	30 16.2%
3 怪我予防に関する研修	27 14.8%	66 36.3%	28 15.4%	61 33.5%	27 14.8%
4 学校教育での子どもの実態に関する研修	31 17.1%	47 26.0%	35 19.3%	68 37.6%	31 17.1%
5 生徒指導に関する研修	32 17.6%	61 33.5%	32 17.6%	57 31.3%	32 17.6%
6 いじめや不登校に関する研修	33 18.3%	59 32.8%	29 16.1%	59 32.8%	33 18.3%
7 栄養に関する研修	19 10.3%	49 26.6%	43 23.4%	73 39.7%	19 10.3%
8 メンタルトレーニングに関する研修	39 21.2%	72 39.1%	25 13.6%	48 26.1%	39 21.2%
9 睡眠に関する研修	21 11.5%	55 30.1%	41 22.4%	66 36.1%	21 11.5%
10 メンタルヘルス（心の健康）に関する研修	29 15.8%	65 35.3%	34 18.5%	56 30.4%	29 15.8%
11 ICTを用いた指導方法に関する研修	33 17.7%	64 34.4%	32 17.2%	57 30.6%	33 17.7%
12 審判や審査など運営に関する研修	12 6.6%	33 18.0%	45 24.6%	93 50.8%	12 6.6%
13 子どもとの接し方に関する研修	32 17.6%	56 30.8%	36 19.8%	58 31.9%	32 17.6%
14 体罰など不適切な指導事例を学ぶ研修	14 7.7%	54 29.7%	40 22.0%	74 40.7%	14 7.7%

子どもが主人公

松本市教育委員会